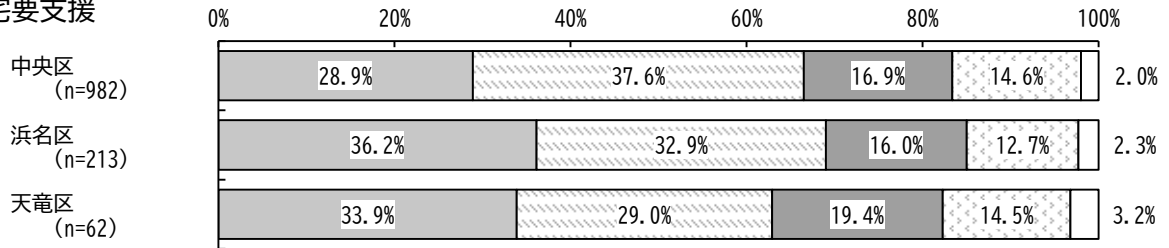


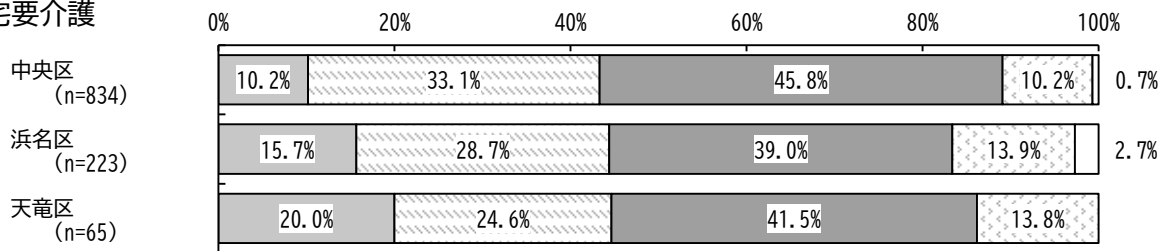


【区別集計】

○在宅要支援

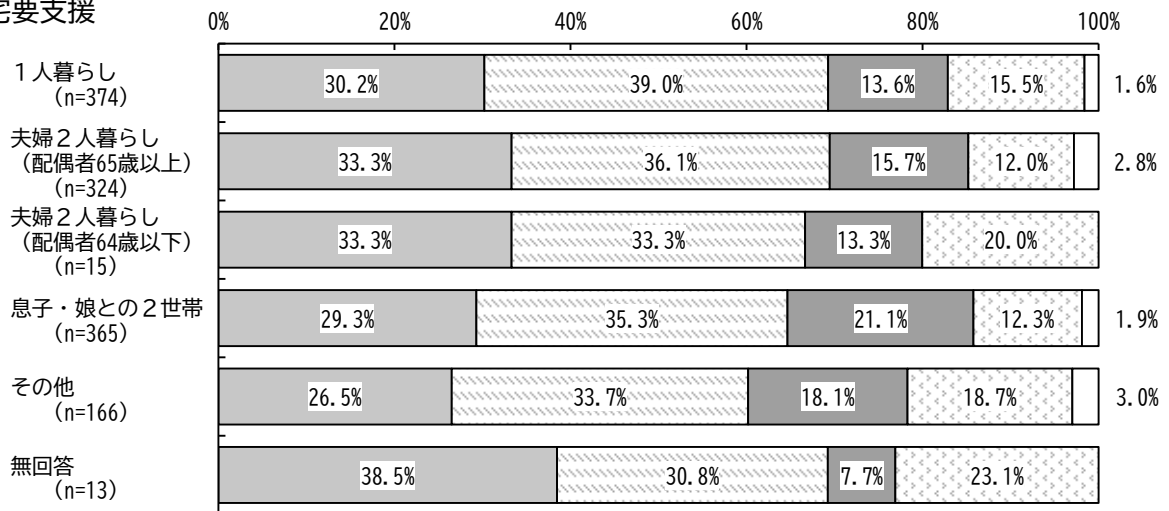


○在宅要介護

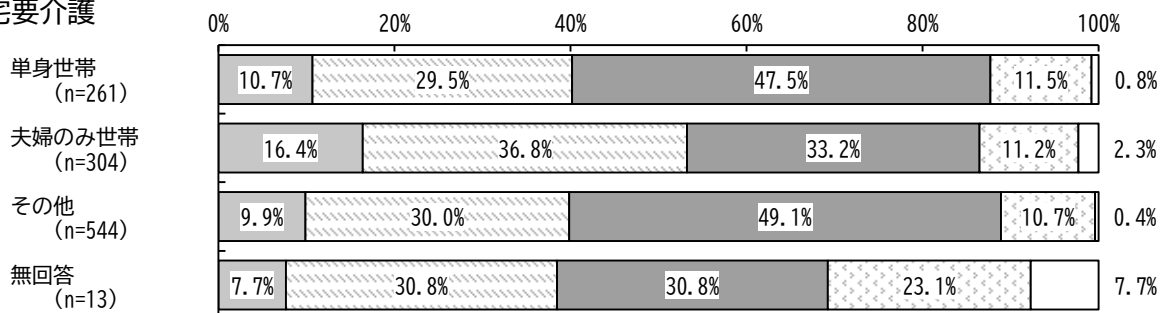


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



## 災害時や緊急時に手助けを頼める人の有無

「1人で判断できるが、避難できない」1人で判断できず、避難できない」と回答した方にお伺い  
 します。

あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（○はひとつ）

<在宅要支援認定者調査 問56・在宅要介護認定者調査 問12>

## 【単純集計】

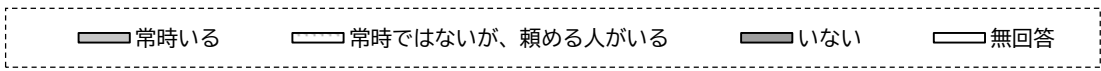
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
常時いる	241	36.0%	469	55.0%
常時ではないが、頼める人がいる	267	39.9%	310	36.4%
いない	153	22.9%	67	7.9%
無回答	8	1.2%	6	0.7%
合 計	669	100.0%	852	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者では「常時ではないが、頼める人がいる」の割合が最も高く、在宅要介護認定者では「常時いる」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、在宅要介護認定者では、70～74歳で「いない」と回答した人はいませんでした。

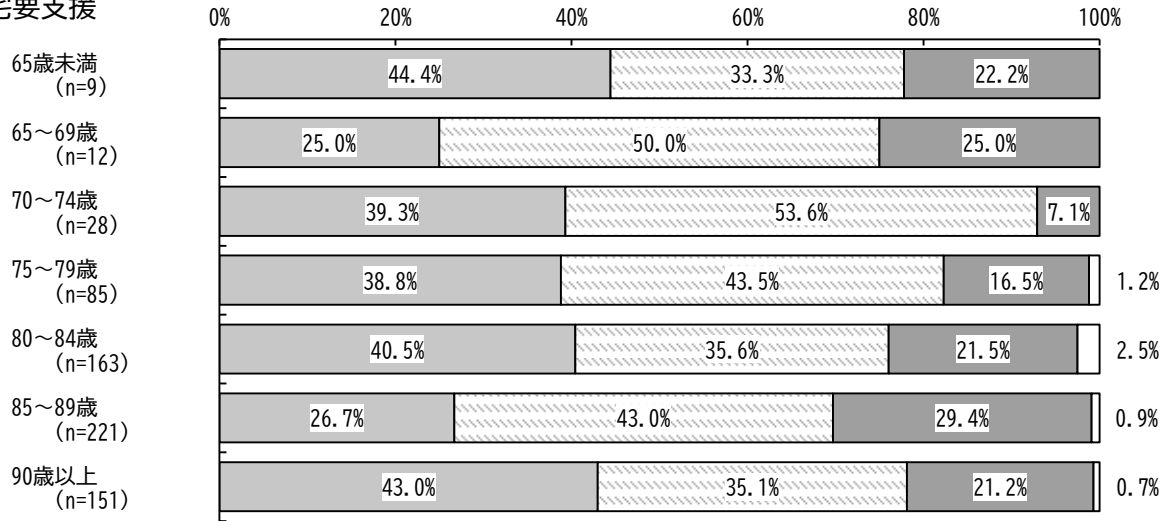
区別でみると、在宅要介護認定者では、他の地区と比べて天竜区で「いない」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者では、1人暮らしで「いない」の割合が約5割と高くなっています。

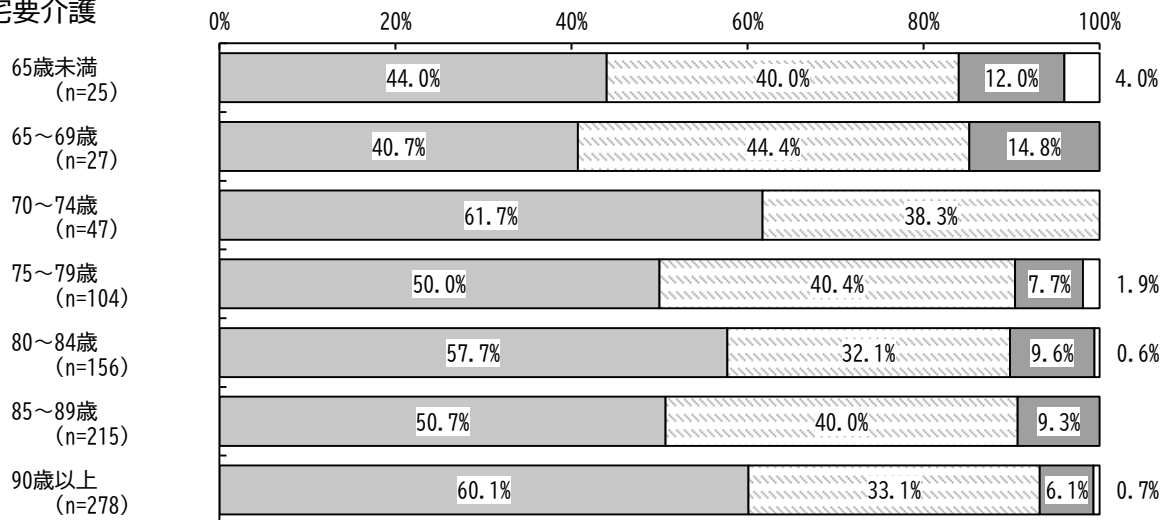


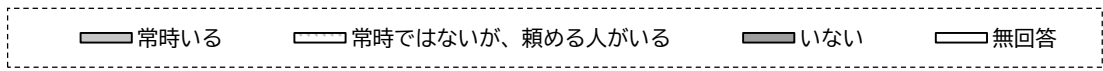
【年齢別集計】

○在宅要支援



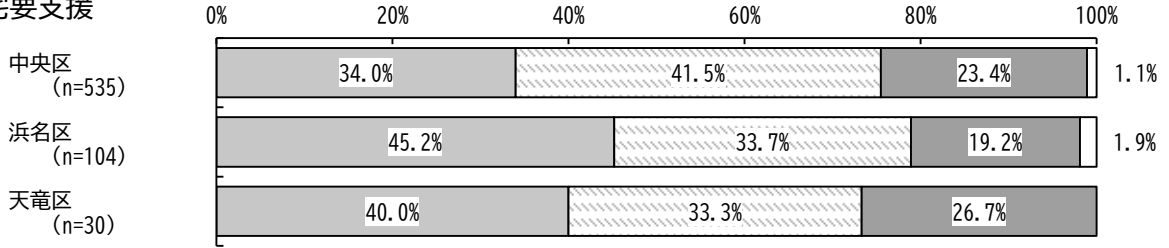
○在宅要介護



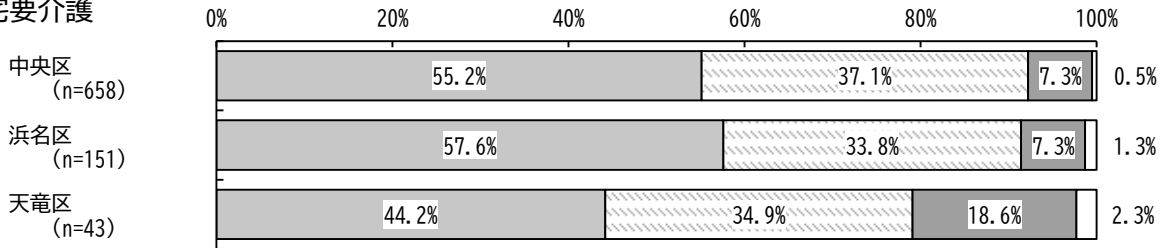


【区別集計】

○在宅要支援

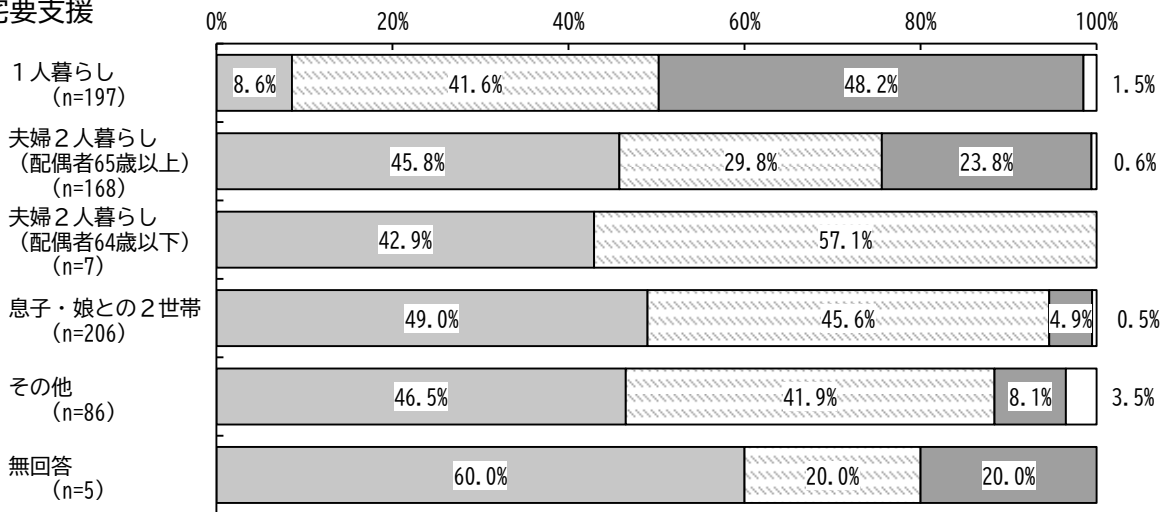


○在宅要介護

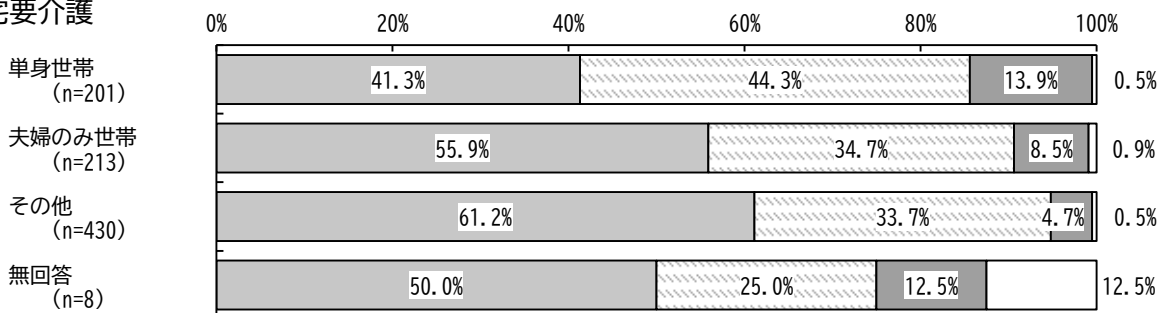


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



**災害が起きた時の心配事や問題点**

あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点はありますか。(〇はいくつでも)

<在宅要支援認定者調査 問57・在宅要介護認定者調査 問13>

**【単純集計】**

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
家が崖崩れや浸水の心配がある	170	13.5%	139	12.4%
避難所での生活が心配	832	66.2%	748	66.7%
避難所に行くことが難しい	551	43.8%	667	59.4%
情報をうまく入手できない	356	28.3%	338	30.1%
その他	46	3.7%	61	5.4%
無回答	91	7.2%	57	5.1%
回 答 数	1,257	-	1,122	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「避難所での生活が心配」の割合が最も高くなっています。

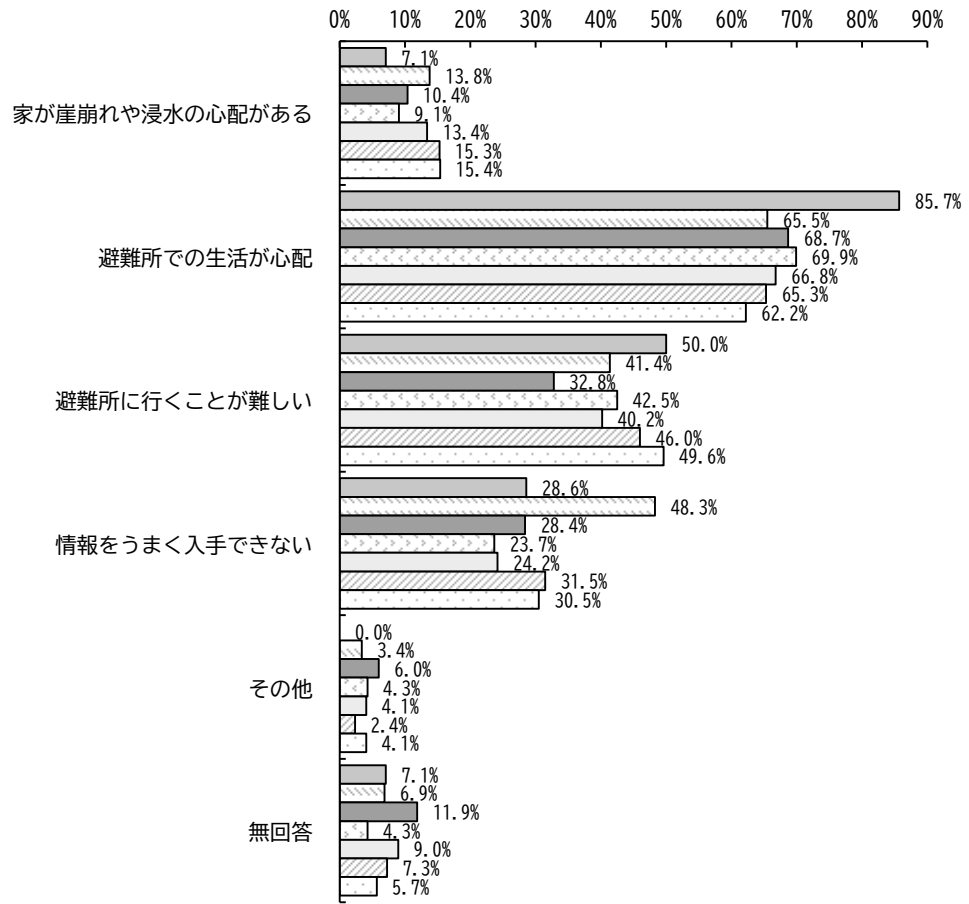
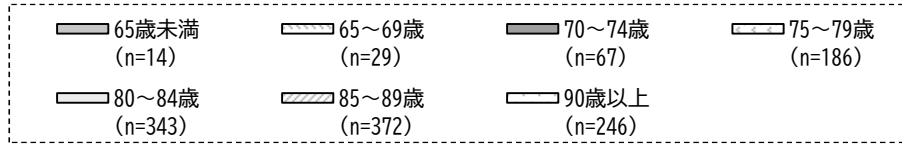
年齢別でみると、在宅要支援認定者では、他の年齢と比べて65歳未満で「避難所での生活が心配」の割合が高くなっています。

区別でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともにすべての区で「避難所での生活が心配」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに1人暮らしで「情報をうまく入手できない」の割合が他の家族構成と比べて高くなっています。

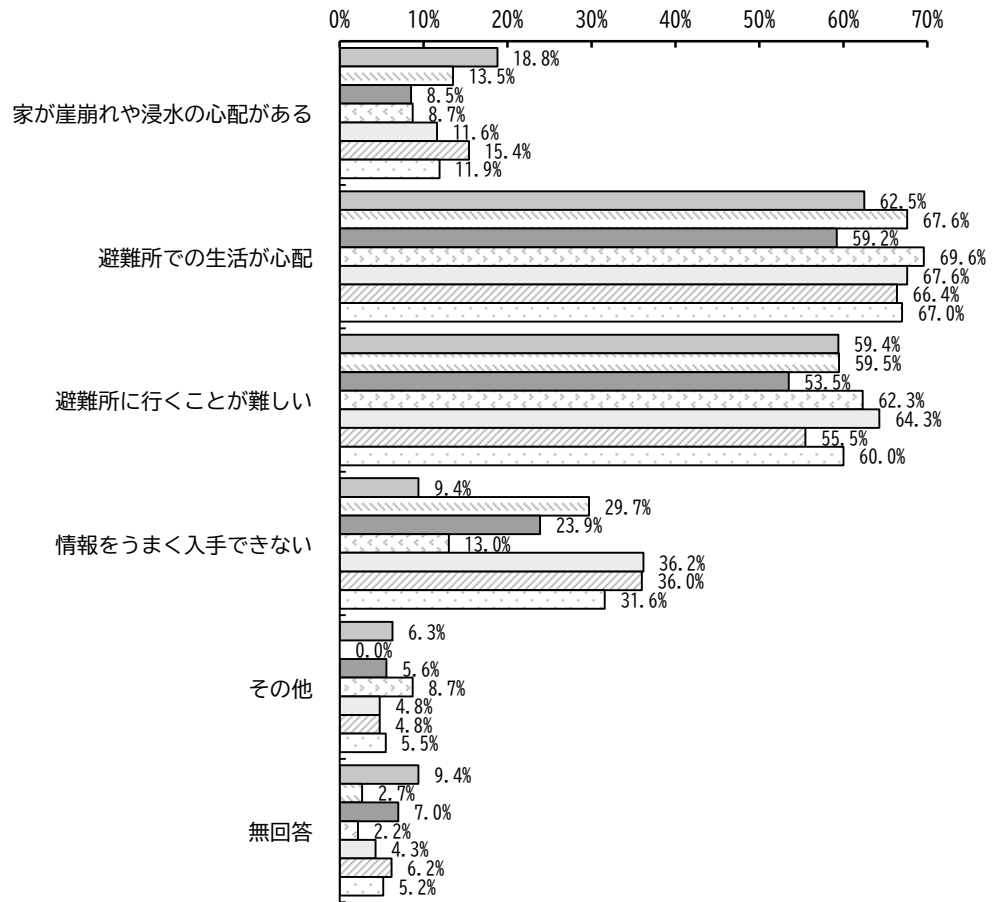
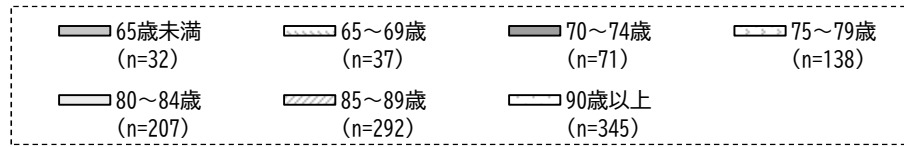
【年齢別集計】

○在宅要支援

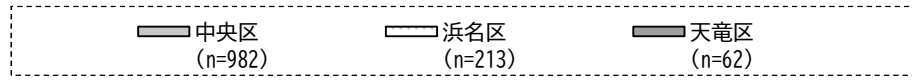


【年齢別集計】

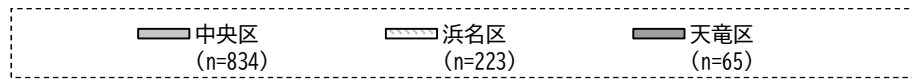
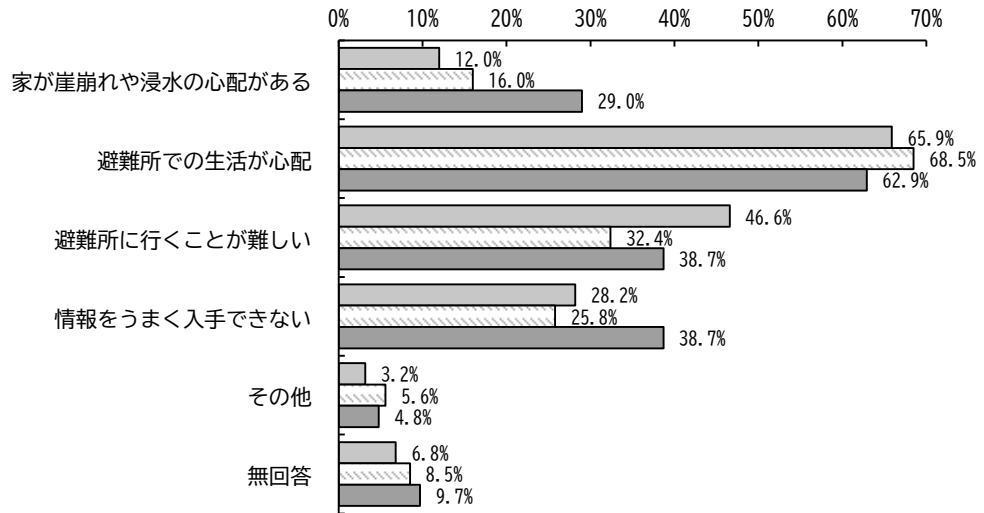
○在宅要介護



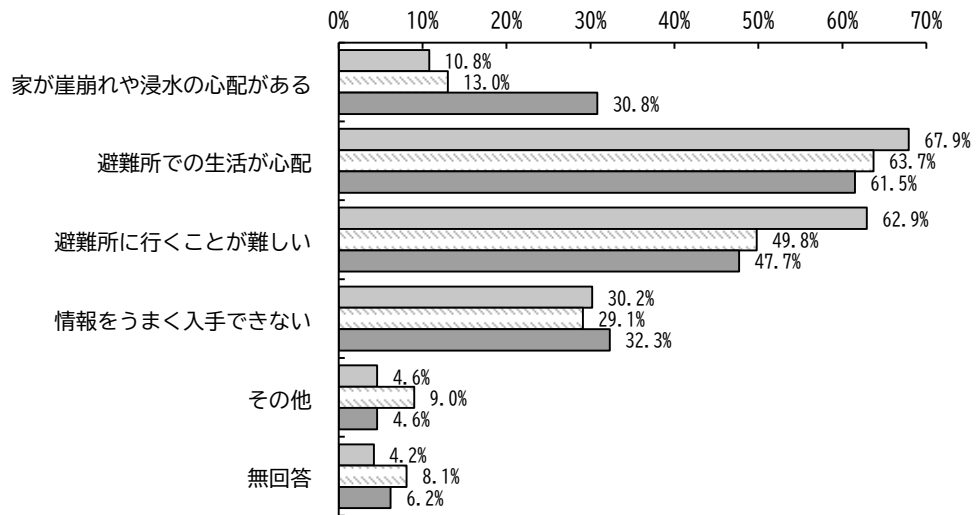
【区別集計】



○在宅要支援

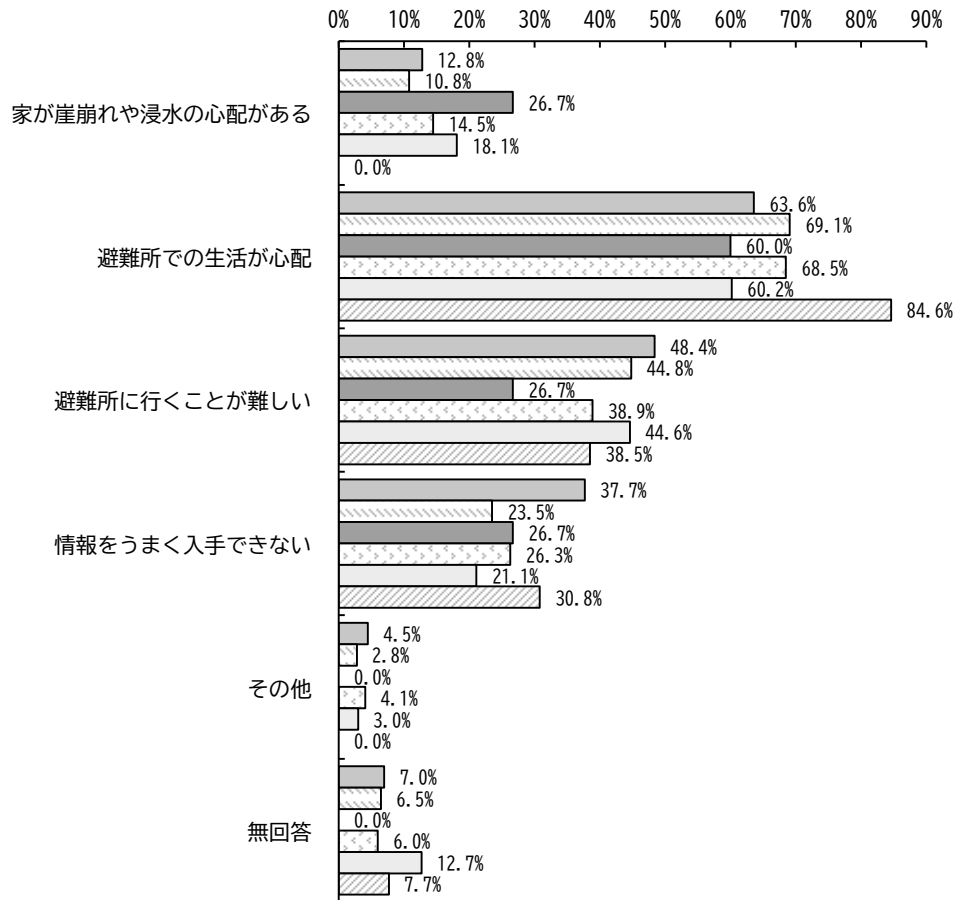
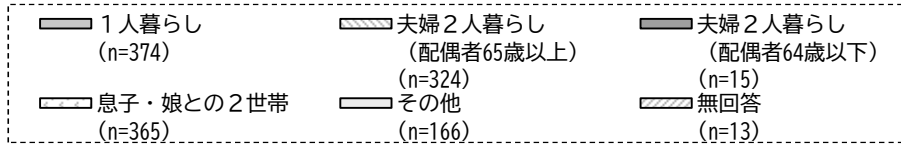


○在宅要介護

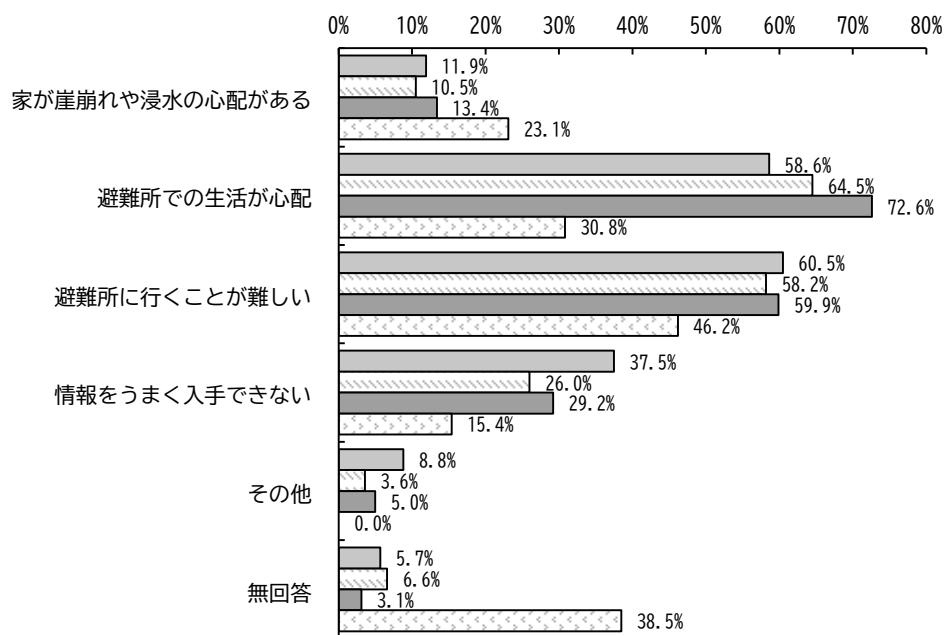
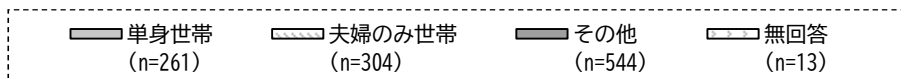


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



介護保険制度の満足度

介護保険制度全般についてどのように思いますか。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問58・在宅要介護認定者調査 問14>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
満足している	196	15.6%	224	20.0%
どちらかと言えば満足している	675	53.7%	649	57.8%
どちらかと言えば満足していない	191	15.2%	147	13.1%
満足していない	81	6.4%	62	5.5%
無回答	114	9.1%	40	3.6%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「どちらかと言えば満足している」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」を合わせた割合は、要介護5が最も高くなっています。

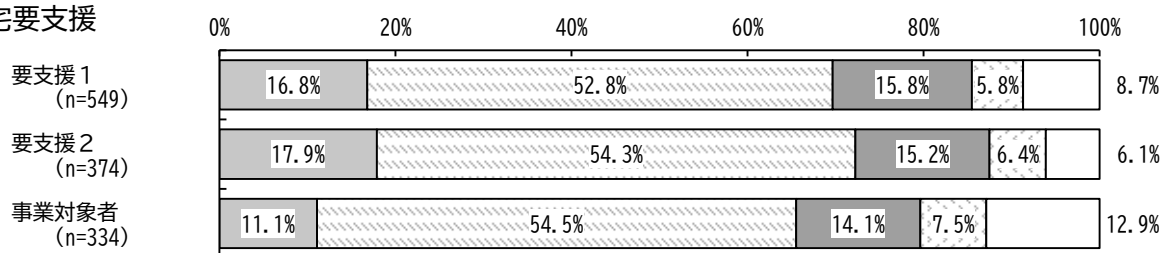
年齢別でみると、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」を合わせた割合は、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに65～69歳で最も高くなっています。

区別でみると、大きな差はみられません。

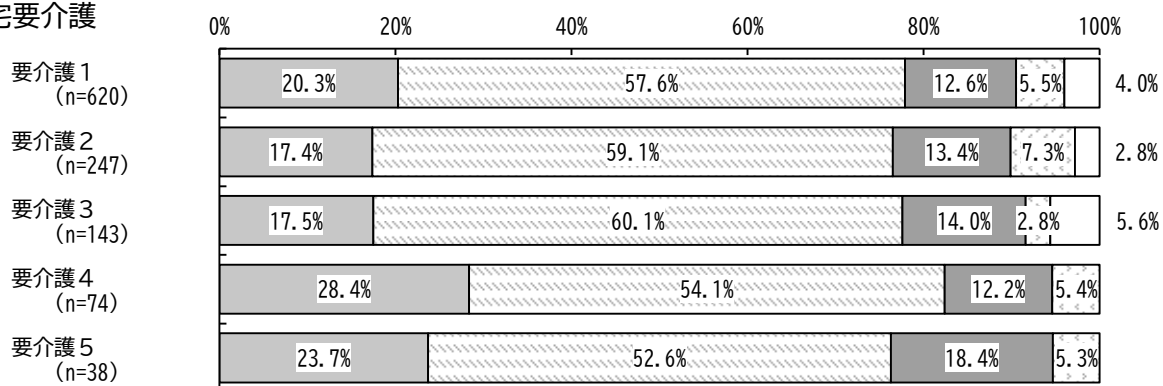


【要介護度別集計】

○在宅要支援



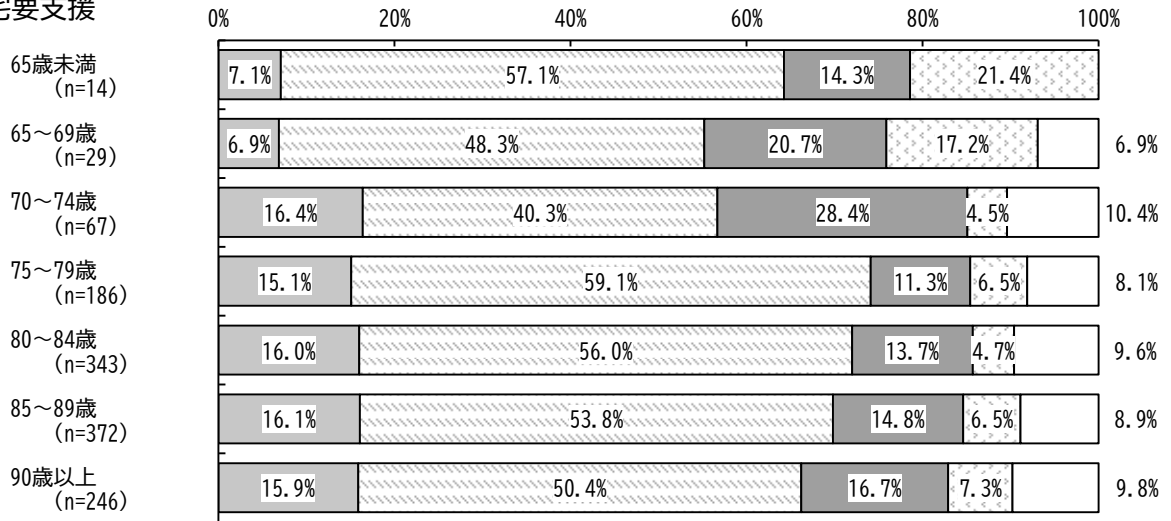
○在宅要介護



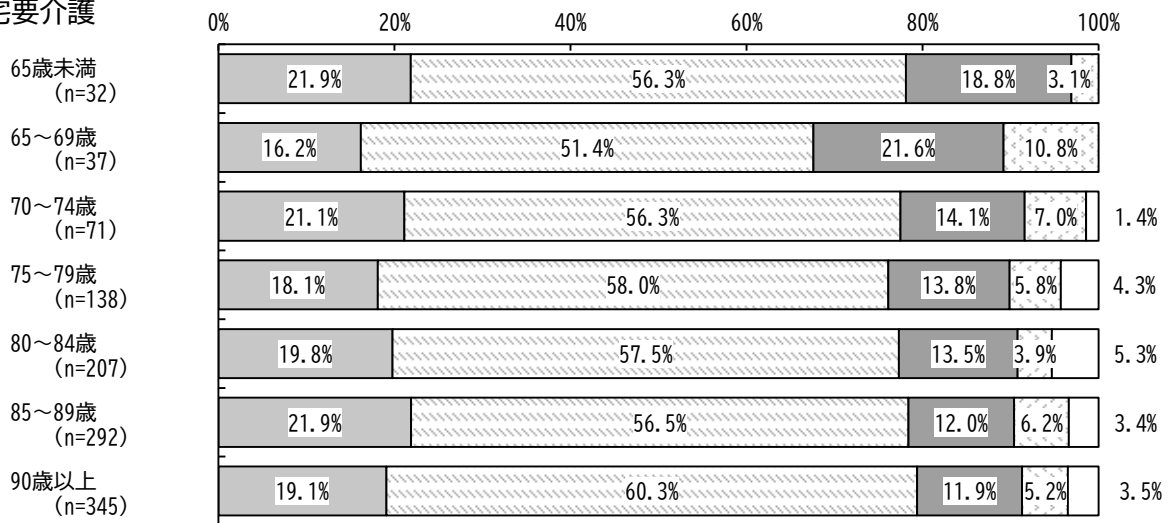


【年齢別集計】

○在宅要支援



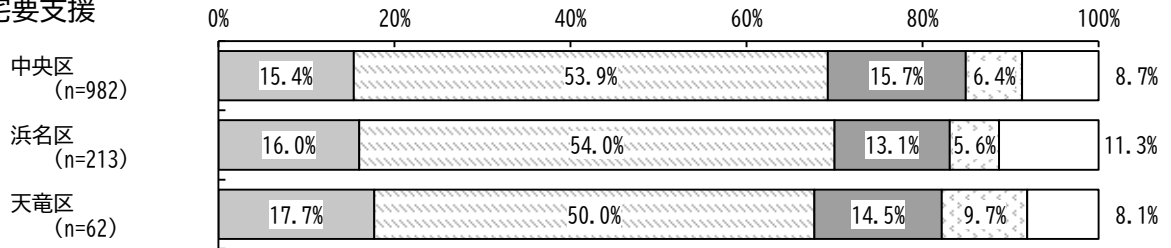
○在宅要介護



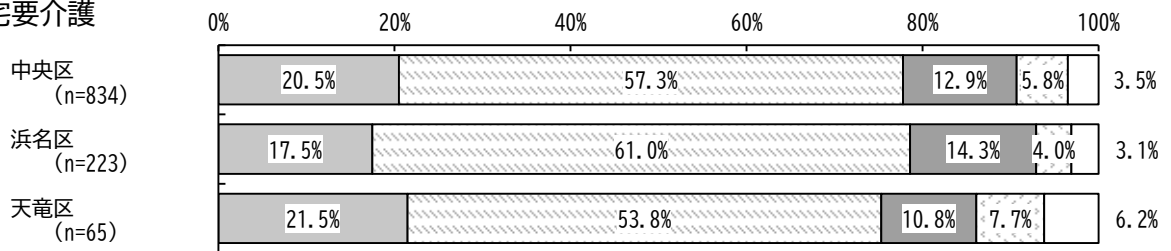


【区別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



担当のケアマネジャーの満足度

担当のケアマネジャーに満足していますか。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問59・在宅要介護認定者調査 問15>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
満足している	498	39.6%	634	56.5%
どちらかと言えば満足している	435	34.6%	362	32.3%
どちらかと言えば満足していない	83	6.6%	56	5.0%
満足していない	38	3.0%	26	2.3%
無回答	203	16.1%	44	3.9%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

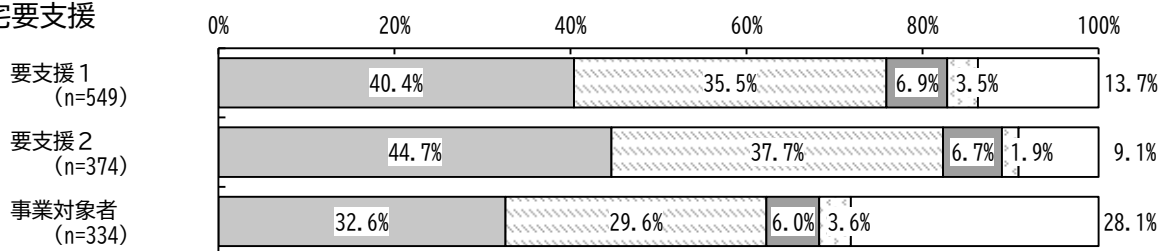
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「満足している」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、他の要介護度に比べて事業対象者は「満足している」の割合が低くなっています。

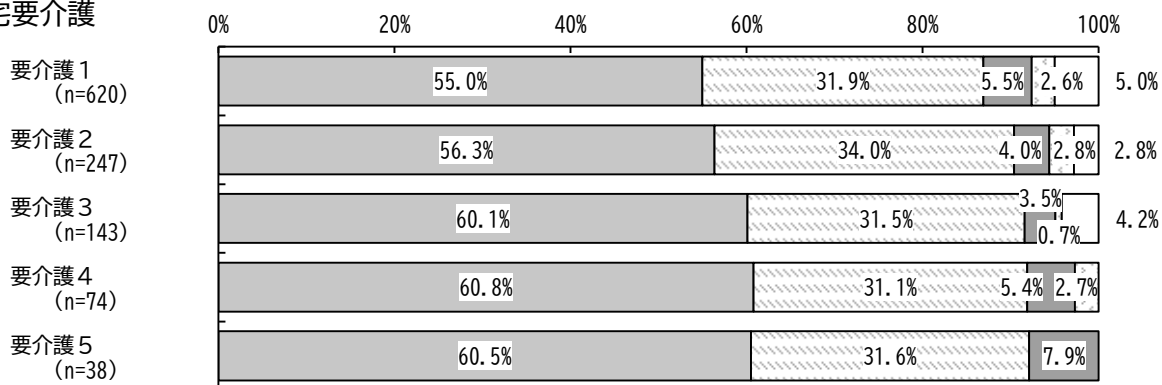


【要介護度別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



(介護保険制度や介護保険サービスについて)

介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか

あなたが介護サービスを受ける場合、介護ロボット等を活用したサービスについてどのように感じますか。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問60・在宅要介護認定者調査 問16>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用したい	83	6.6%	74	6.6%
サービスによっては利用しても良い	550	43.8%	557	49.6%
利用したくない	142	11.3%	128	11.4%
わからない	428	34.0%	347	30.9%
無回答	54	4.3%	16	1.4%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

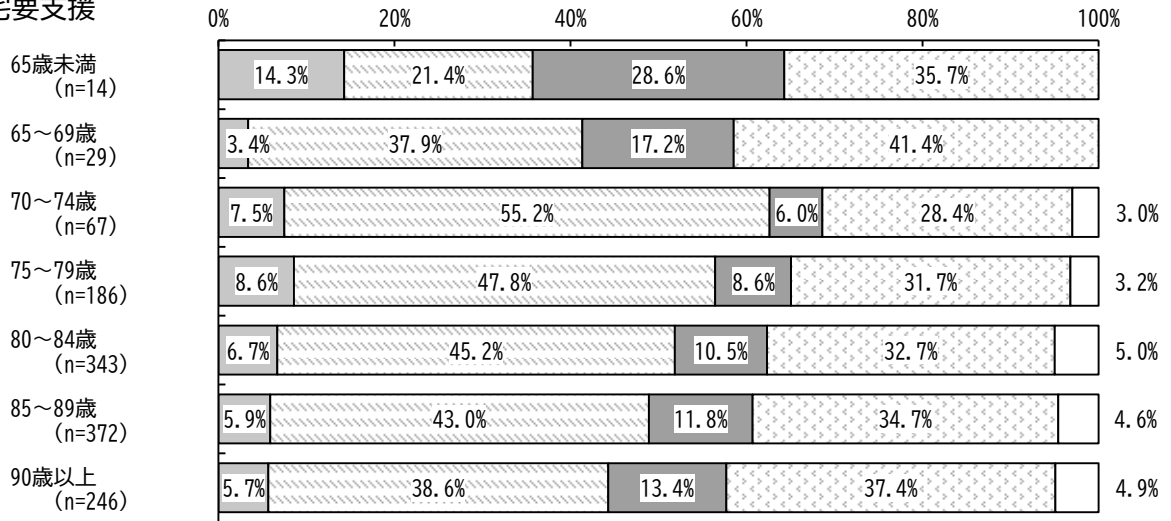
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「サービスによっては利用しても良い」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「利用したい」は、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに65歳未満で1割を超えています。

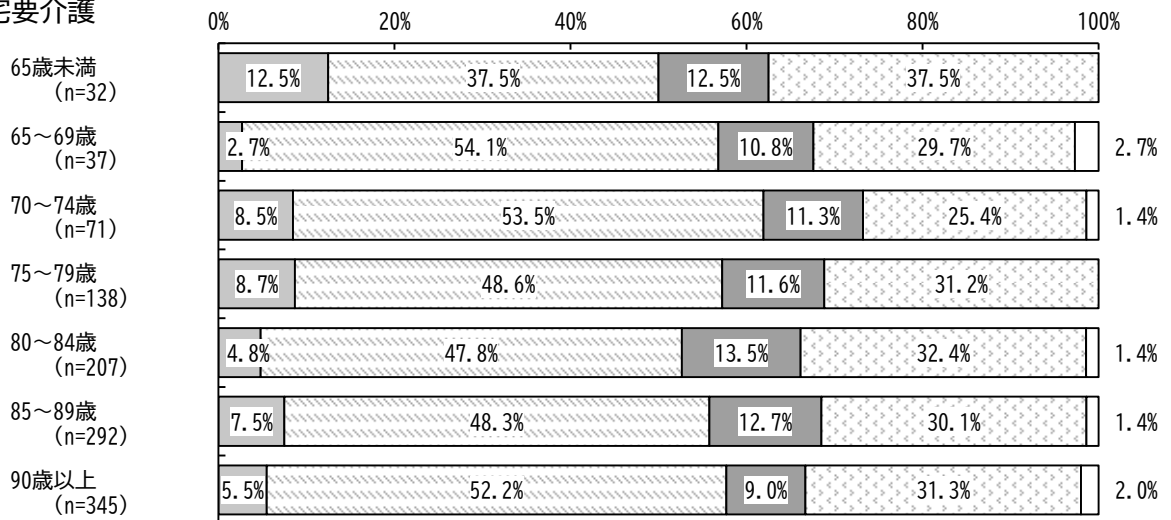
利用したい
  サービスによっては利用しても良い
  利用したくない
  わからない
  無回答

【年齢別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由

「利用したくない」と回答した方にお伺いします。

介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由は何ですか。(〇はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問61・在宅要介護認定者調査 問17>

【単純集計】

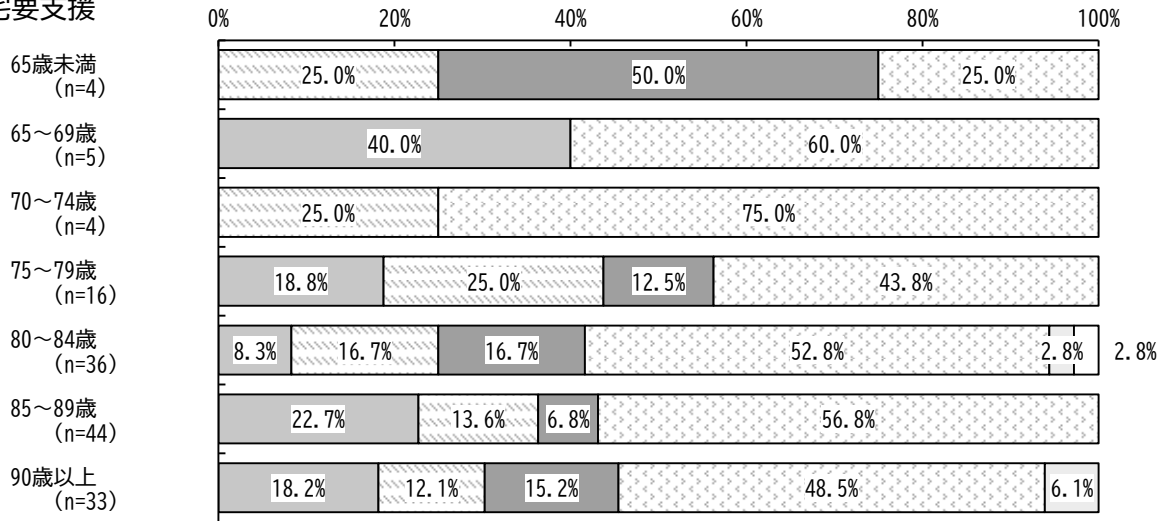
回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
操作が難しそう	24	16.9%	28	21.9%
費用が高そう	22	15.5%	15	11.7%
故障や誤作動が心配	18	12.7%	16	12.5%
人の手によるサービスを受けたい	74	52.1%	62	48.4%
その他	3	2.1%	7	5.5%
無回答	1	0.7%	0	0.0%
合 計	142	100.0%	128	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「人の手によるサービスを受けたい」の割合が最も高くなっています。

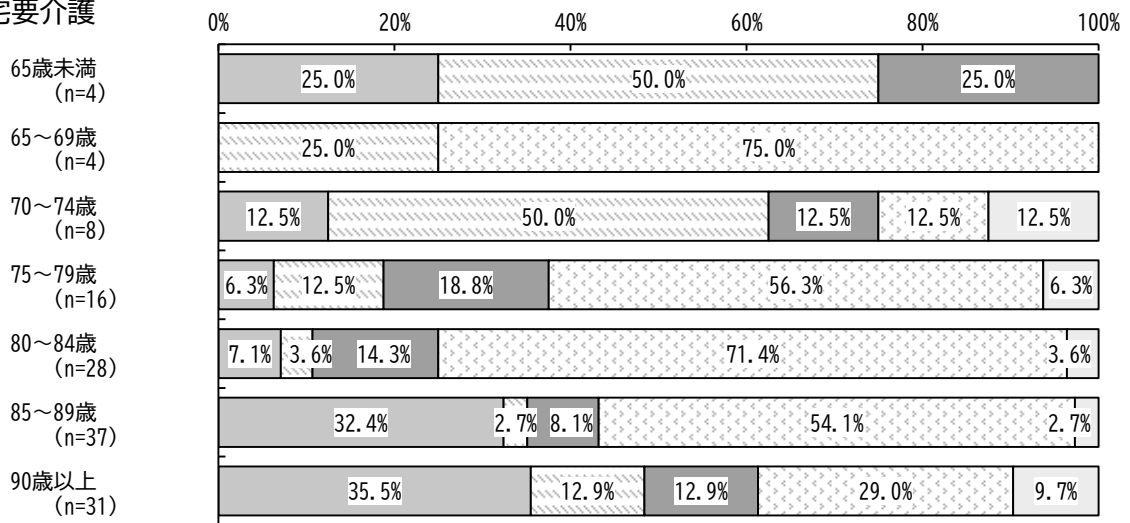


【年齢別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



(介護保険制度や介護保険サービスについて)

### 介護保険料の費用負担が増えることについてどう思うか

介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受ける場合は、原則として保険対象サービス費用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。

超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(〇はひとつ)

<高齢者一般調査 問50・在宅要支援認定者調査 問62・在宅要介護認定者調査 問18>

#### 【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない	213	15.2%	195	15.5%	175	15.6%
介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい	294	20.9%	268	21.3%	359	32.0%
介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい	452	32.2%	368	29.3%	264	23.5%
保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない※	51	3.6%	45	3.6%	45	4.0%
保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない	56	4.0%	34	2.7%	30	2.7%
わからない	265	18.9%	253	20.1%	207	18.4%
無回答	74	5.3%	94	7.5%	42	3.7%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

※選択肢「保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない」は在宅要介護認定者調査では「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない」

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者では「介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい」の割合が高く、在宅要介護認定者では「介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、在宅要支援認定者では大きな差はみられませんが、要介護3では「介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい」が最も高くなっています。

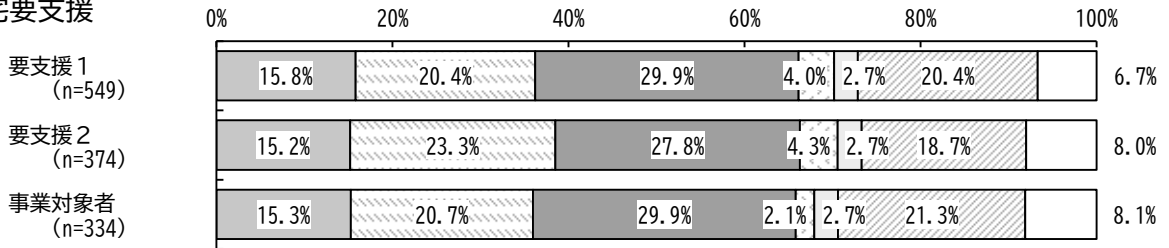
年齢別でみると、「介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない」の割合は、高齢者一般では85～89歳、在宅要支援認定者では65歳未満、在宅要介護認定者では65～69歳で高くなっています。

区別でみると、大きな差はみられません。

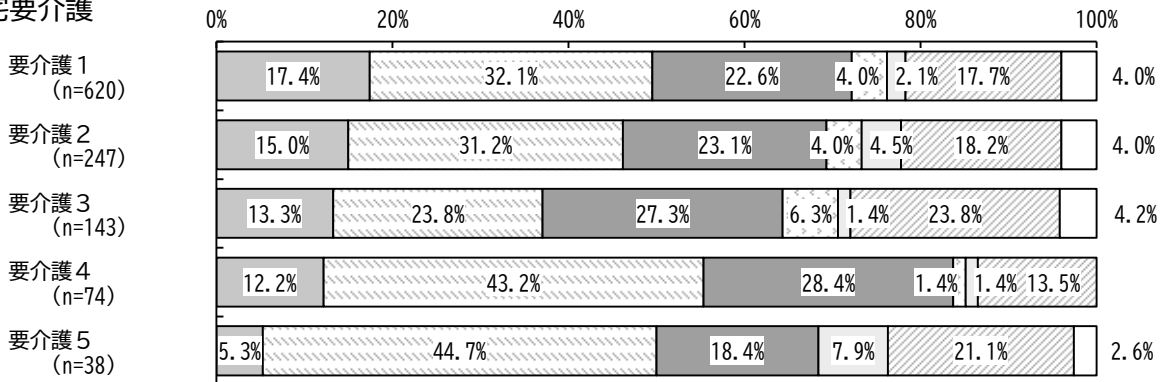
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
- 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
- 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
- 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- わからない
- 無回答

【要介護度別集計】

○在宅要支援



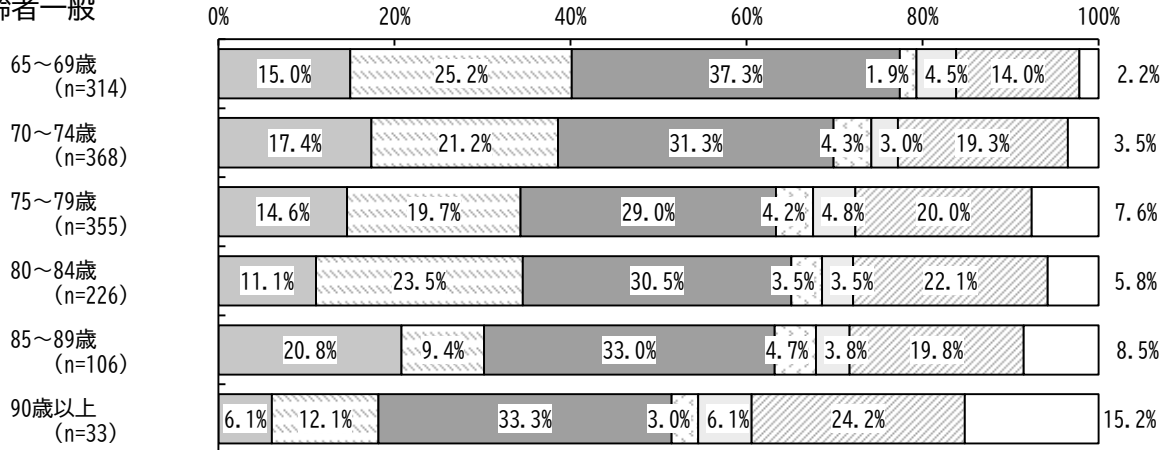
○在宅要介護



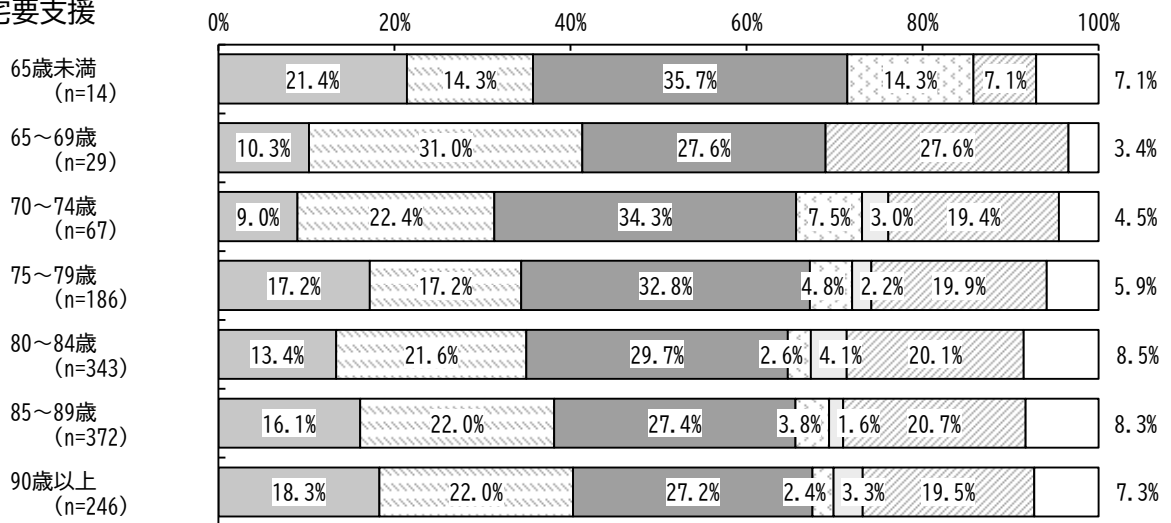
- ▬ 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
- ▬ 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
- ▬ 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
- ▬ 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
- ▬ 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- ▬ わからない
- ▬ 無回答

【年齢別集計】

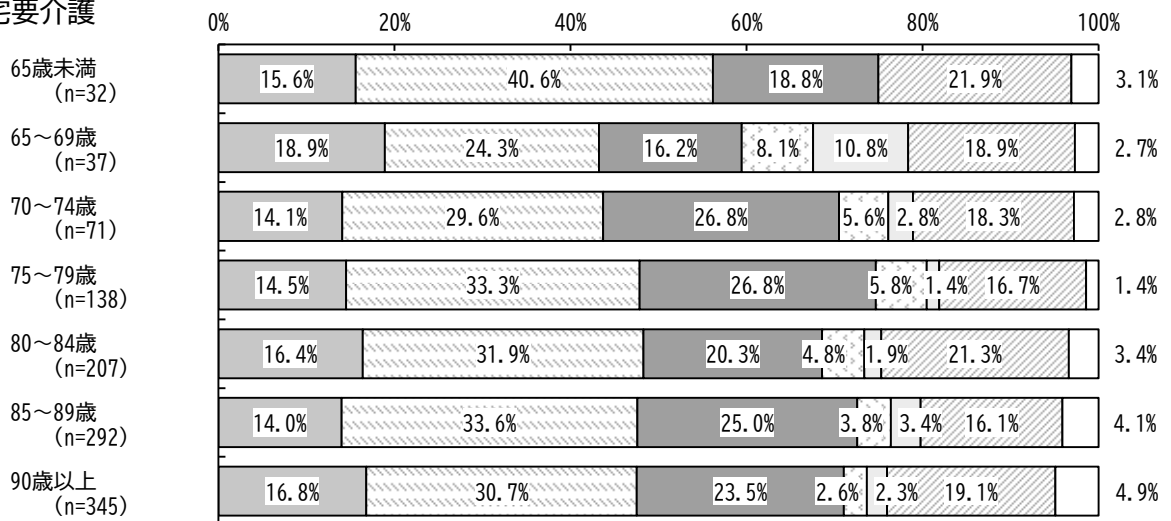
○高齢者一般



○在宅要支援



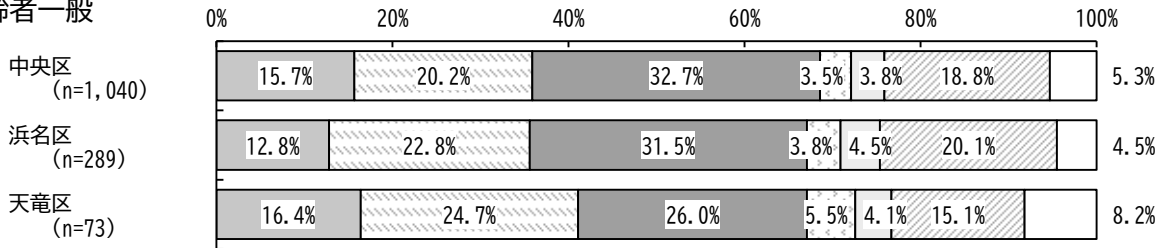
○在宅要介護



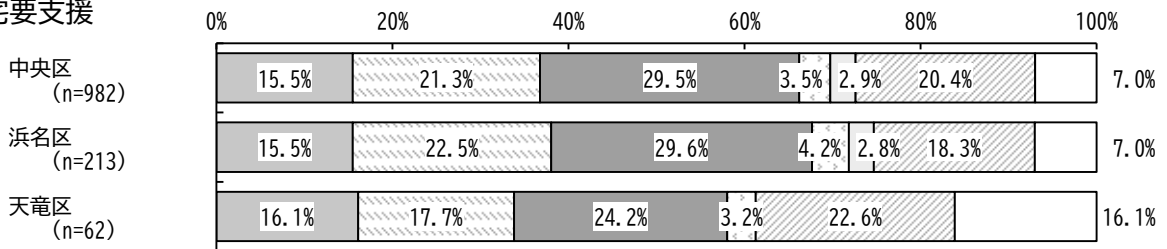
- 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
- ▨ 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
- 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
- ▨ 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
- ▨ 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- わからない
- 無回答

【区別集計】

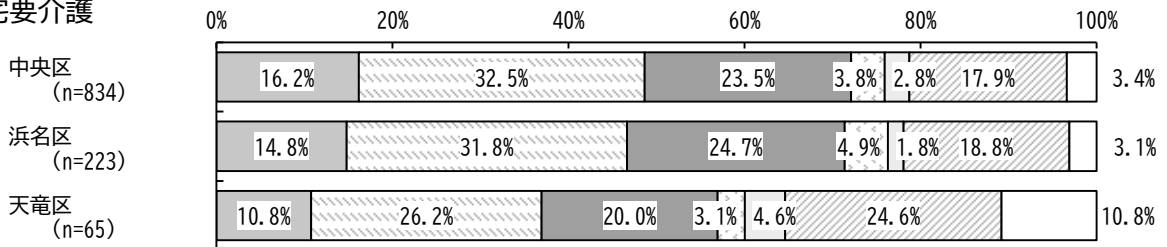
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



施設等への入所・入居の検討状況

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○はひとつ)

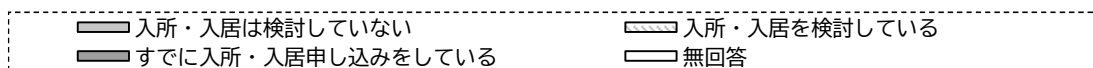
<在宅要支援認定者調査 問63・在宅要介護認定者調査 問19>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
入所・入居は検討していない	964	76.7%	736	65.6%
入所・入居を検討している	175	13.9%	226	20.1%
すでに入所・入居申し込みをしている	36	2.9%	133	11.9%
無回答	82	6.5%	27	2.4%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

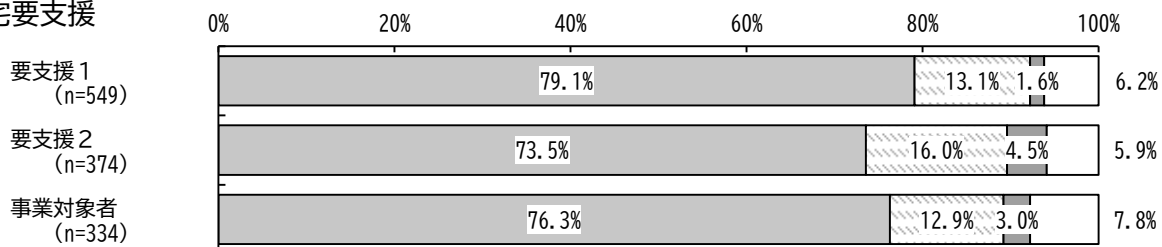
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれて、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」の合計の割合が高くなる傾向にあります。

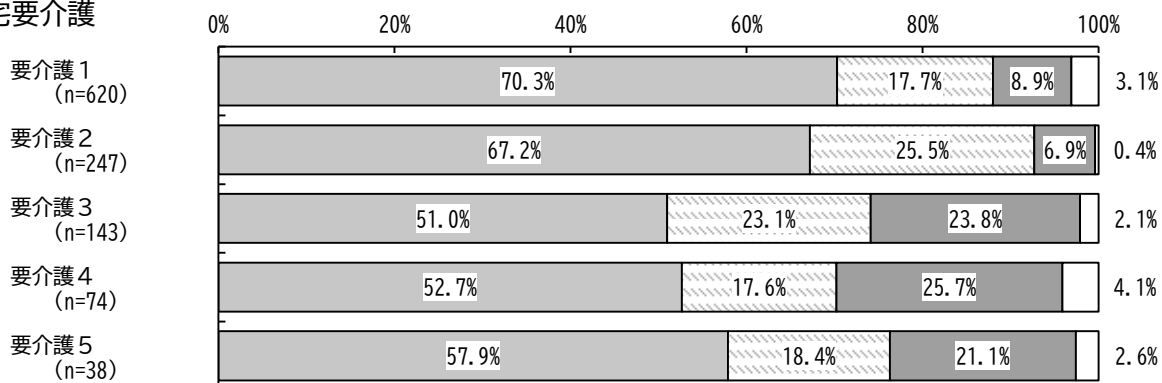


【要介護度別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



令和7年11月の介護保険サービスの利用状況

令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(〇はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問64・在宅要介護認定者調査 問20>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用した	373	29.7%	733	65.3%
利用していない	822	65.4%	374	33.3%
無回答	62	4.9%	15	1.3%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者は「利用していない」の割合が高く、在宅要介護認定者は「利用した」の割合が高くなっています。

介護保険サービスを利用しなかった理由

「利用していない」と回答した方にお伺いします。

あなたが介護保険サービスを利用しなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

<在宅要支援認定者調査 問65・在宅要介護認定者調査 問21>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	575	70.0%	198	52.9%
本人にサービス利用の希望がない	90	10.9%	76	20.3%
家族が介護をするため必要ない	58	7.1%	67	17.9%
以前、利用していたサービスに不満があった	15	1.8%	2	0.5%
利用料を支払うのが難しい	41	5.0%	18	4.8%
利用したいサービスが利用できない、身近にない	18	2.2%	6	1.6%
住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	46	5.6%	36	9.6%
サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	41	5.0%	25	6.7%
その他	29	3.5%	12	3.2%
無回答	121	14.7%	43	11.5%
回 答 数	822	-	374	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、低い要介護度の場合「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が高くなる傾向があります。

性別でみると、大きな差はみられません。

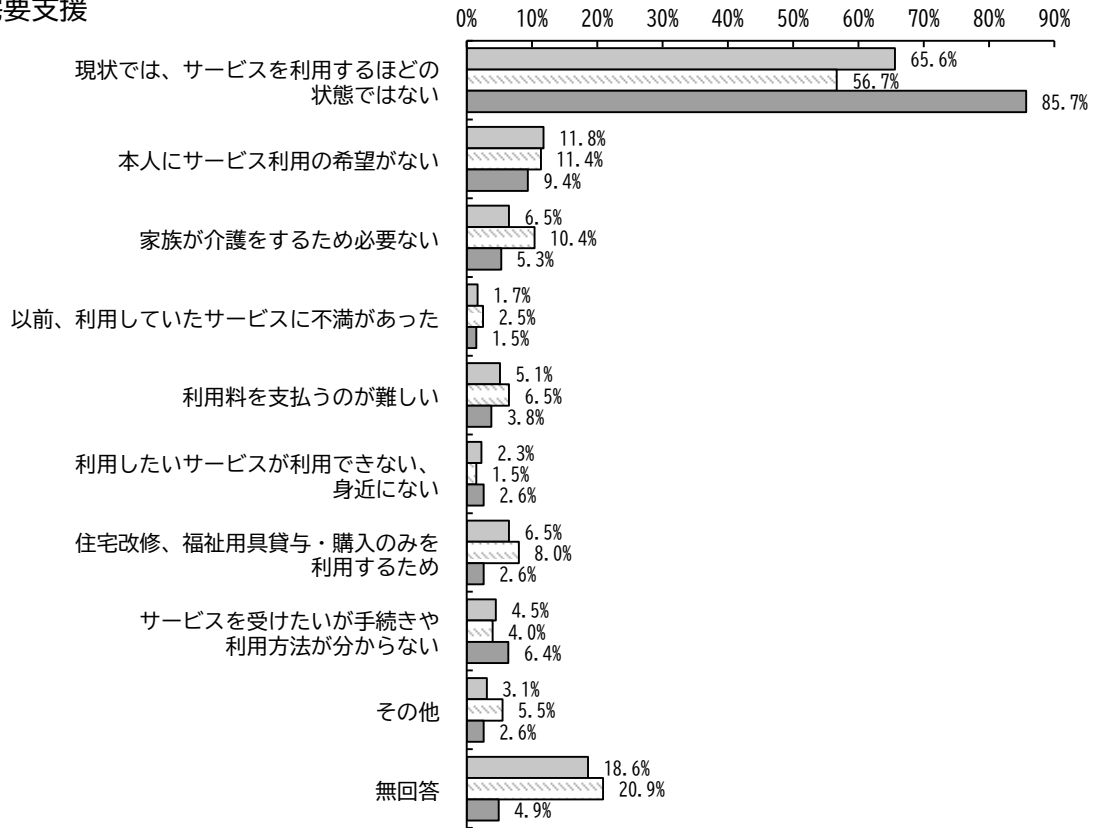
年齢別でみると、在宅要介護認定者の65～69歳で「本人にサービス利用の希望がない」が高くなっています。

家族構成別でみると、すべての家族構成で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっています。

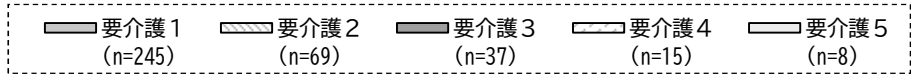
【要介護度別集計】

要支援1 (n=355)      要支援2 (n=201)      事業対象者 (n=266)

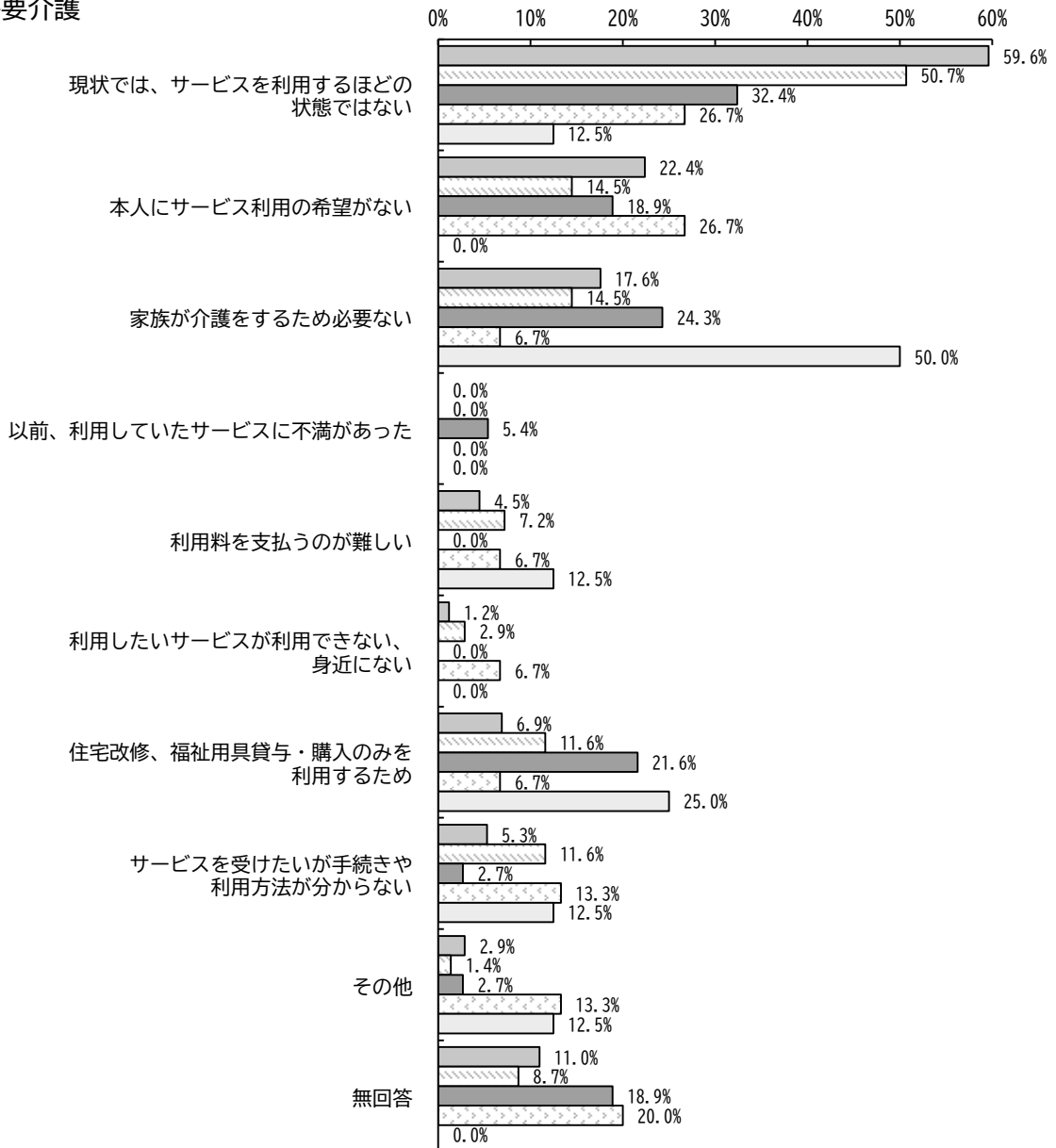
○在宅要支援



【要介護度別集計】



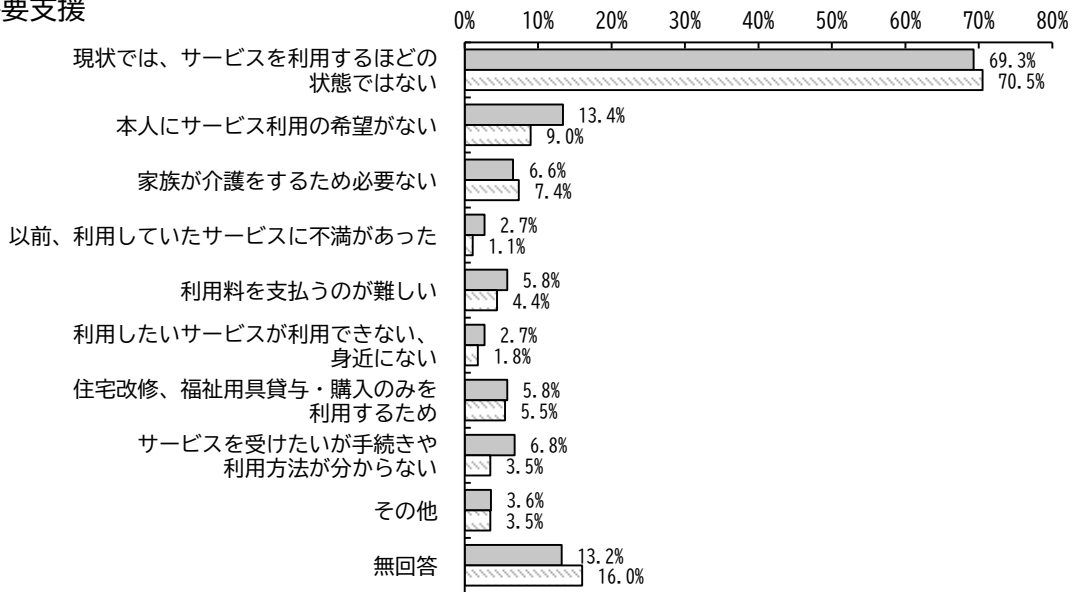
○在宅要介護



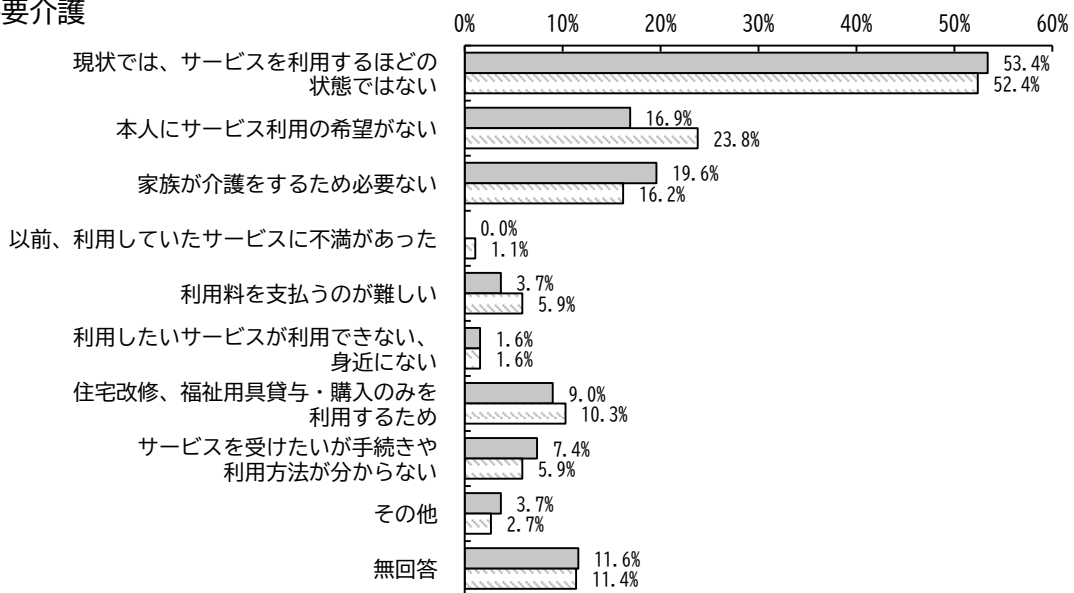
【性別集計】



○在宅要支援

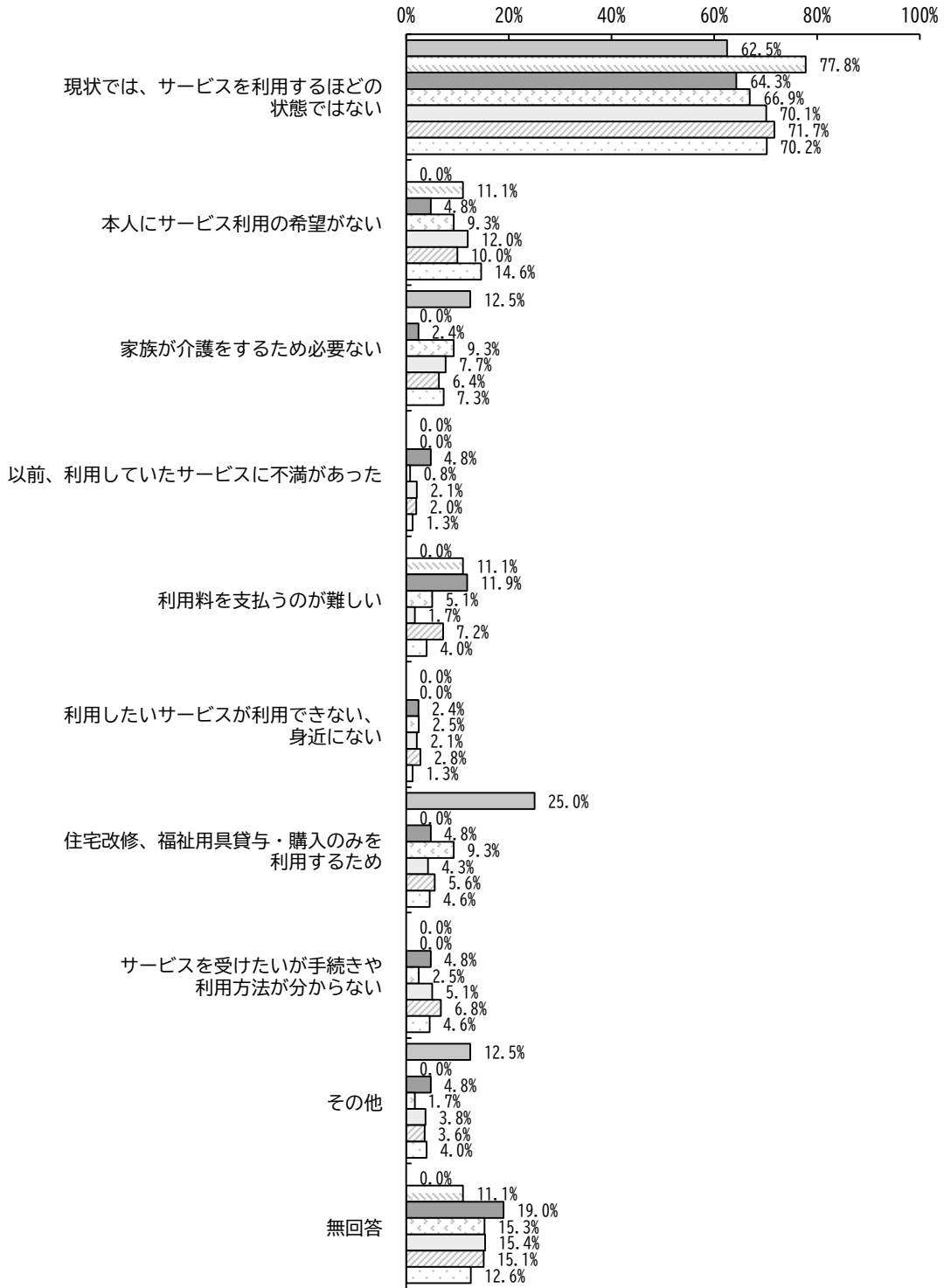
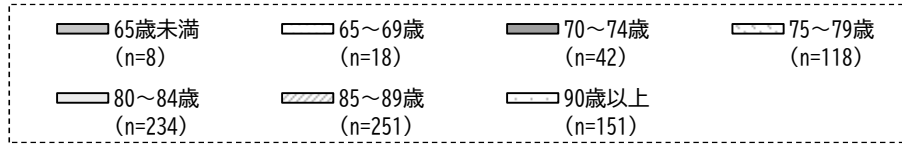


○在宅要介護



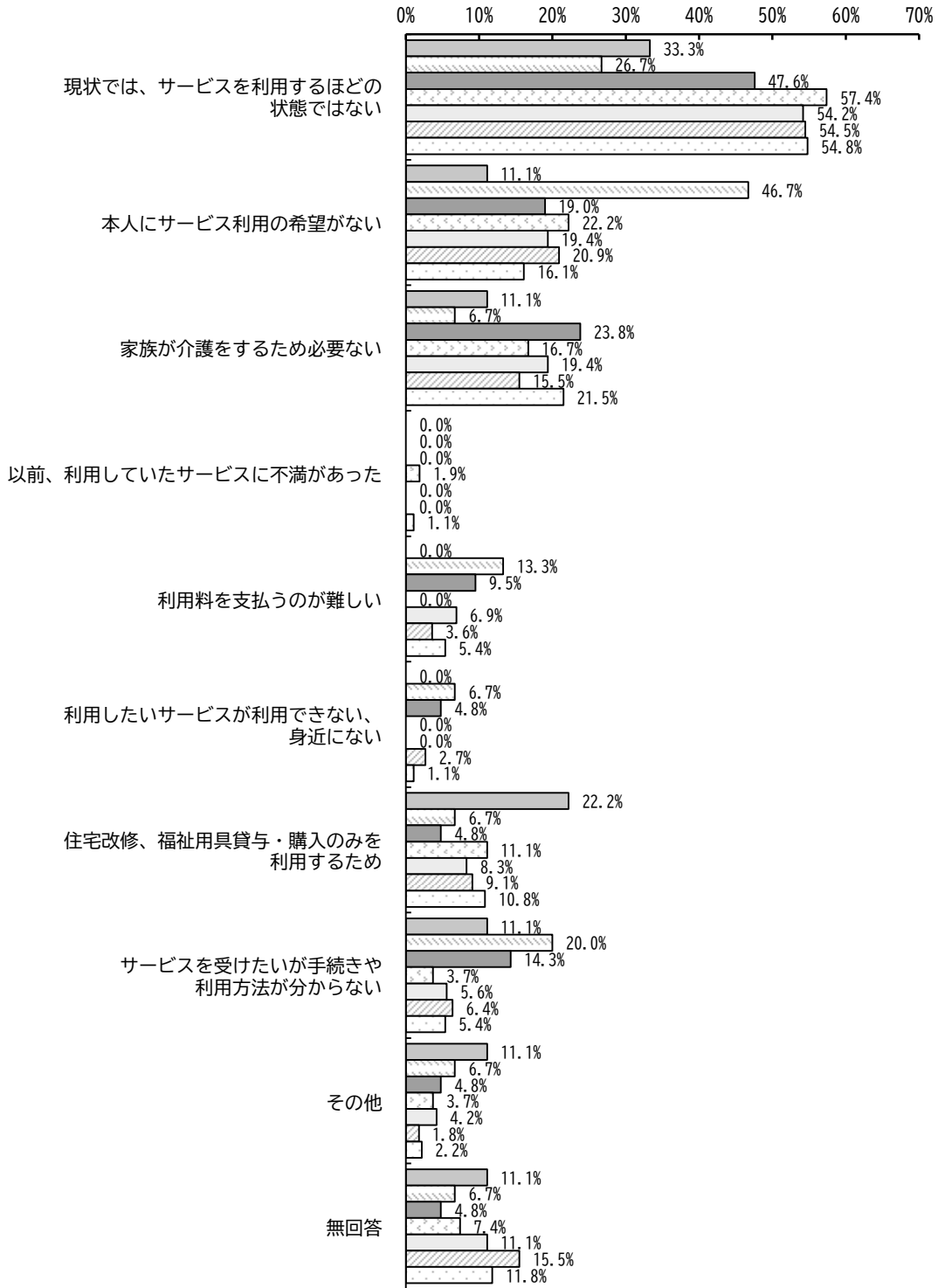
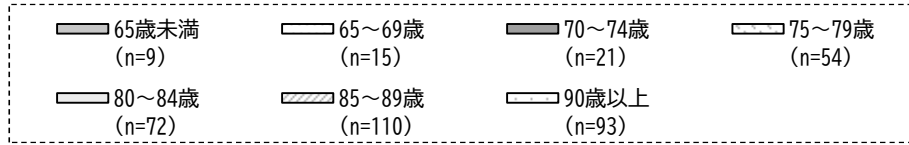
【年齢別集計】

○在宅要支援



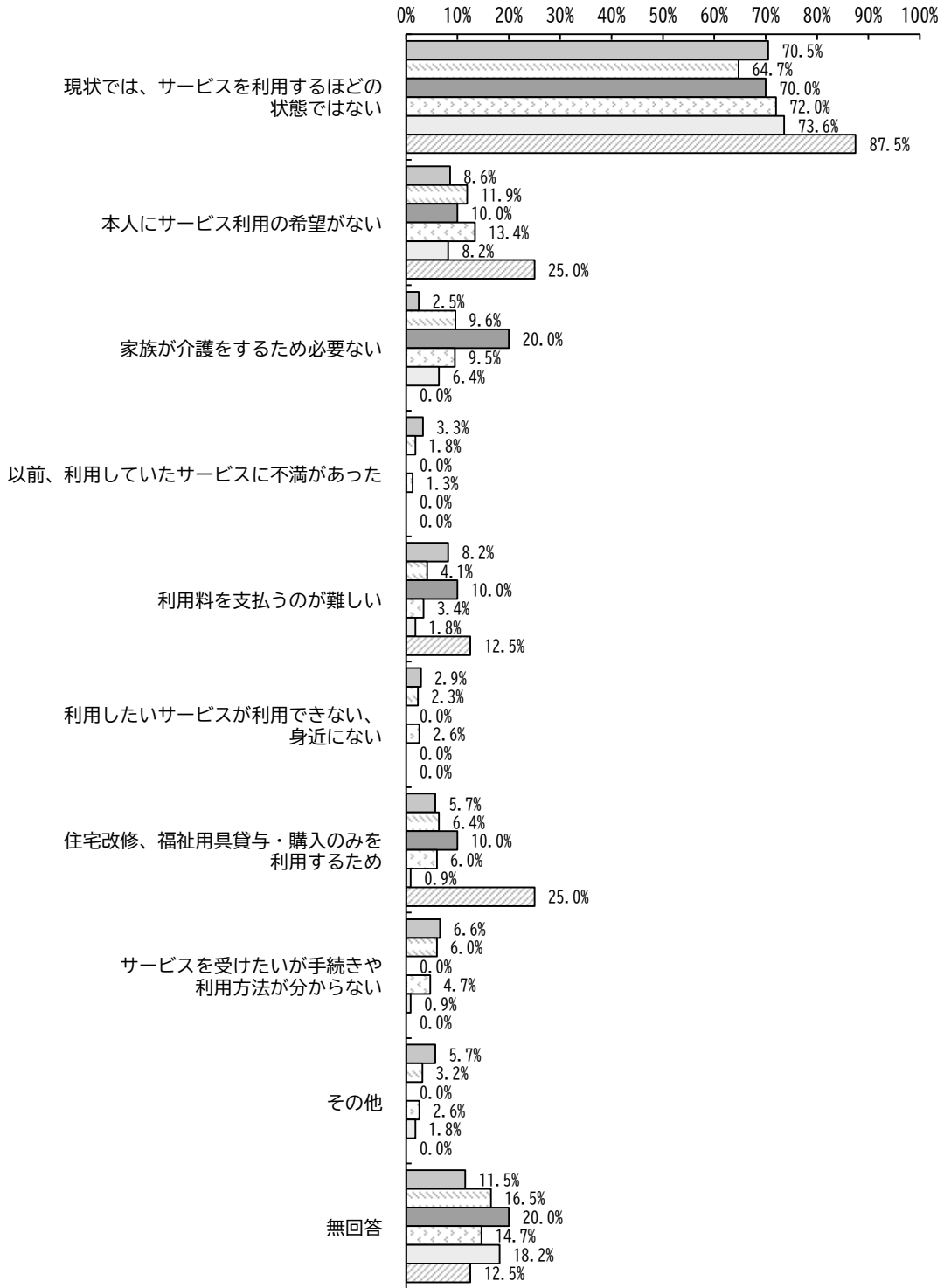
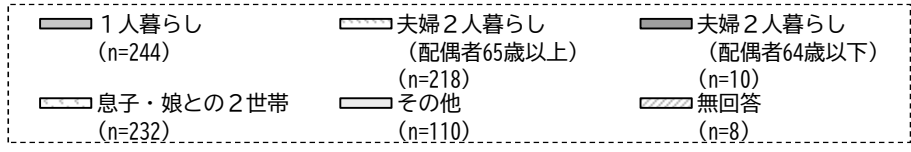
【年齢別集計】

○在宅要介護



【家族構成別集計】

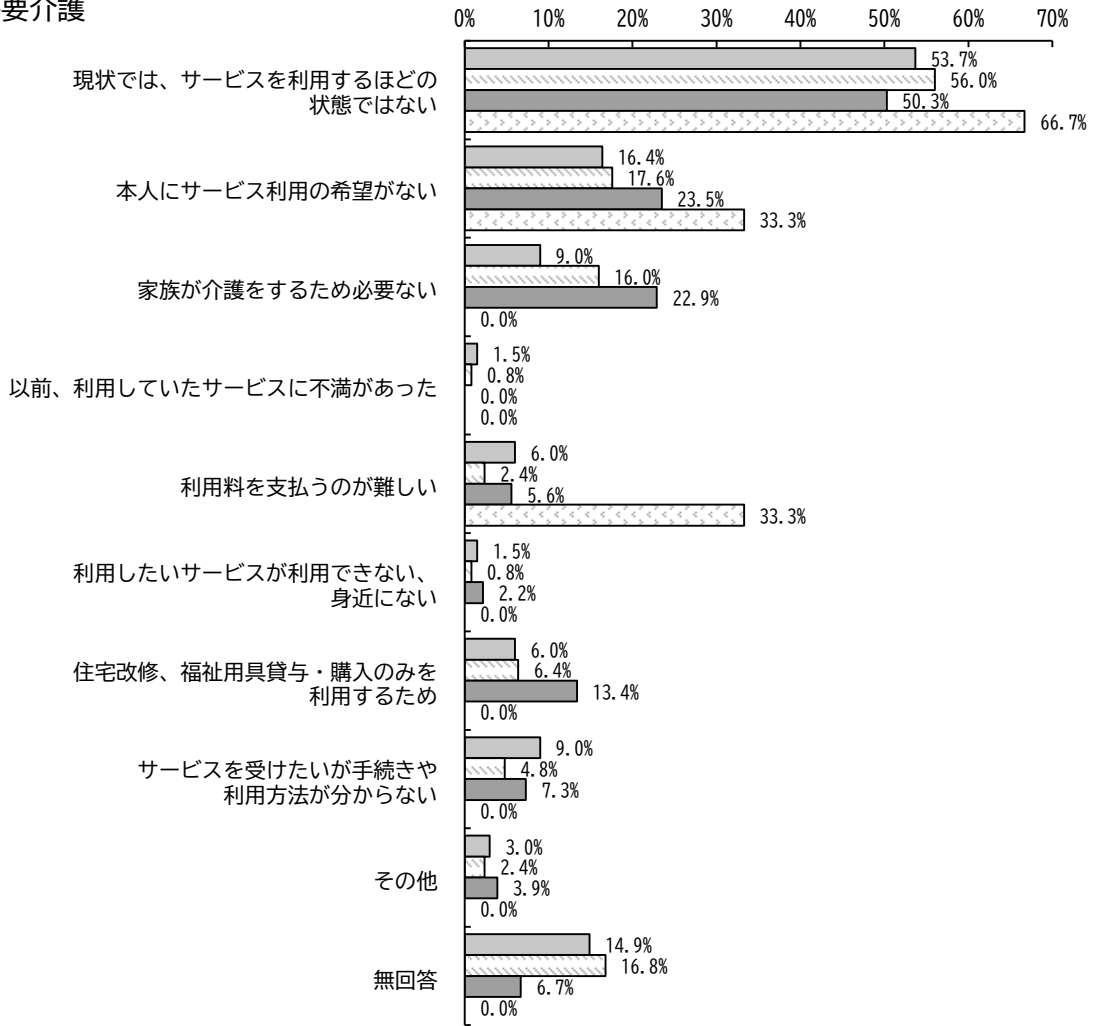
○在宅要支援



【家族構成別集計】

単身世帯 (n=67)    
  夫婦のみ世帯 (n=125)    
  その他 (n=179)    
  無回答 (n=3)

○在宅要介護



介護保険サービスの利用状況

「利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。

(それぞれに○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問66・在宅要介護認定者調査 問22>

【単純集計】

A. 訪問介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	198	53.1%	408	55.7%
週1回程度	46	12.3%	57	7.8%
週2回程度	20	5.4%	53	7.2%
週3回程度	4	1.1%	35	4.8%
週4回程度	2	0.5%	6	0.8%
週5回以上	2	0.5%	27	3.7%
無回答	101	27.1%	147	20.1%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

B. 訪問入浴介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	253	67.8%	503	68.6%
週1回程度	3	0.8%	23	3.1%
週2回程度	0	0.0%	29	4.0%
週3回程度	0	0.0%	8	1.1%
週4回程度	0	0.0%	0	0.0%
週5回以上	0	0.0%	0	0.0%
無回答	117	31.4%	170	23.2%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

C. 訪問看護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	224	60.1%	419	57.2%
週1回程度	30	8.0%	114	15.6%
週2回程度	4	1.1%	29	4.0%
週3回程度	1	0.3%	8	1.1%
週4回程度	0	0.0%	4	0.5%
週5回以上	0	0.0%	12	1.6%
無回答	114	30.6%	147	20.1%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

#### D. 訪問リハビリテーション

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	222	59.5%	469	64.0%
週1回程度	24	6.4%	66	9.0%
週2回程度	11	2.9%	49	6.7%
週3回程度	2	0.5%	12	1.6%
週4回程度	0	0.0%	3	0.4%
週5回以上	0	0.0%	1	0.1%
無回答	114	30.6%	133	18.1%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

#### E. 通所介護（デイサービス）

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	133	35.7%	194	26.5%
週1回程度	119	31.9%	62	8.5%
週2回程度	53	14.2%	130	17.7%
週3回程度	3	0.8%	137	18.7%
週4回程度	0	0.0%	70	9.5%
週5回以上	0	0.0%	64	8.7%
無回答	65	17.4%	76	10.4%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

#### F. 通所リハビリテーション（デイケア）

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	164	44.0%	433	59.1%
週1回程度	81	21.7%	42	5.7%
週2回程度	41	11.0%	55	7.5%
週3回程度	0	0.0%	43	5.9%
週4回程度	0	0.0%	15	2.0%
週5回以上	1	0.3%	8	1.1%
無回答	86	23.1%	137	18.7%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

#### G. 夜間対応型訪問介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない			562	76.7%
週1回程度			6	0.8%
週2回程度			1	0.1%
週3回程度			0	0.0%
週4回程度			1	0.1%
週5回以上			3	0.4%
無回答			160	21.8%
合 計			733	100.0%

H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない			605	82.5%
利用した			27	3.7%
無回答			101	13.8%
合 計			733	100.0%

I. 小規模多機能型居宅介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	283	75.9%	575	78.4%
利用した	5	1.3%	46	6.3%
無回答	85	22.8%	112	15.3%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

J. 看護小規模多機能型居宅介護

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない			600	81.9%
利用した			22	3.0%
無回答			111	15.1%
合 計			733	100.0%

K. ショートステイ

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	289	77.5%	508	69.3%
月1～7日程度	3	0.8%	88	12.0%
月8～14日程度	1	0.3%	27	3.7%
月15～21日程度	0	0.0%	11	1.5%
月22日以上	0	0.0%	20	2.7%
無回答	80	21.4%	79	10.8%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

L. 居宅療養管理指導

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
利用していない	283	75.9%	565	77.1%
月1回程度	4	1.1%	26	3.5%
月2回程度	5	1.3%	37	5.0%
月3回程度	0	0.0%	0	0.0%
月4回程度	0	0.0%	10	1.4%
無回答	81	21.7%	95	13.0%
合 計	373	100.0%	733	100.0%

**家族や親族からの介護の頻度**

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。)(〇はひとつ)

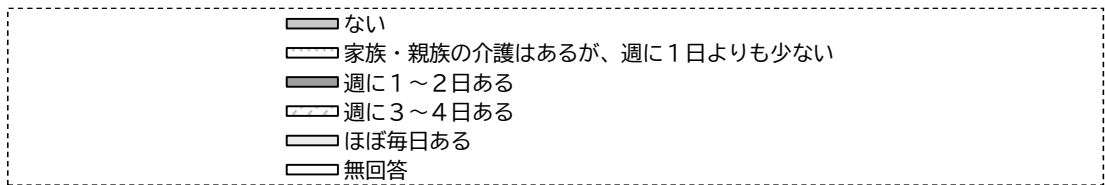
<在宅要支援認定者調査 問67・在宅要介護認定者調査 問23>

**【単純集計】**

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
ない	668	53.1%	270	24.1%
家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	89	7.1%	70	6.2%
週に1～2日ある	89	7.1%	94	8.4%
週に3～4日ある	27	2.1%	61	5.4%
ほぼ毎日ある	111	8.8%	542	48.3%
無回答	273	21.7%	85	7.6%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

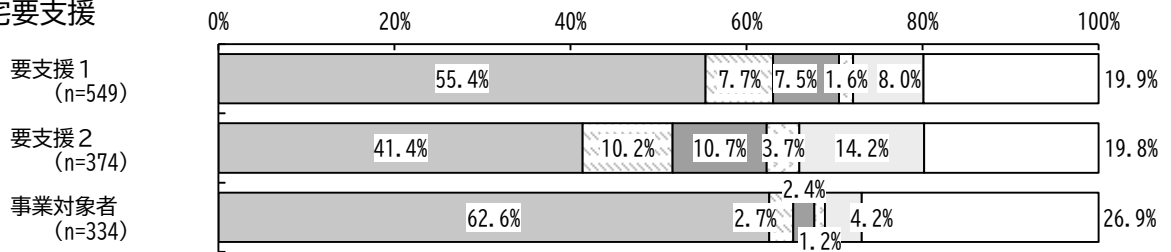
単純集計でみると、在宅要支援認定者では「ない」の割合が高く、在宅要介護認定者では「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、要介護度が高くなるにつれて「ない」の割合が低くなる傾向がみられます。家族構成別でみると、在宅要介護認定者では、「ない」の割合は単身世帯が最も高くなっています。

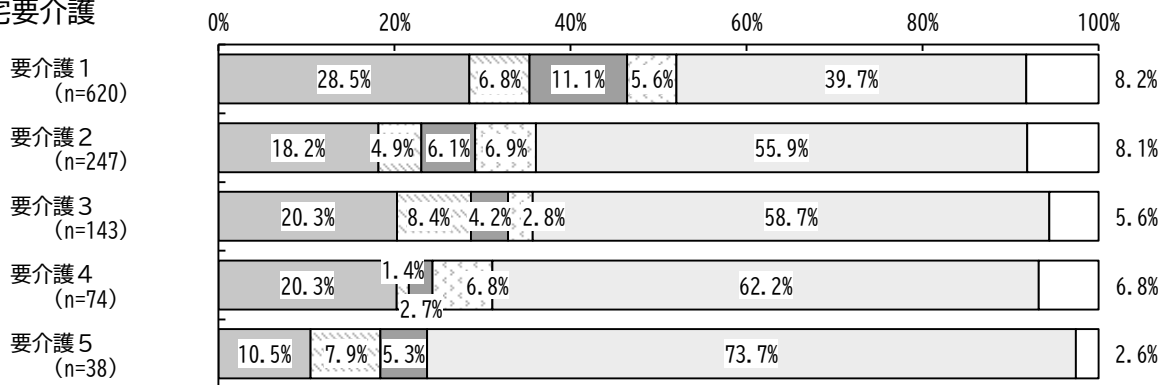


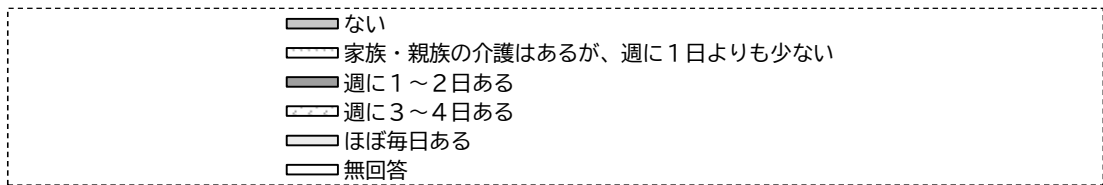
【要介護度別集計】

○在宅要支援



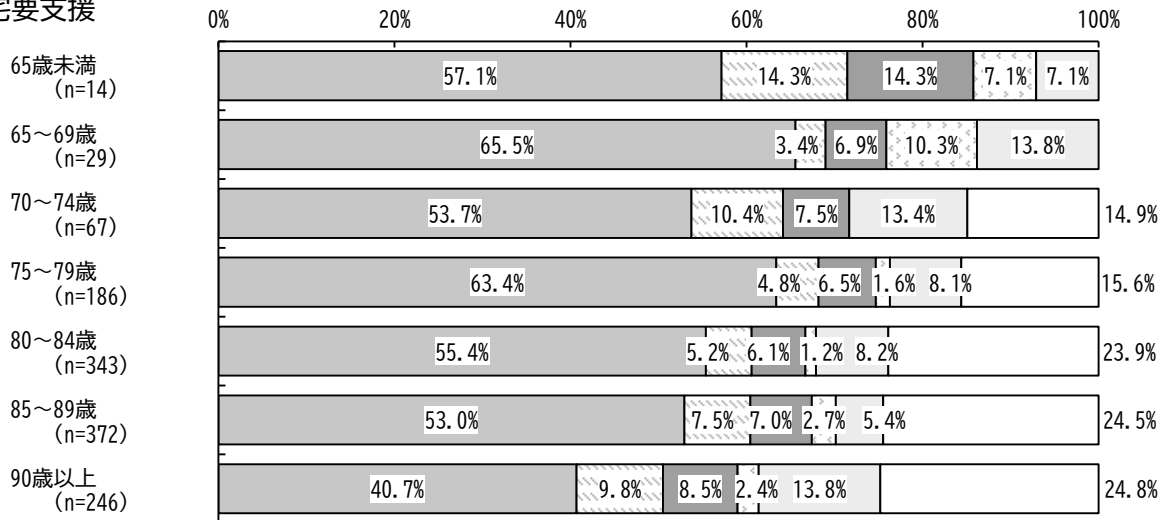
○在宅要介護



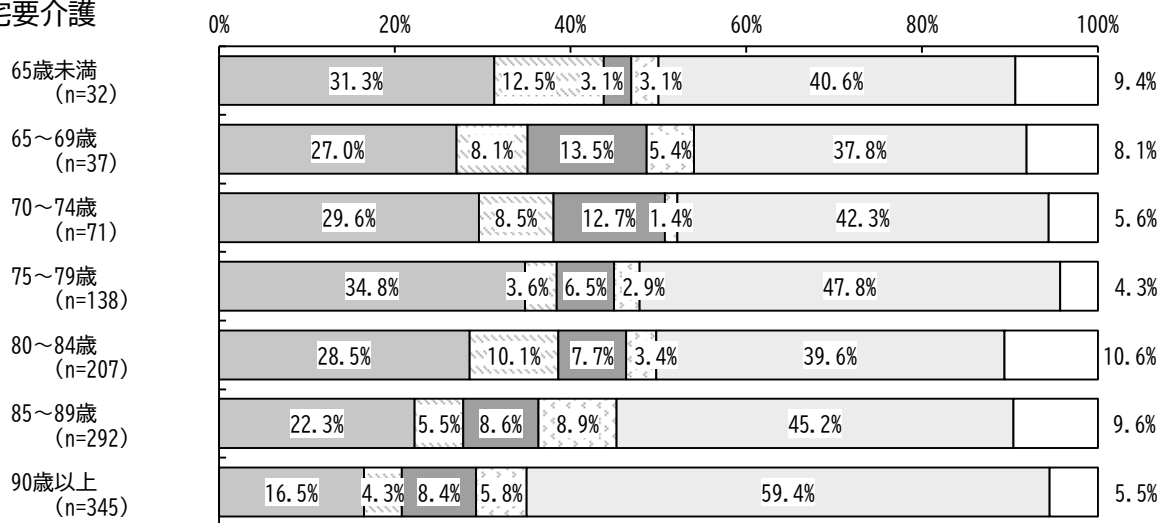


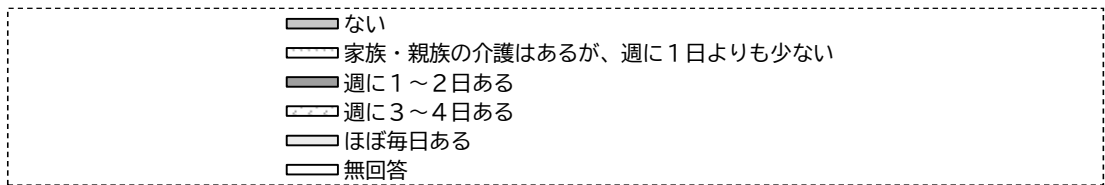
【年齢別集計】

○在宅要支援



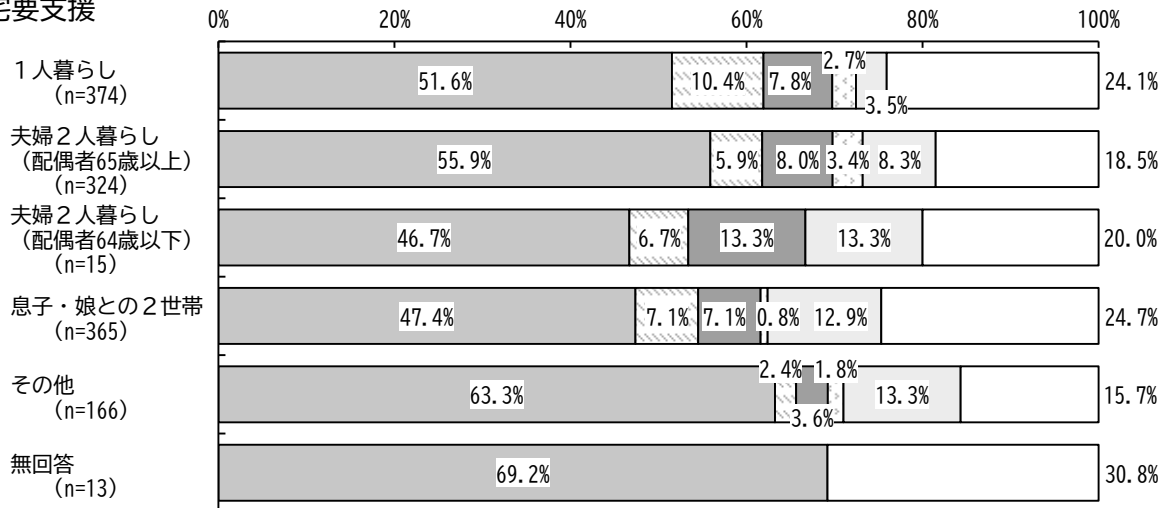
○在宅要介護



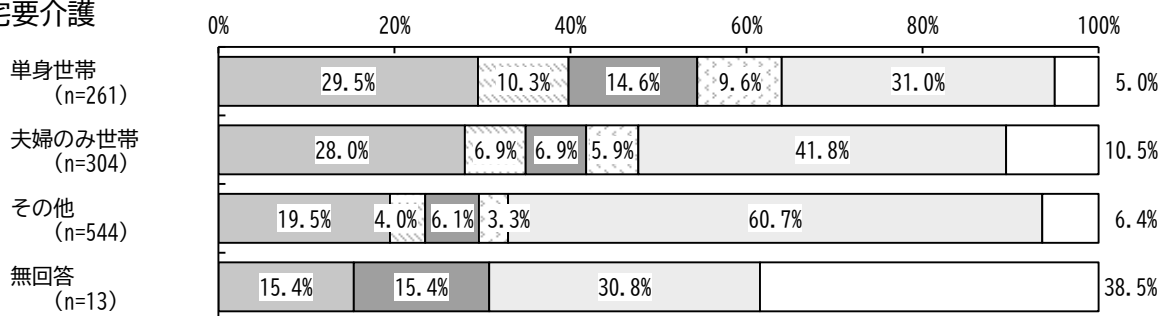


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



主な介護者の年齢

主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問68・在宅要介護認定者調査 問24>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
20歳未満	1	0.3%	1	0.1%
20代	2	0.6%	0	0.0%
30代	6	1.9%	5	0.7%
40代	13	4.1%	13	1.7%
50代	72	22.8%	118	15.4%
60代	92	29.1%	281	36.6%
70代	52	16.5%	193	25.2%
80歳以上	56	17.7%	143	18.6%
わからない	0	0.0%	1	0.1%
無回答	22	7.0%	12	1.6%
合 計	316	100.0%	767	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「60代」の割合が高くなっています。

要介護度別でみると、在宅要支援認定者では、要支援2の「60代」の割合が高くなっています。在宅要介護認定者では、要介護5の「80歳以上」の割合が高くなっています。

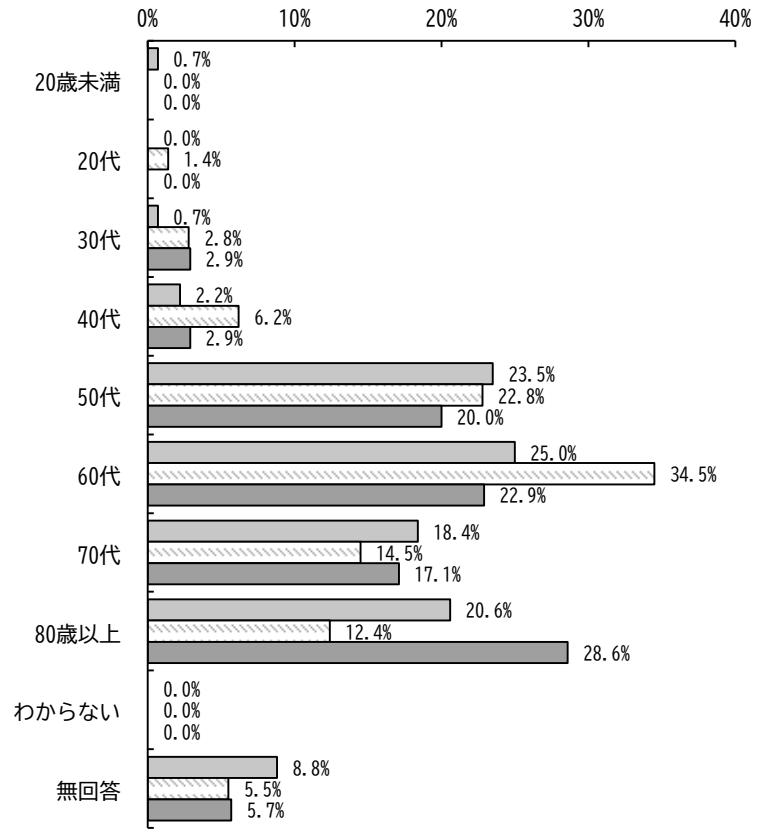
年齢別でみると、在宅要支援認定者では90歳以上の「60代」、在宅要介護認定者では75～79歳の「70代」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者では、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）の「50代」の割合が高くなっています。

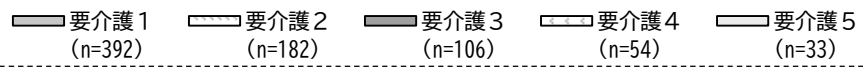
【要介護度別集計】

要支援1 (n=136)      要支援2 (n=145)      事業対象者 (n=35)

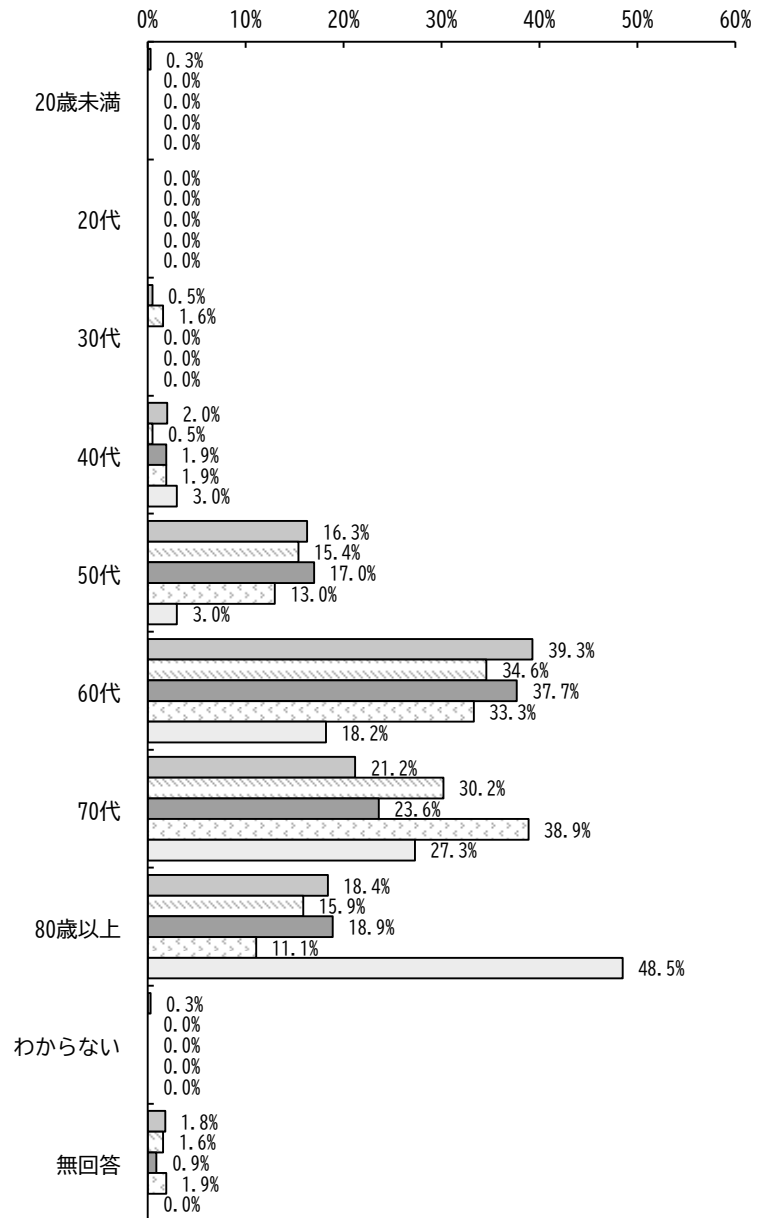
○在宅要支援



【要介護度別集計】

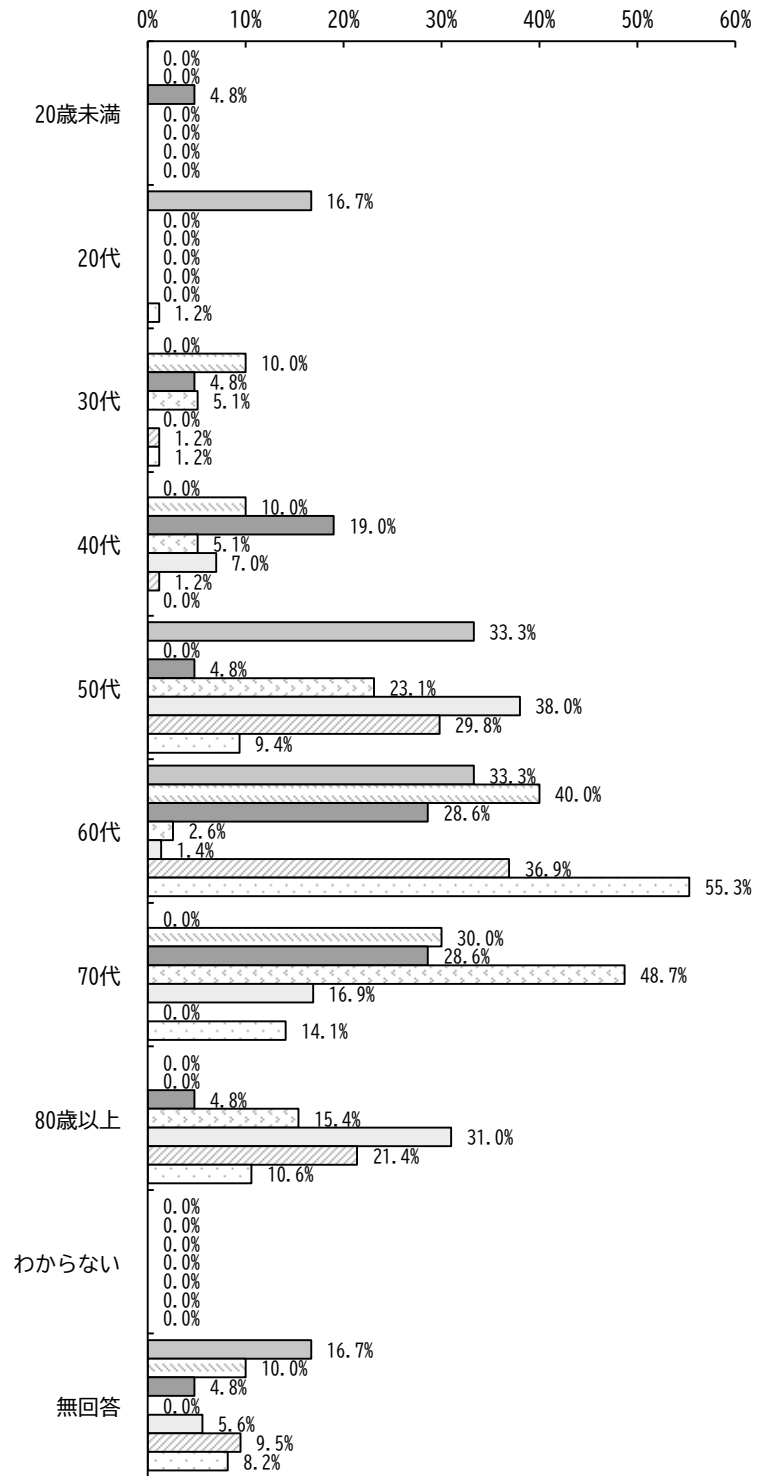
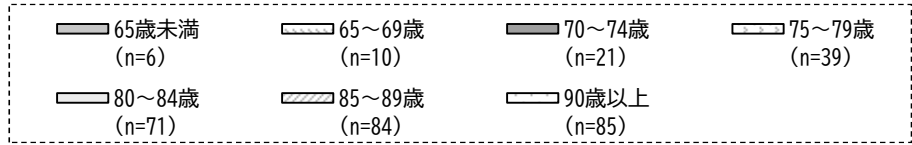


○在宅要介護



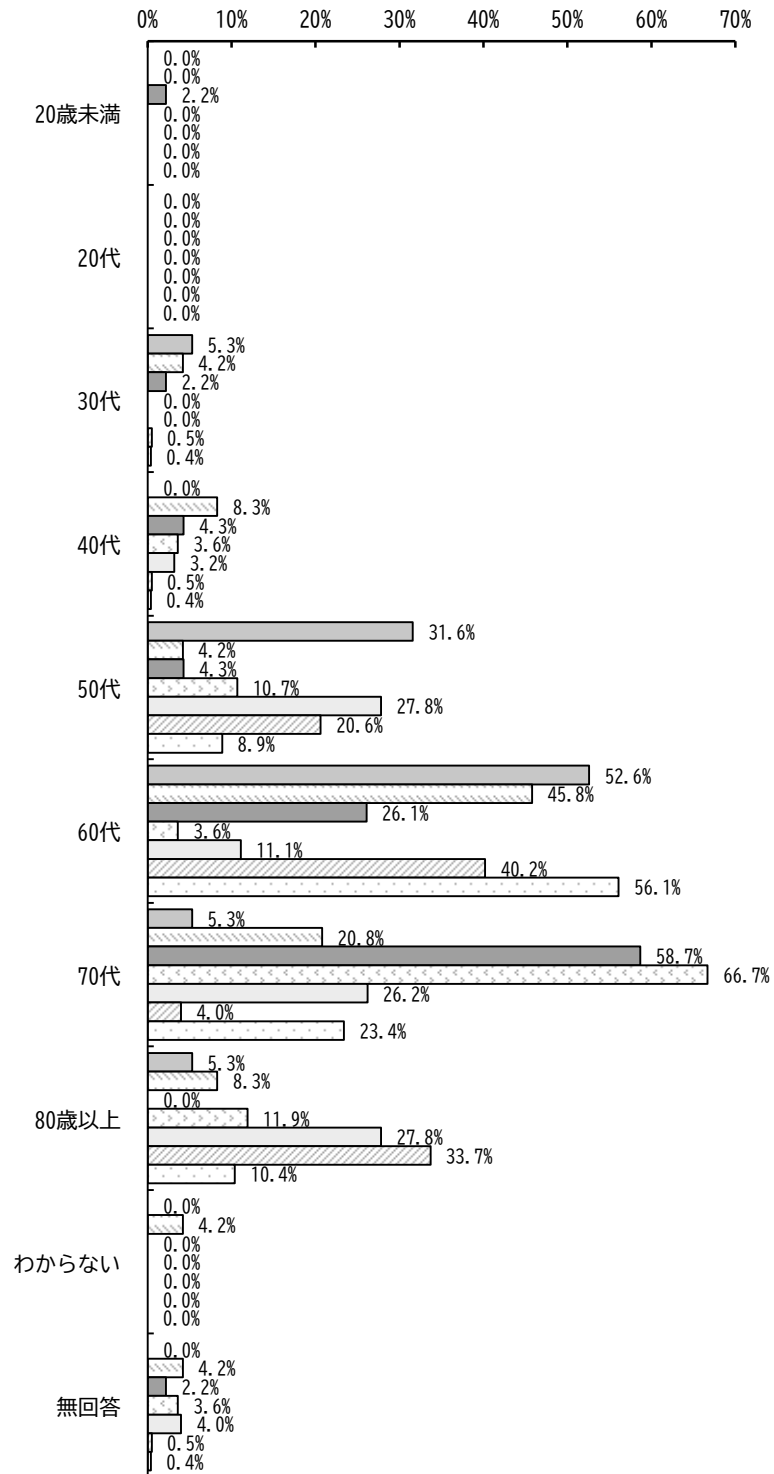
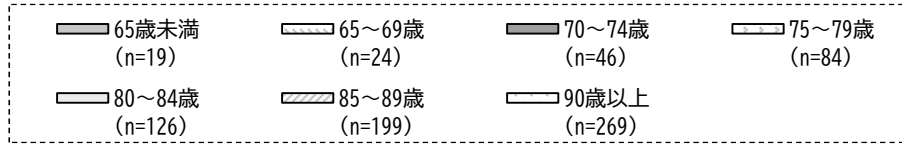
【年齢別集計】

○在宅要支援



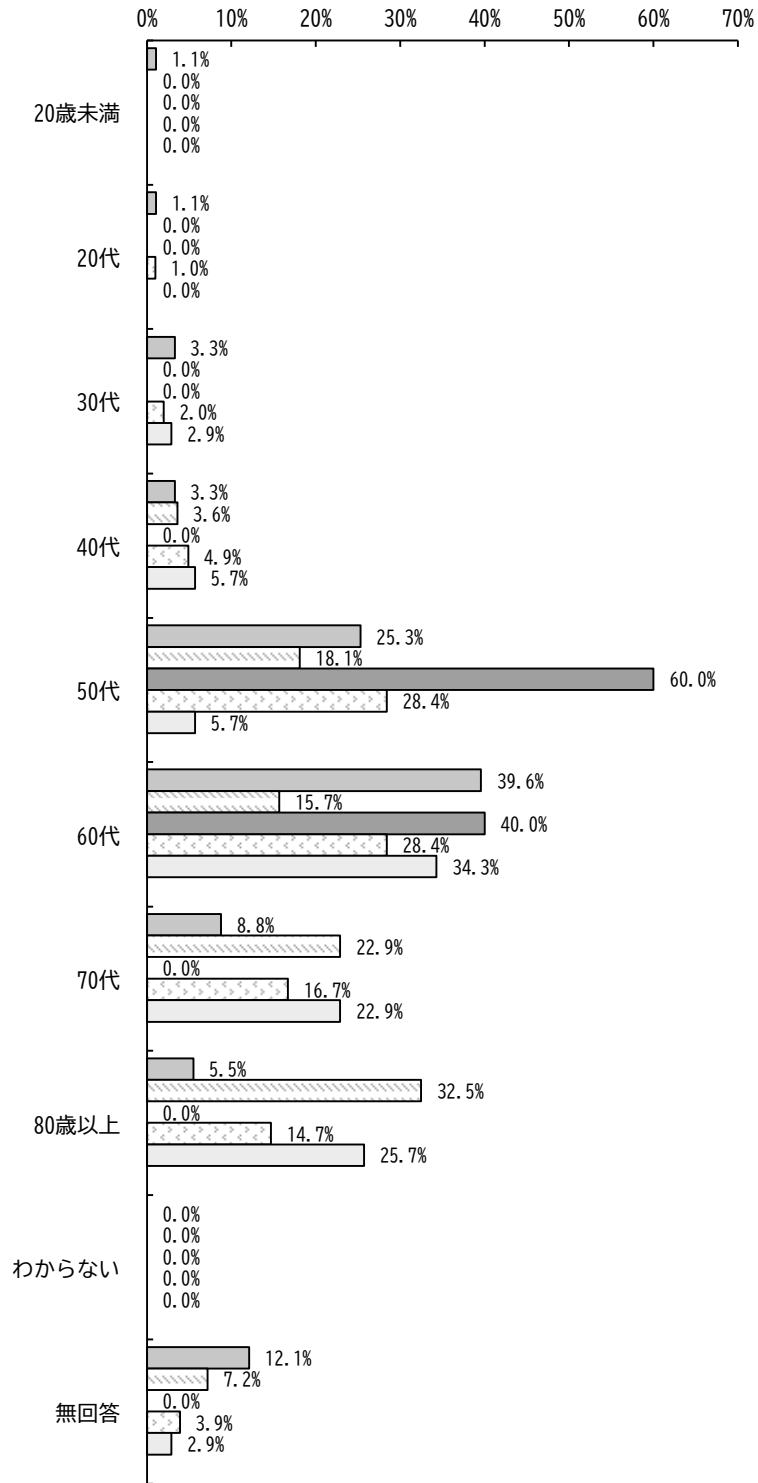
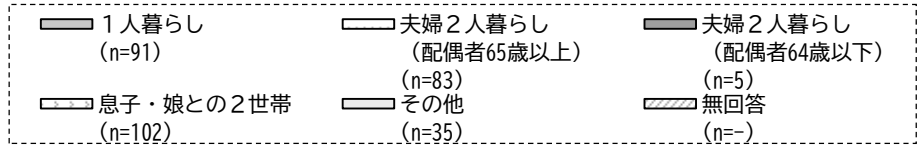
【年齢別集計】

○在宅要介護



【家族構成別集計】

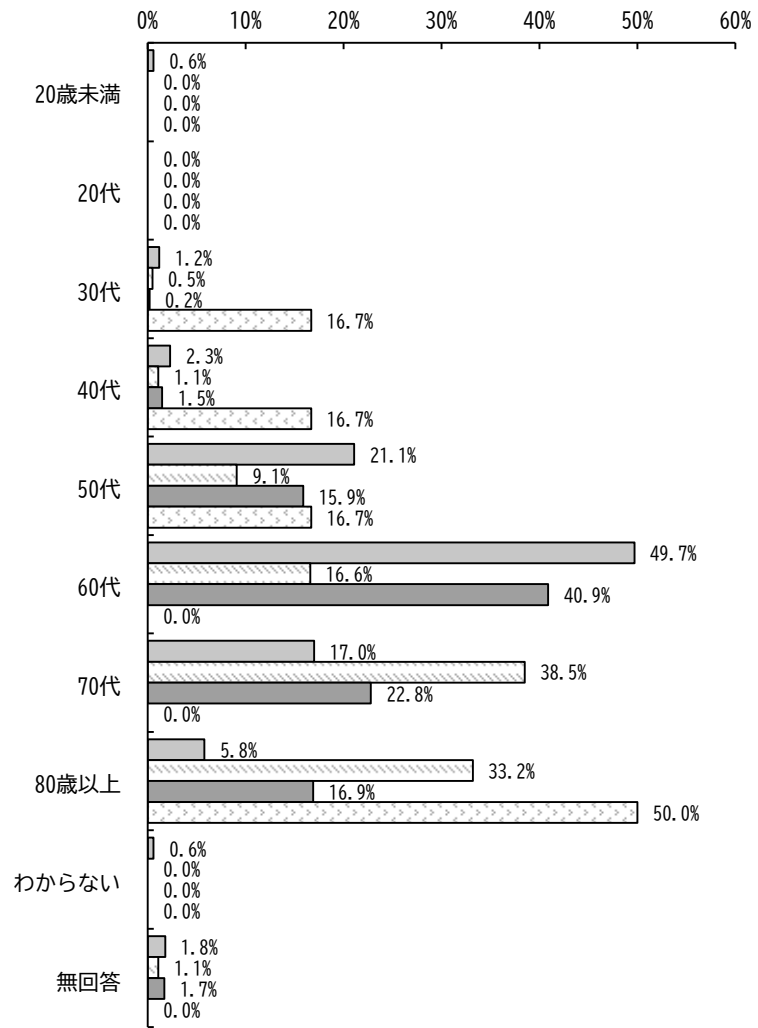
○在宅要支援



【家族構成別集計】

単身世帯 (n=171)
  夫婦のみ世帯 (n=187)
  その他 (n=403)
  無回答 (n=6)

○在宅要介護



(介護保険制度や介護保険サービスについて)

**家族・親族で介護を理由に仕事を辞めた人の有無**

ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）

（○はいくつでも）

<在宅要支援認定者調査 問69・在宅要介護認定者調査 問25>

**【単純集計】**

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	14	4.4%	71	9.3%
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	3	0.9%	13	1.7%
主な介護者が転職した	6	1.9%	20	2.6%
主な介護者以外の家族・親族が転職した	1	0.3%	5	0.7%
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	216	68.4%	558	72.8%
わからない	23	7.3%	19	2.5%
無回答	54	17.1%	84	11.0%
回 答 数	316	-	767	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「介護のために仕事を辞めた家族・親はいない」の割合が高くなっていますが、在宅要介護認定者では約1割が「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」と回答しています。

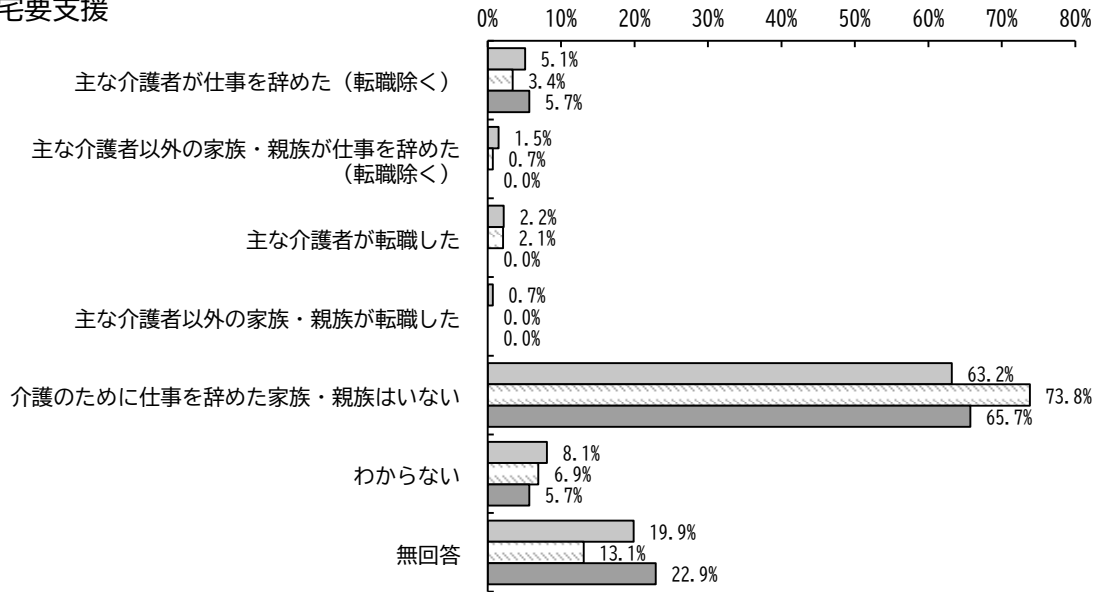
要介護度別でみると、すべての介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が6割を超えています。

家族構成別でみると、ほぼすべての家族構成で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が6割を超えています。

【要介護度別集計】

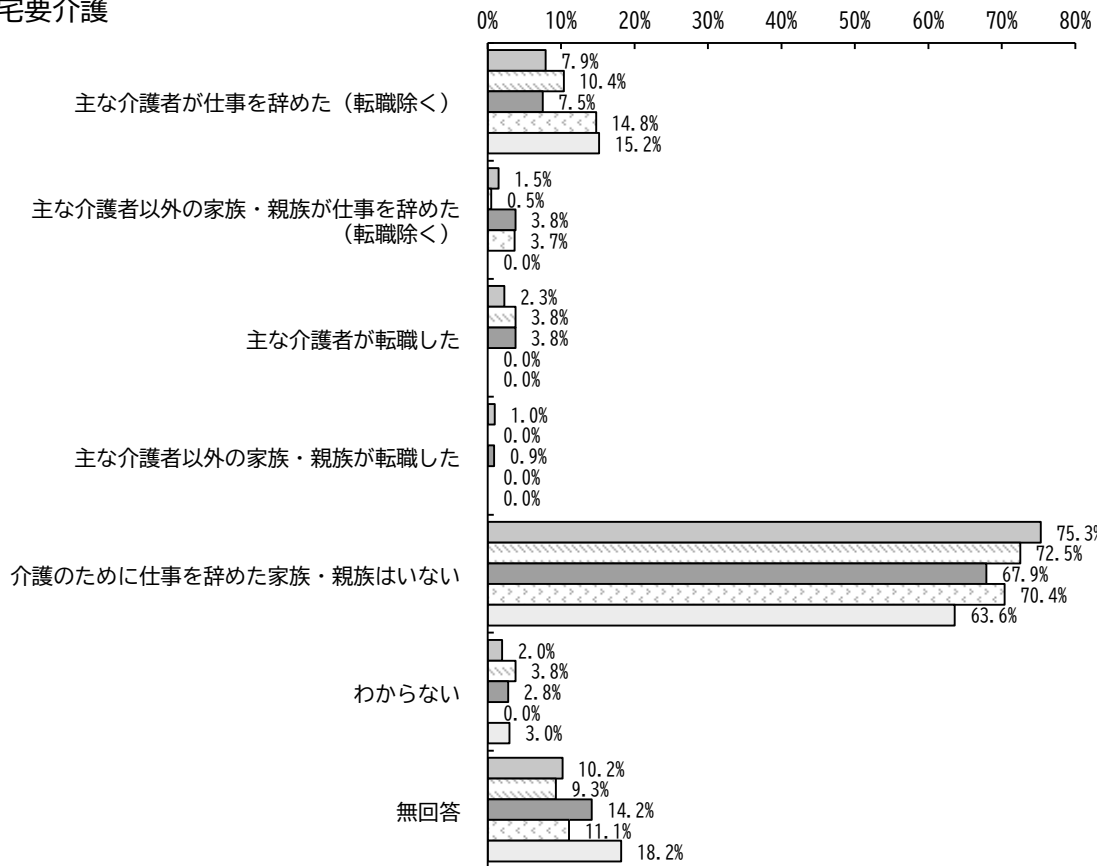
要支援1 (n=136)      要支援2 (n=145)      事業対象者 (n=35)

○在宅要支援

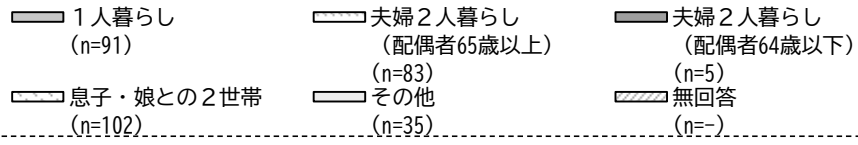


要介護1 (n=392)      要介護2 (n=182)      要介護3 (n=106)      要介護4 (n=54)      要介護5 (n=33)

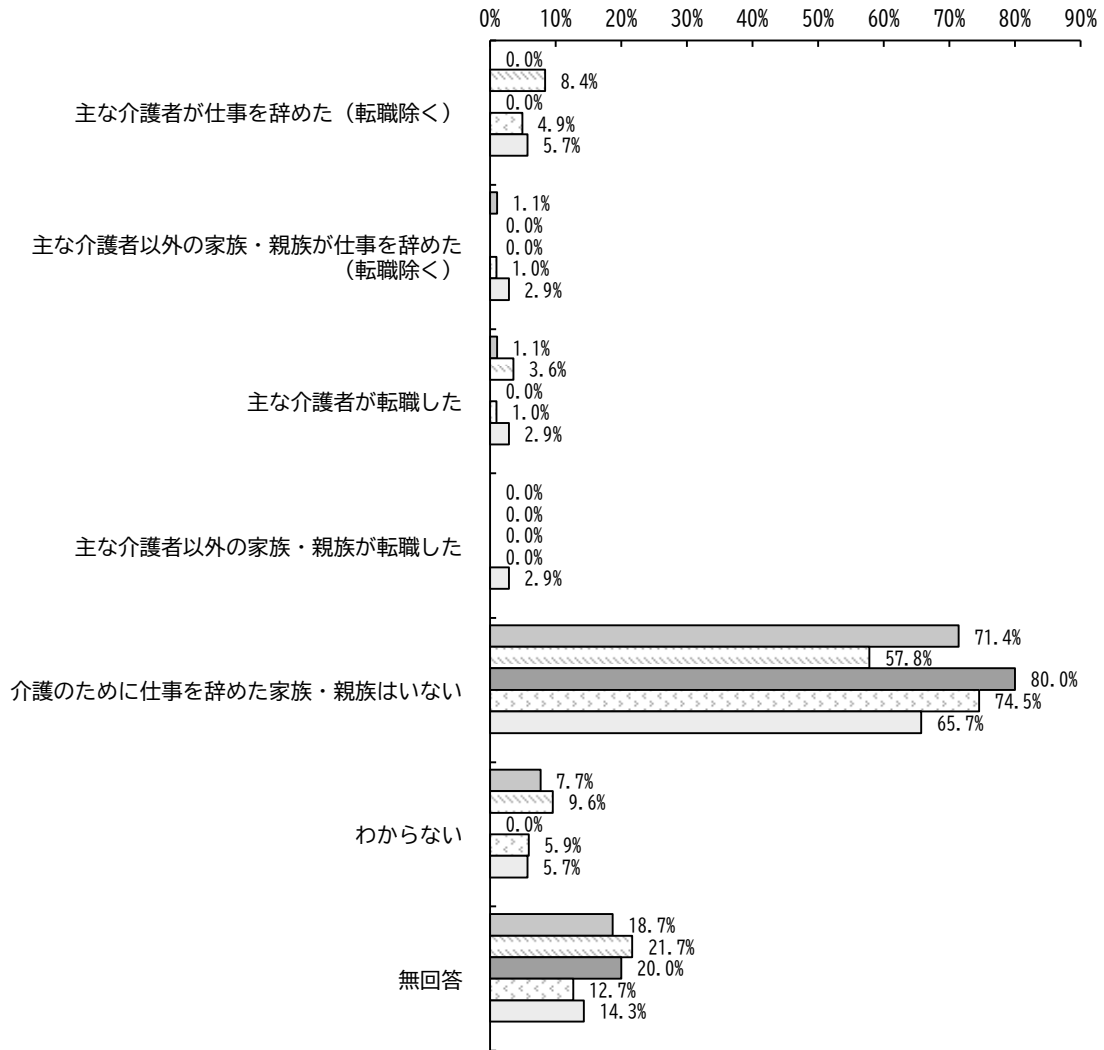
○在宅要介護



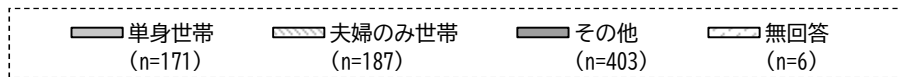
【家族構成別集計】



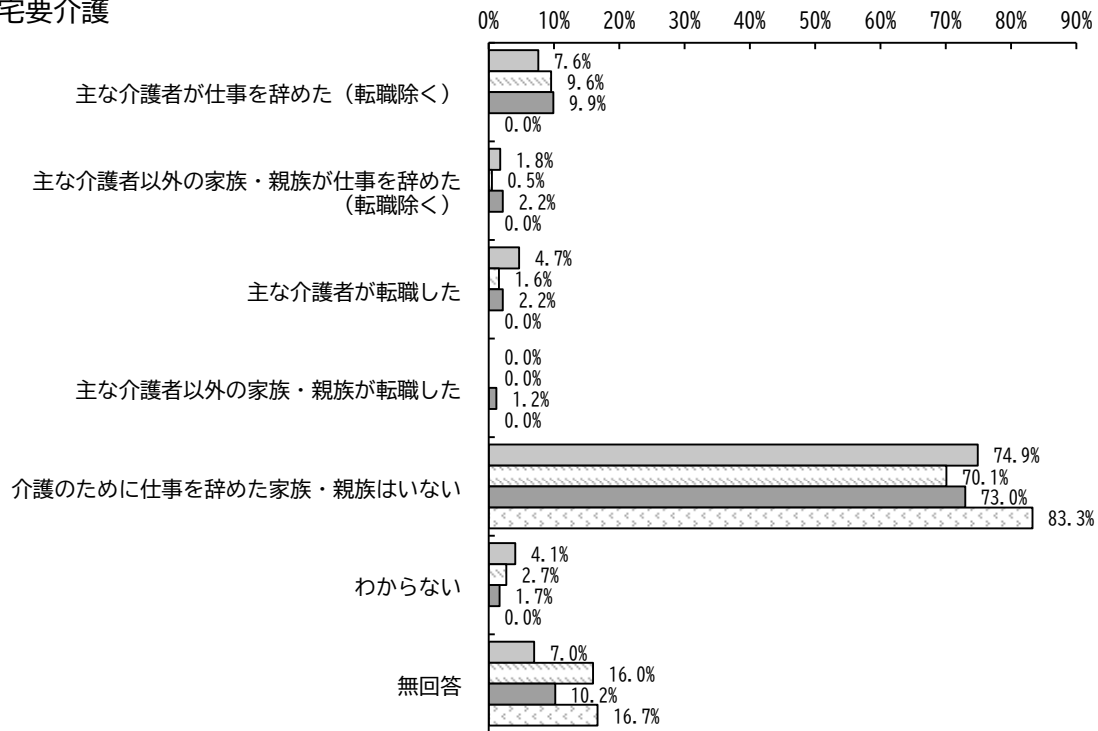
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



主な介護者の勤務形態

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問70・在宅要介護認定者調査 問26>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
フルタイムで働いている	82	25.9%	166	21.6%
パートタイムで働いている	79	25.0%	192	25.0%
働いていない	114	36.1%	370	48.2%
主な介護者に確認しないと、わからない	2	0.6%	4	0.5%
無回答	39	12.3%	35	4.6%
合 計	316	100.0%	767	100.0%

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「働いていない」の割合が高くなっています。

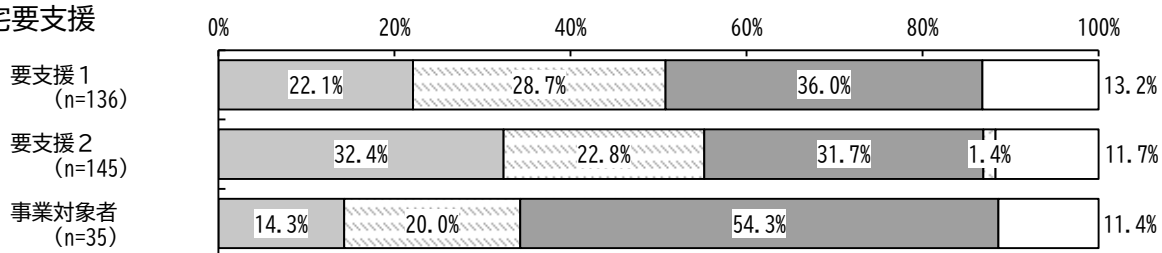
要介護度別でみると、要支援1と要支援2と要介護3では「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」をあわせた割合が5割を超えていますが、要介護1と要介護2では5割をやや下回り、事業対象者と要介護4では4割程度となっています。

家族構成別でみると、在宅要介護認定者では、他の家族構成に比べて夫婦のみ世帯は「働いていない」の割合が高くなっています。

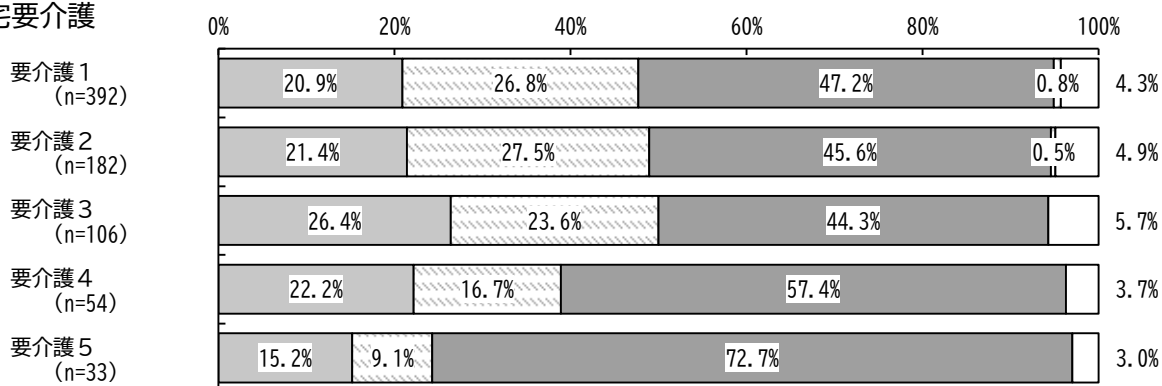


【要介護度別集計】

○在宅要支援



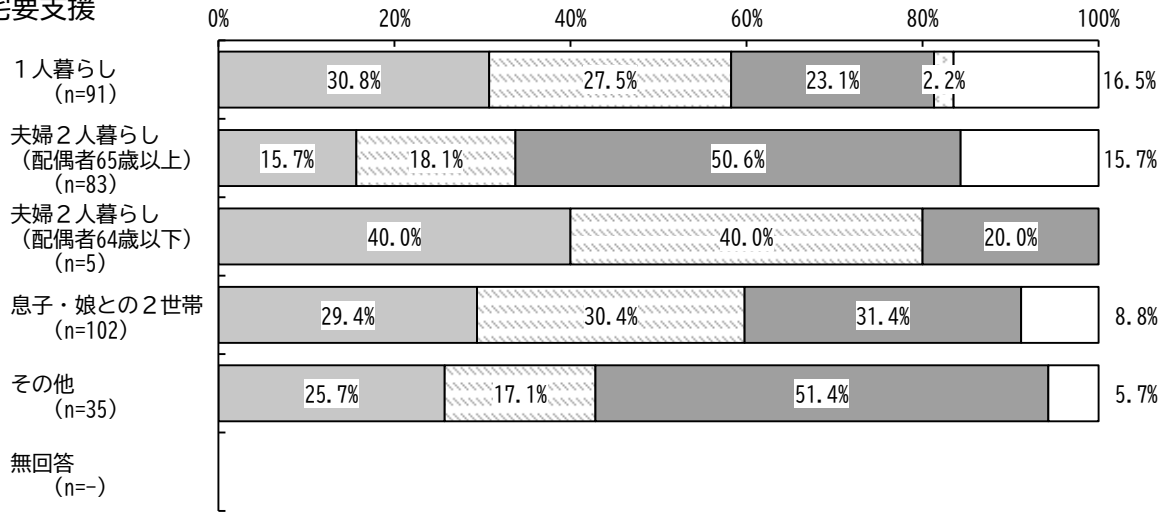
○在宅要介護



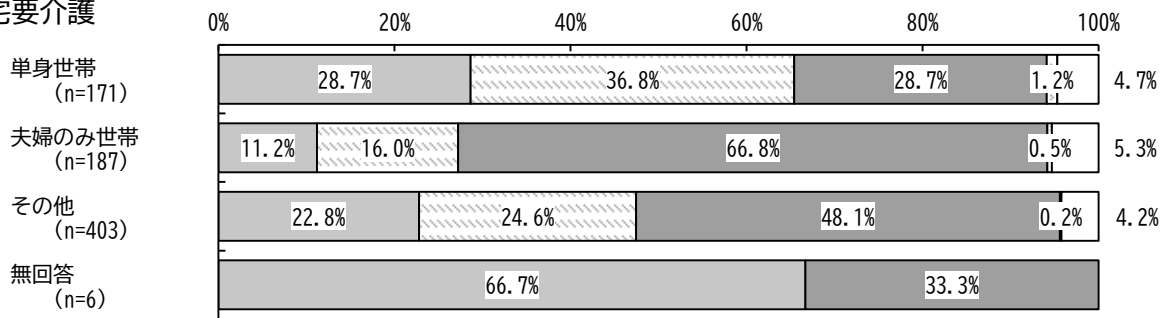


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



(介護保険制度や介護保険サービスについて)

主な介護者は介護のために働き方の調整等をしているか

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

(〇はいくつでも)

<在宅要支援認定者調査 問71・在宅要介護認定者調査 問27>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
特に行っていない	63	39.1%	104	29.1%
介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	46	28.6%	153	42.7%
介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	27	16.8%	80	22.3%
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	9	5.6%	18	5.0%
介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	27	16.8%	56	15.6%
主な介護者に確認しないと、わからない	2	1.2%	1	0.3%
無回答	6	3.7%	4	1.1%
回 答 数	161	-	358	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「特に行っていない」の割合が最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が高くなっています。在宅要介護認定者では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が高くなっています。

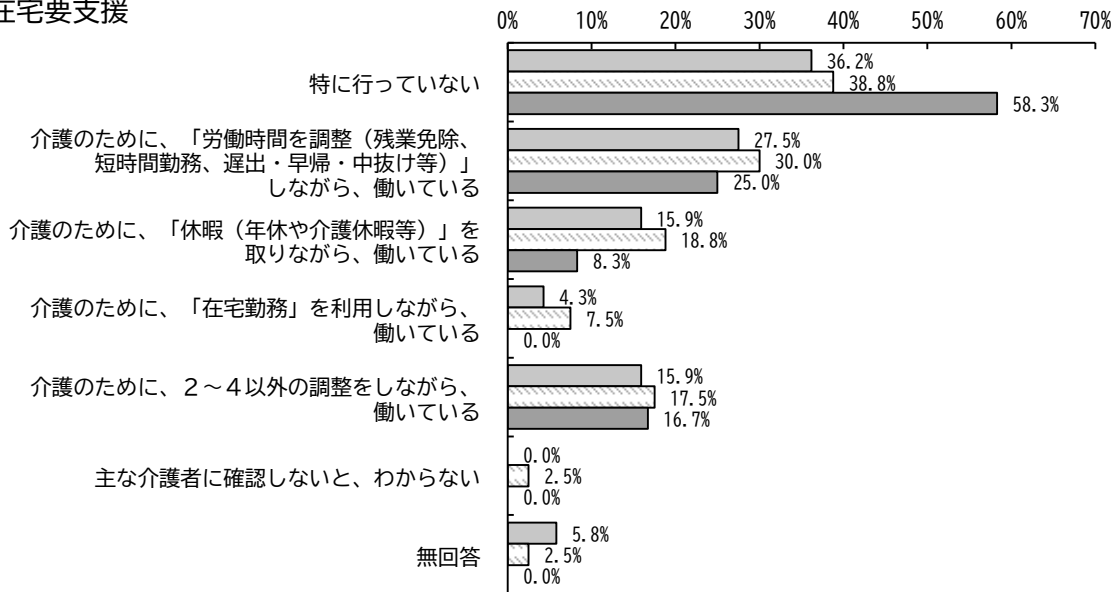
要介護度別でみると、在宅要介護認定者では、介護度が上がるにつれて「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が高くなる傾向がみられます。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者では、息子・娘との2世帯では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が最も高くなっています。

【要介護度別集計】

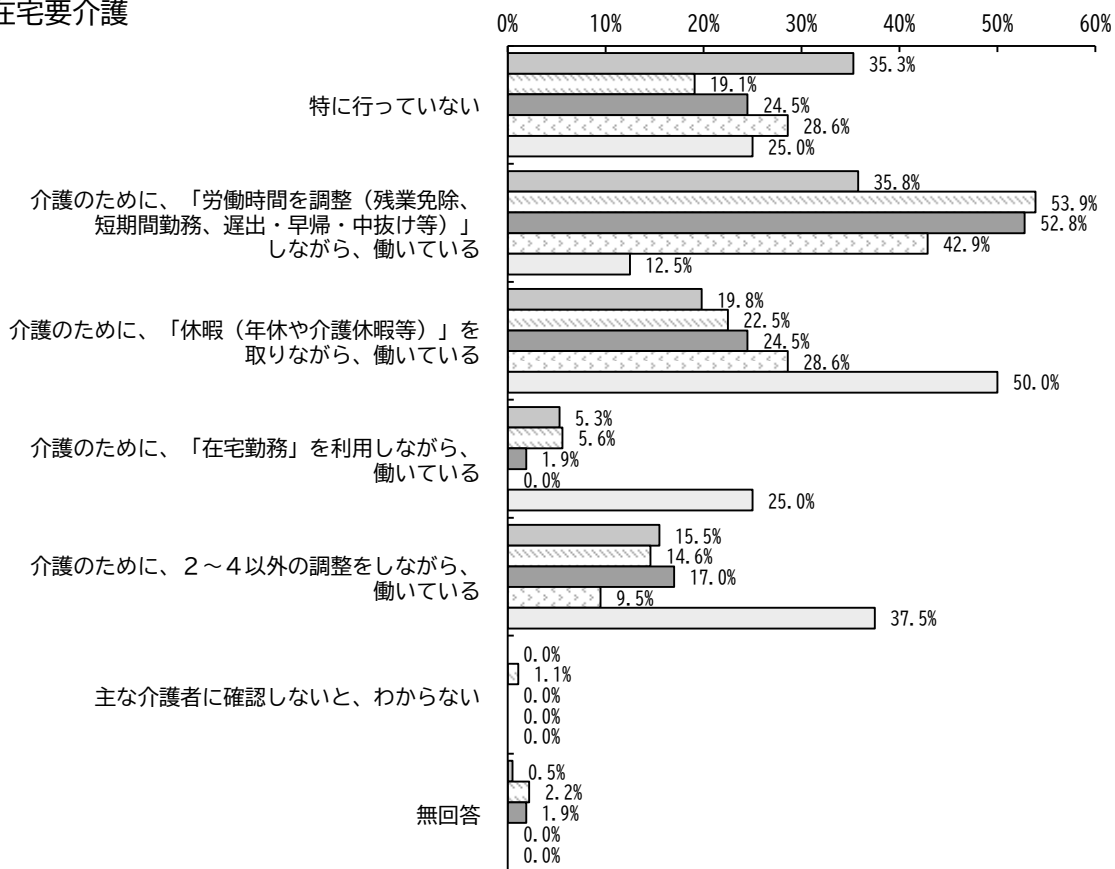
要支援1 (n=69)      要支援2 (n=80)      事業対象者 (n=12)

○在宅要支援



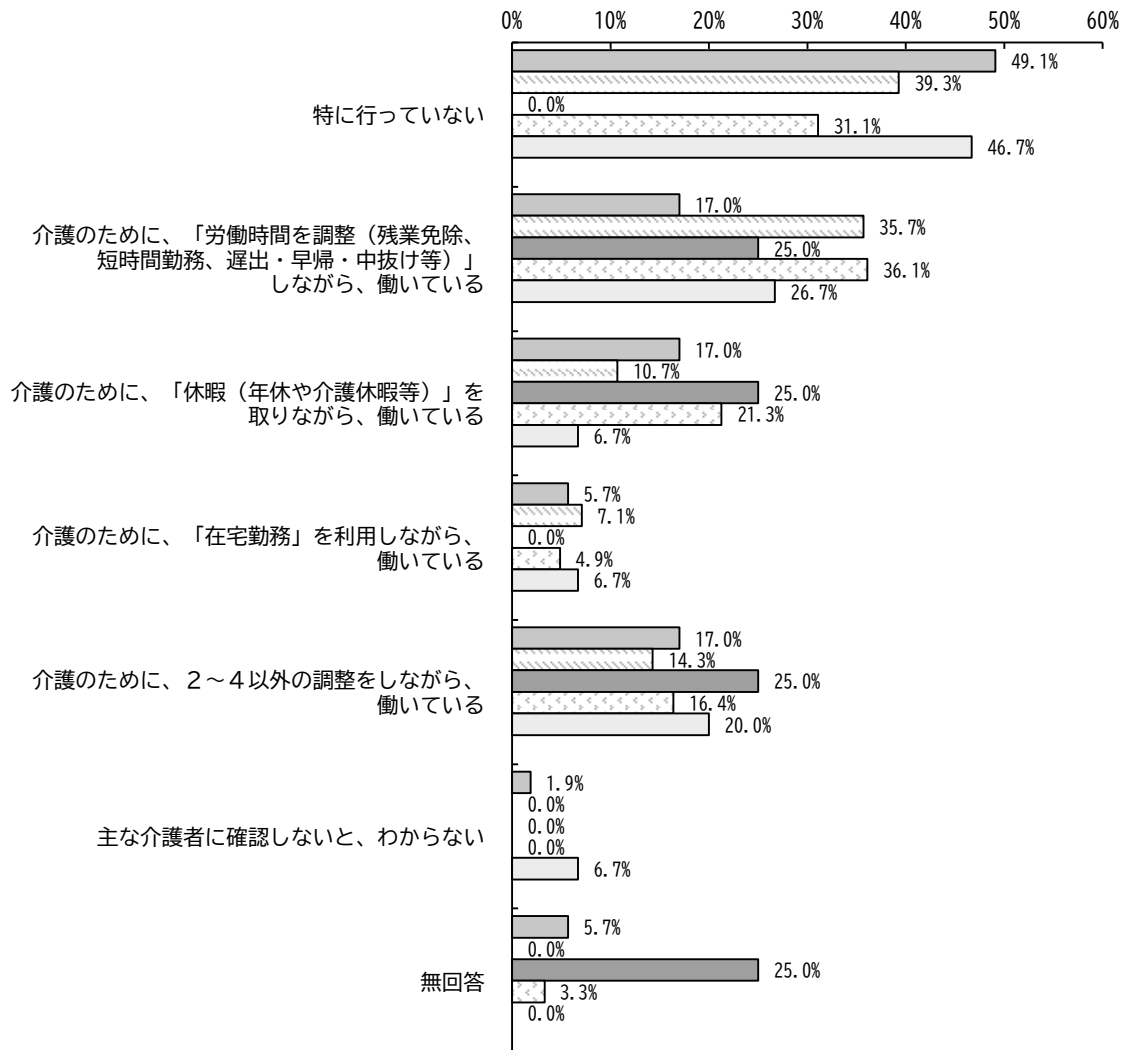
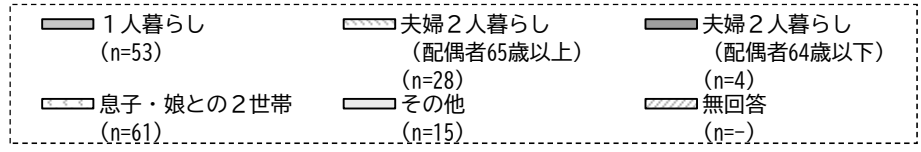
要介護1 (n=187)      要介護2 (n=89)      要介護3 (n=53)      要介護4 (n=21)      要介護5 (n=8)

○在宅要介護



【家族構成別集計】

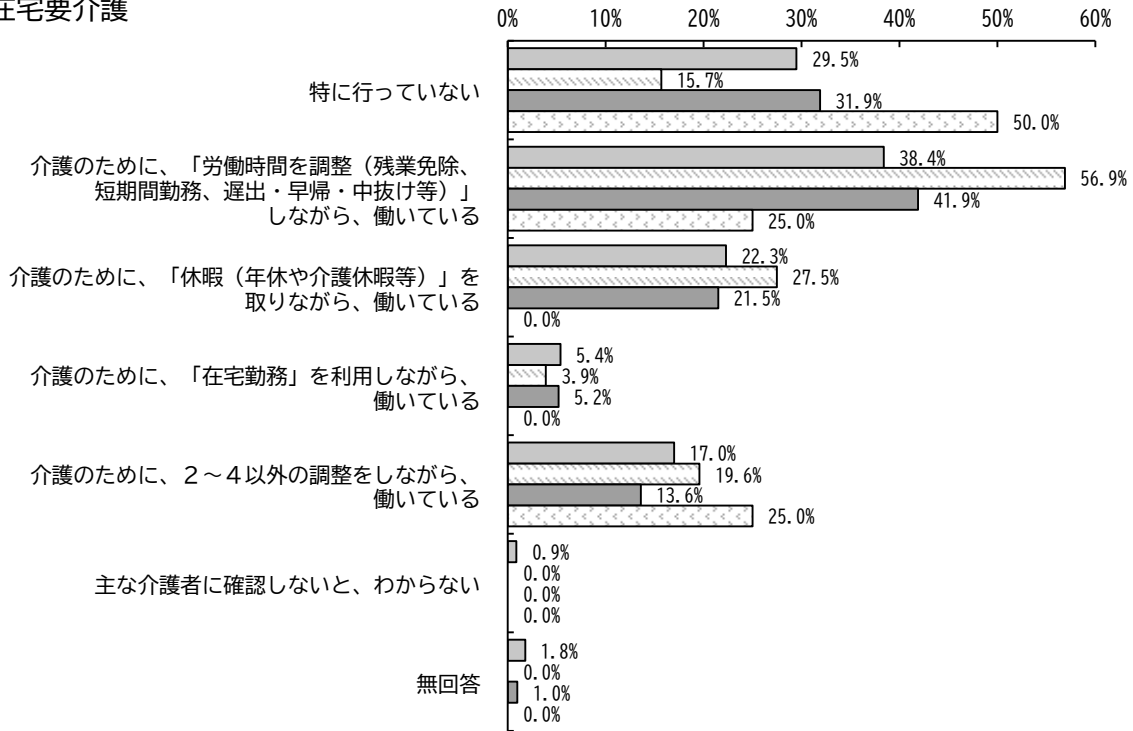
○在宅要支援



【家族構成別集計】

単身世帯 (n=112)
  夫婦のみ世帯 (n=51)
  その他 (n=191)
  無回答 (n=4)

○在宅要介護



(介護保険制度や介護保険サービスについて)

主な介護者は今後も働きながら介護を続けていけるか

「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇はひとつ)

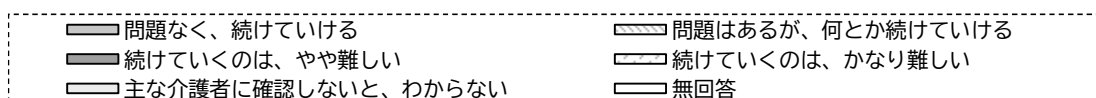
<在宅要支援認定者調査 問72・在宅要介護認定者調査 問28>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
問題なく、続けていける	46	28.6%	57	15.9%
問題はあるが、何とか続けていける	77	47.8%	208	58.1%
続けていくのは、やや難しい	12	7.5%	41	11.5%
続けていくのは、かなり難しい	6	3.7%	17	4.7%
主な介護者に確認しないと、わからない	3	1.9%	3	0.8%
無回答	17	10.6%	32	8.9%
合 計	161	100.0%	358	100.0%

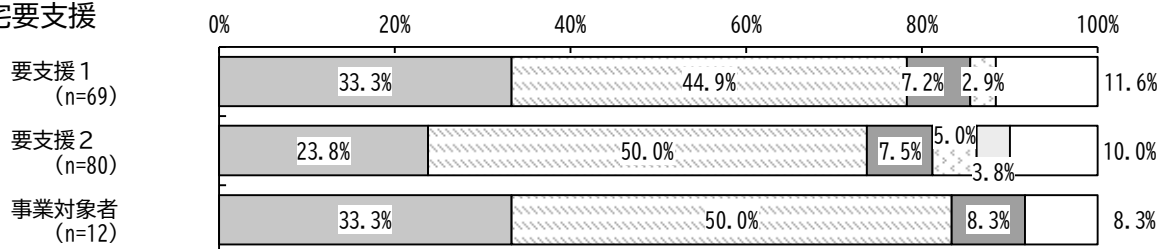
単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「問題はあるが、何とか続けている」の割合が最も高くなっています。

要介護度別でみると、要介護5では「続けていくのは、かなり難しい」が1割を超えています。

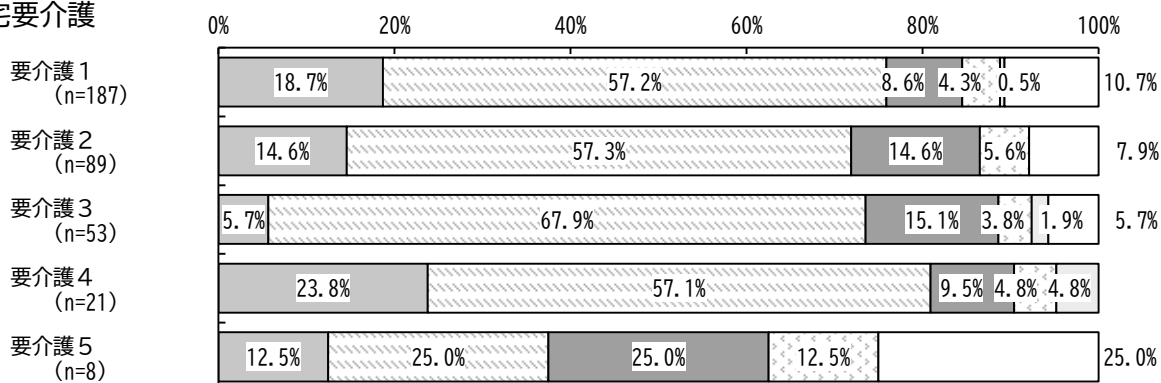


【要介護度別集計】

○在宅要支援



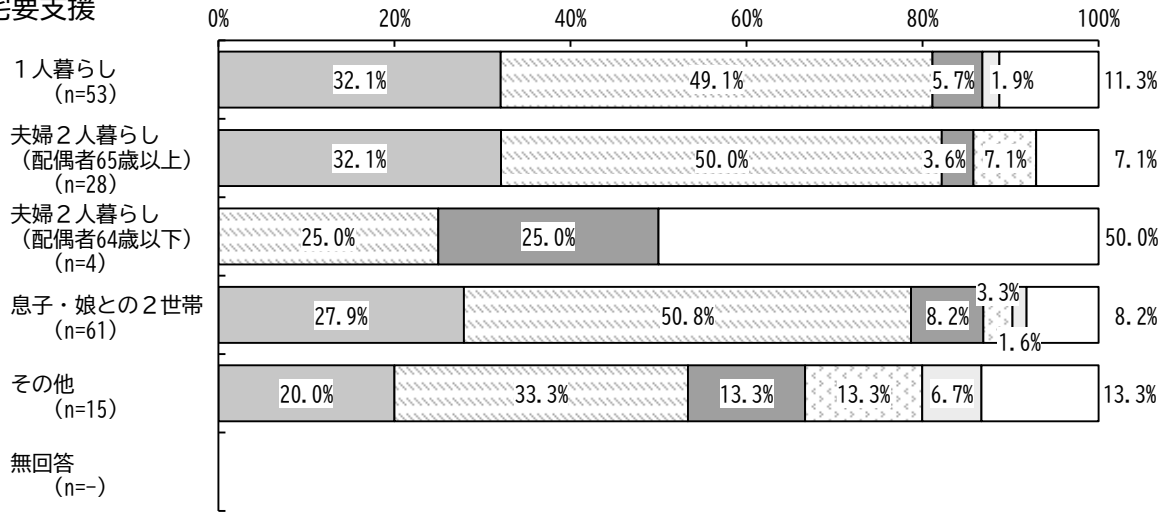
○在宅要介護



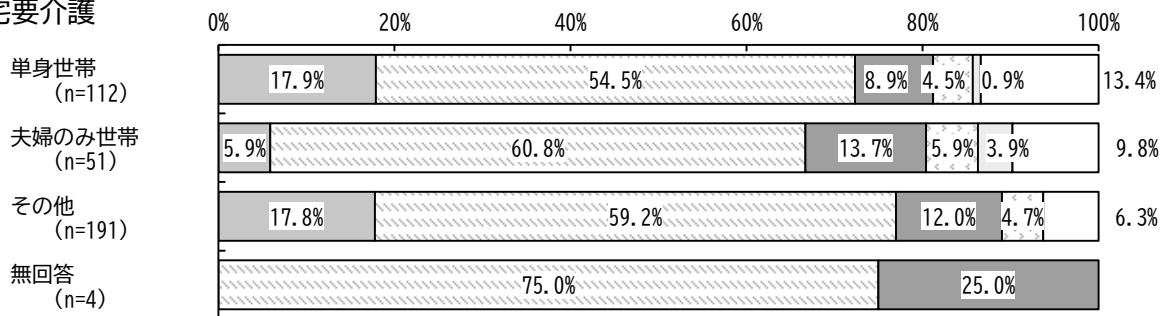


【家族構成別集計】

○在宅要支援



○在宅要介護



介護する上で困っていること

あなたが介護する上で困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

<在宅要支援認定者調査 問73・在宅要介護認定者調査 問29>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
介護の方法や相談先がわからない	17	5.4%	18	2.3%
本人が介護サービスを使いたがらない	46	14.6%	111	14.5%
家族や近隣の方などの理解が足りない	6	1.9%	12	1.6%
心身の負担が大きい	96	30.4%	456	59.5%
経済的な負担が大きい	44	13.9%	215	28.0%
別居のため、介護に出向くのが大変	52	16.5%	87	11.3%
自分の時間が持てない、自分の仕事ができない	61	19.3%	289	37.7%
その他	24	7.6%	49	6.4%
特にない	73	23.1%	107	14.0%
無回答	54	17.1%	46	6.0%
回 答 数	316	-	767	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「心身の負担が大きい」の割合が最も高くなっています。

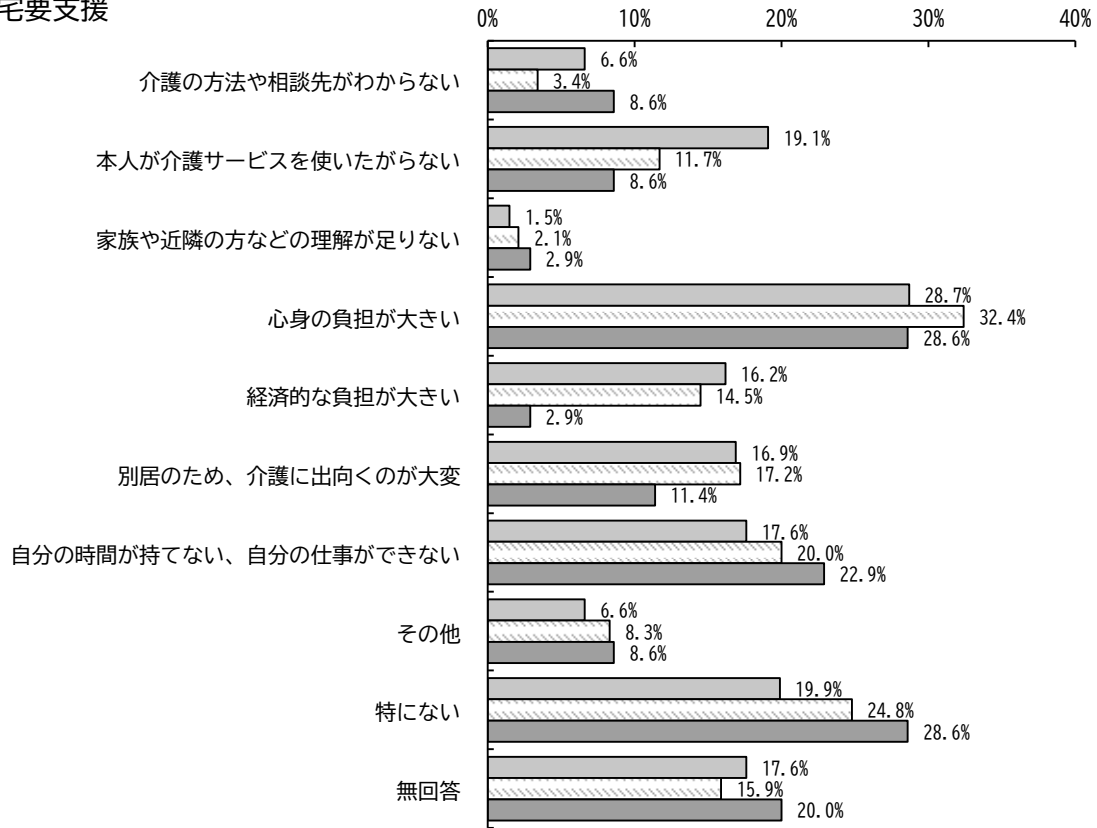
要介護度別でみると、すべての介護度で「心身の負担が大きい」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、1人暮らしでは「別居のため、介護に出向くのが大変」の割合が高くなっています。

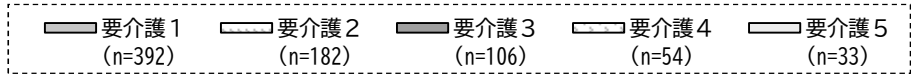
【要介護度別集計】

要支援1 (n=136)      要支援2 (n=145)      事業対象者 (n=35)

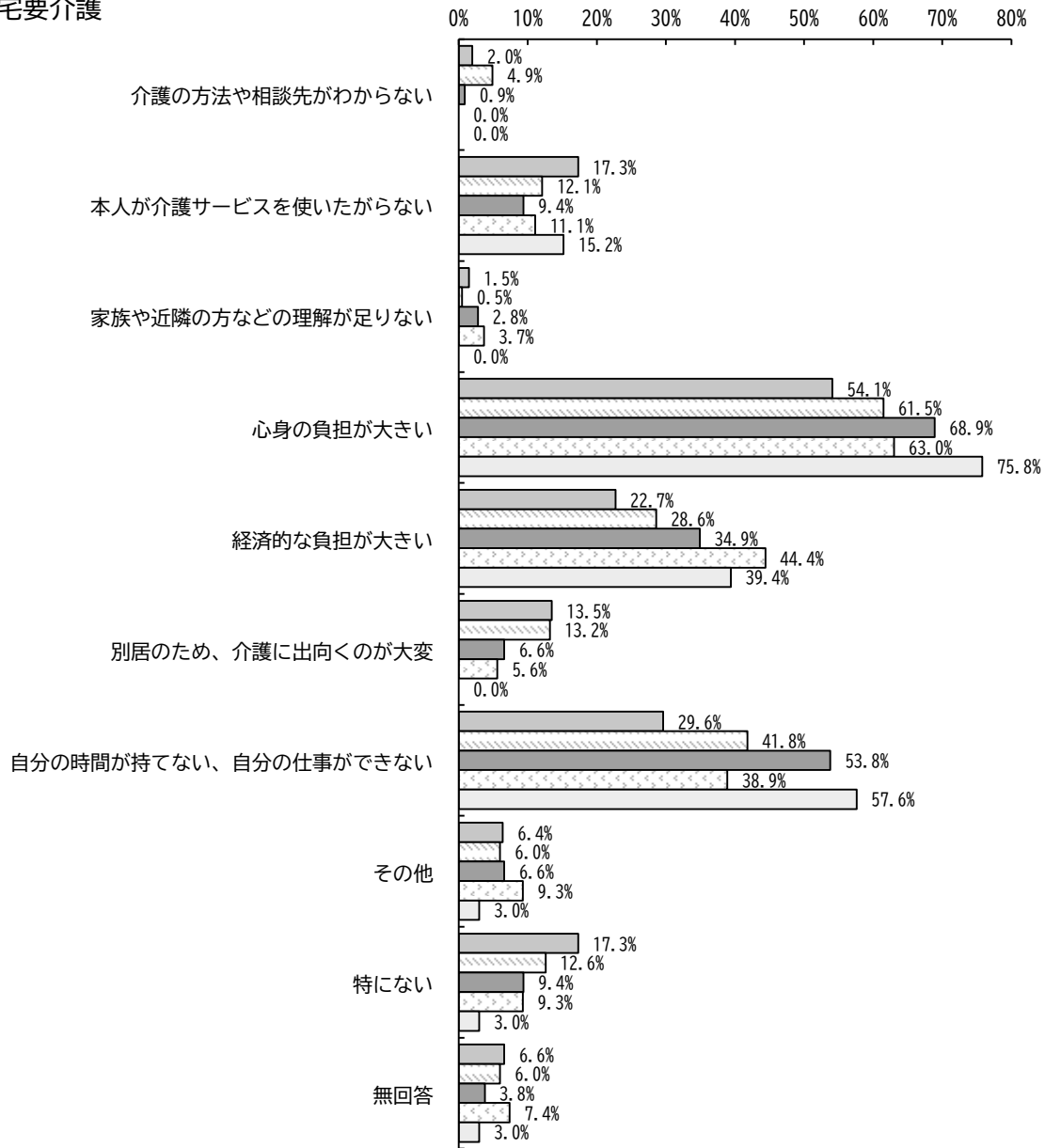
○在宅要支援



【要介護度別集計】

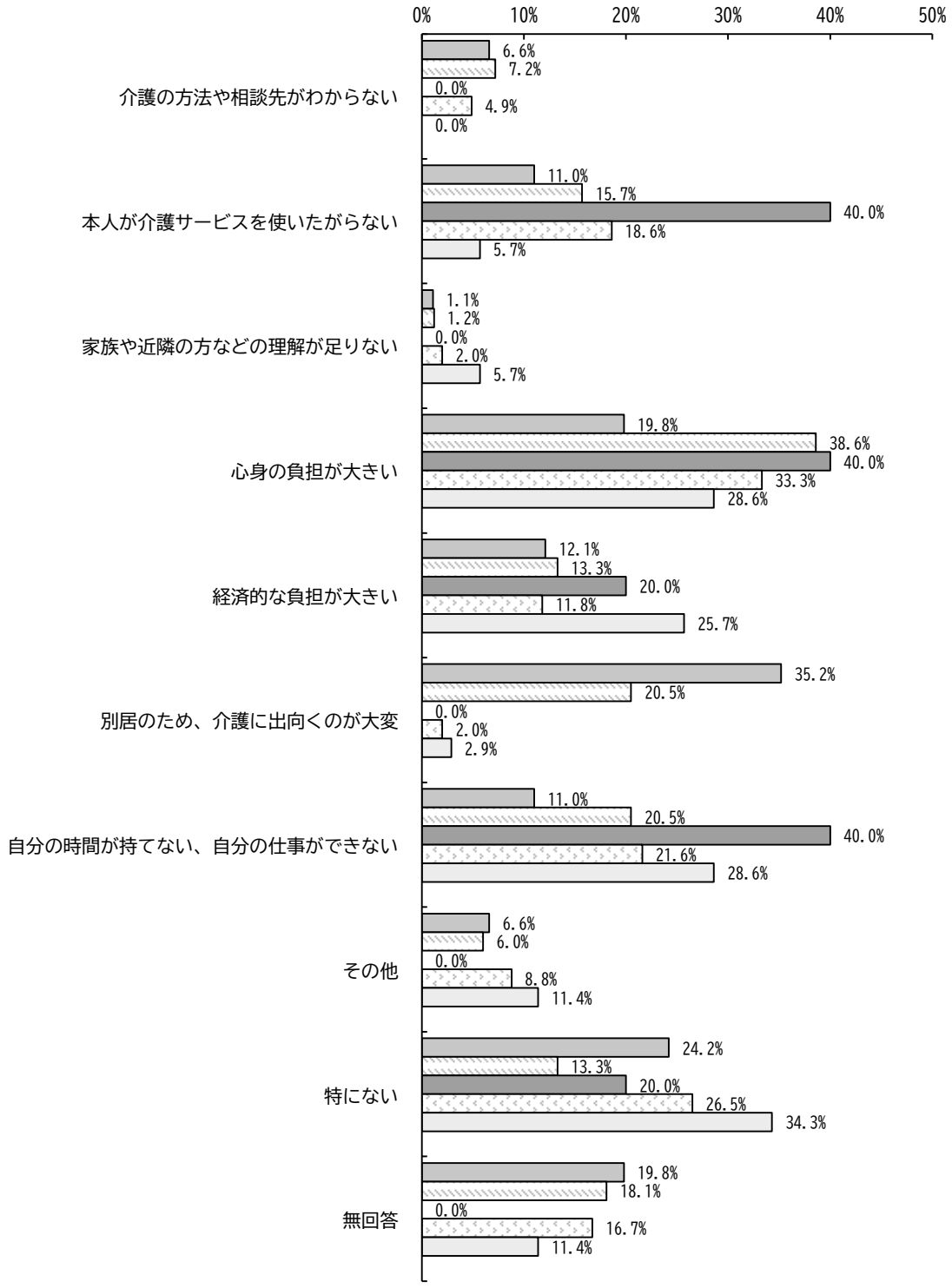
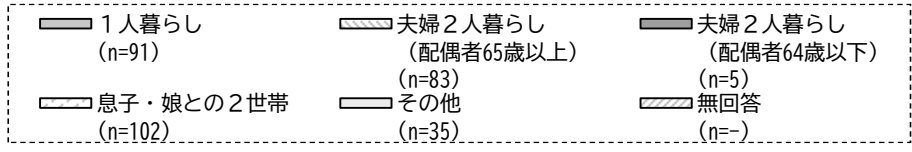


○在宅要介護

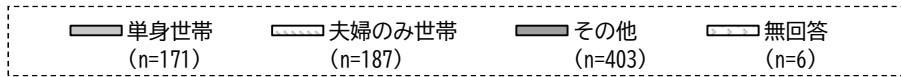


【家族構成別集計】

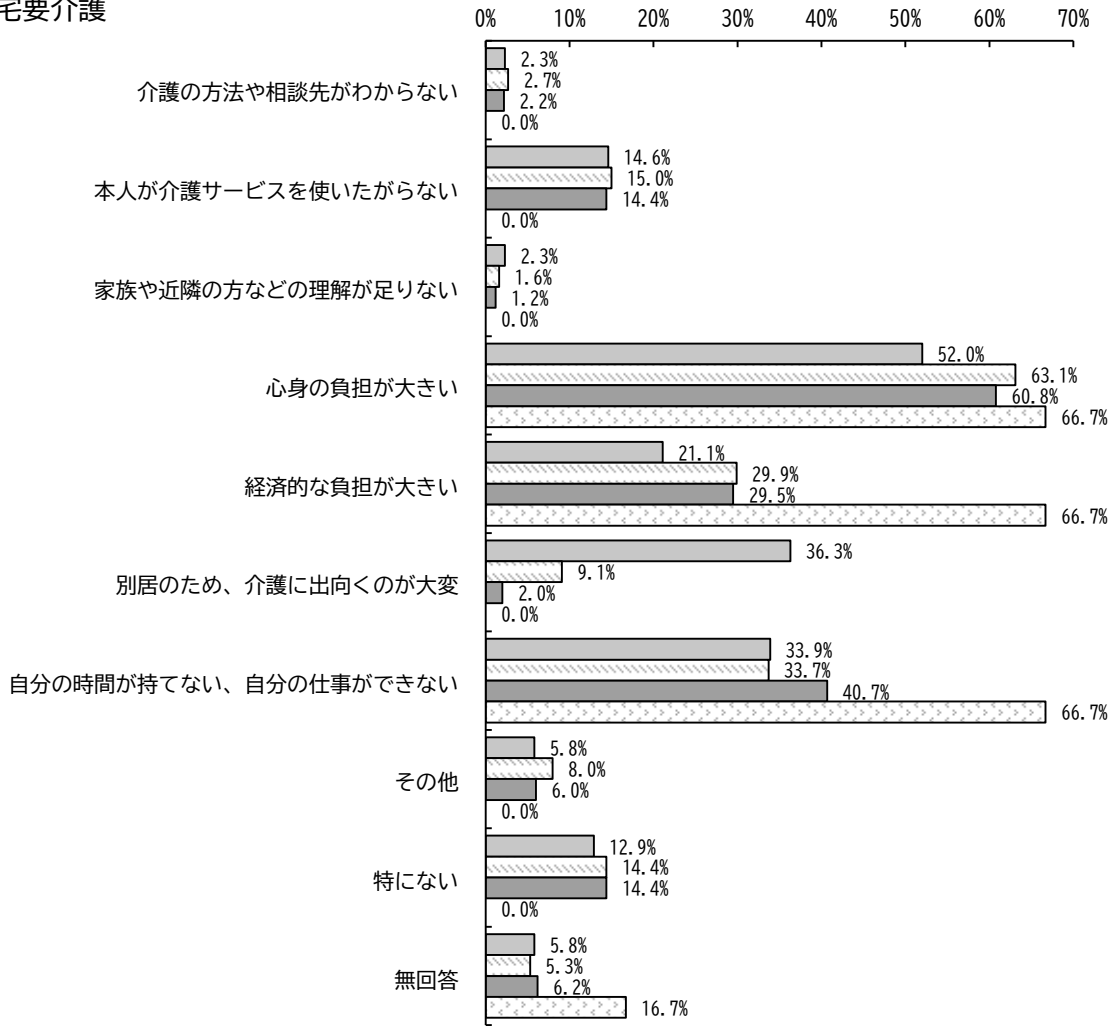
○在宅要支援



【家族構成別集計】



○在宅要介護



主な介護者が不安を感じている介護

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(○は3つまで)

<在宅要支援認定者調査 問74・在宅要介護認定者調査 問30>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
〔身体介護〕 日中の排泄	32	10.1%	111	14.5%
夜間の排泄	60	19.0%	248	32.3%
食事の介助(食べる時)	10	3.2%	49	6.4%
入浴・洗身	79	25.0%	194	25.3%
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	13	4.1%	45	5.9%
衣服の着脱	19	6.0%	80	10.4%
屋内の移乗・移動	29	9.2%	120	15.6%
外出の付き添い、送迎等	122	38.6%	227	29.6%
服薬	34	10.8%	105	13.7%
認知症状への対応	55	17.4%	292	38.1%
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	10	3.2%	44	5.7%
〔生活援助〕 食事の準備(調理等)	70	22.2%	136	17.7%
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	75	23.7%	114	14.9%
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	64	20.3%	122	15.9%
〔その他〕 その他	7	2.2%	18	2.3%
不安を感じていることは、特にない	18	5.7%	28	3.7%
主な介護者に確認しないと、わからない	1	0.3%	1	0.1%
無回答	34	10.8%	28	3.7%
回 答 数	316	-	767	-

単純集計でみると、在宅要支援認定者では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く、次いで「入浴・洗身」となっています。在宅要介護認定者では、「認知症状への対応」の割合が最も高く、次いで「夜間の排泄」となっています。

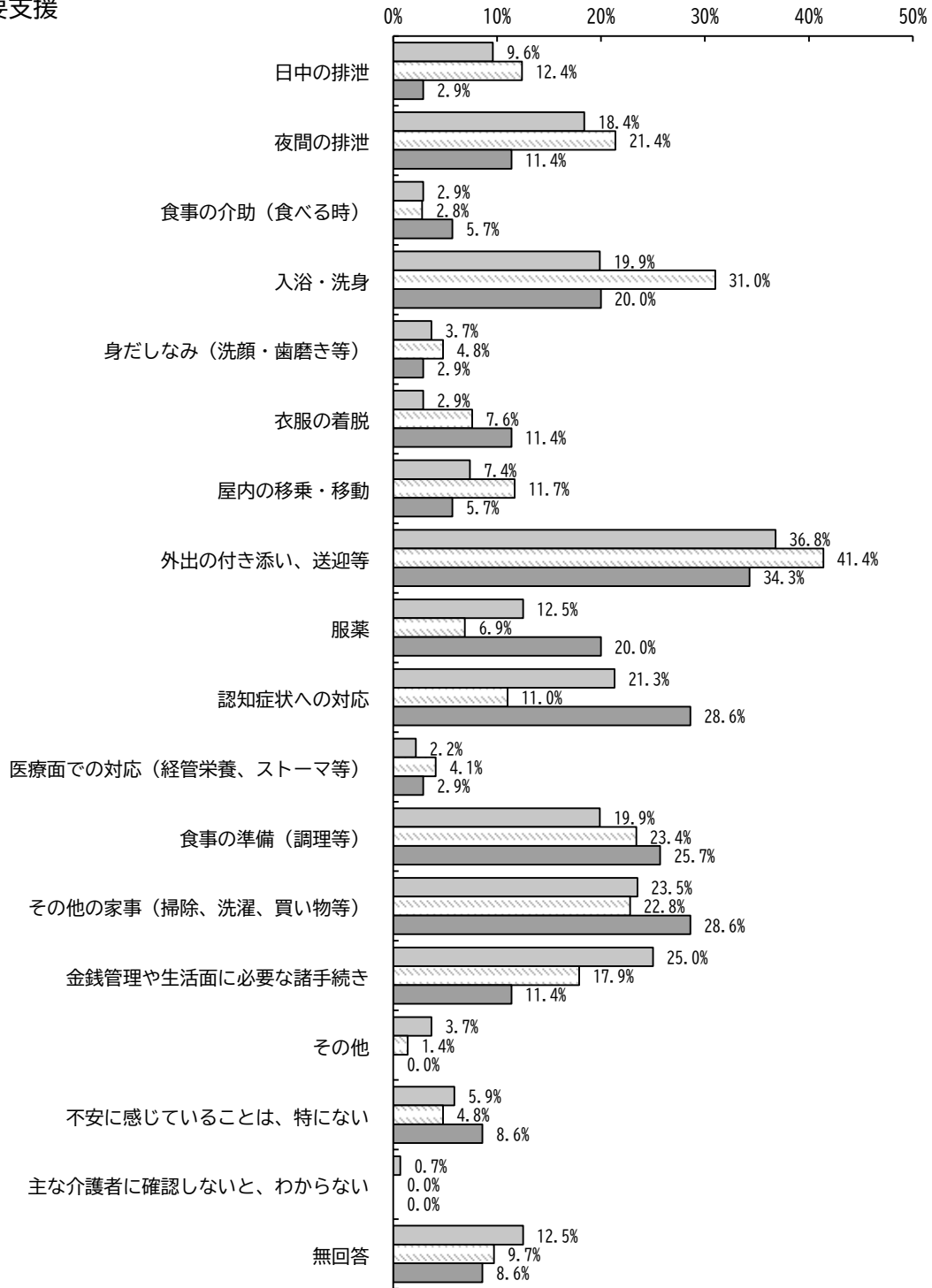
要介護度別でみると、在宅要支援認定者では要支援2の「入浴・洗身」、在宅要介護認定者では要介護4の「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が他に比べて高くなっています。

家族構成別でみると、在宅要支援認定者では、「認知症状への対応」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」で夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)の割合が高くなっています。

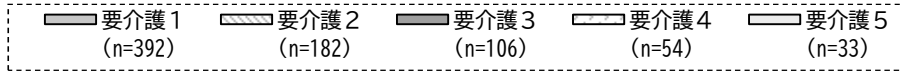
【要介護度別集計】

要支援1 (n=136)      要支援2 (n=145)      事業対象者 (n=35)

○在宅要支援

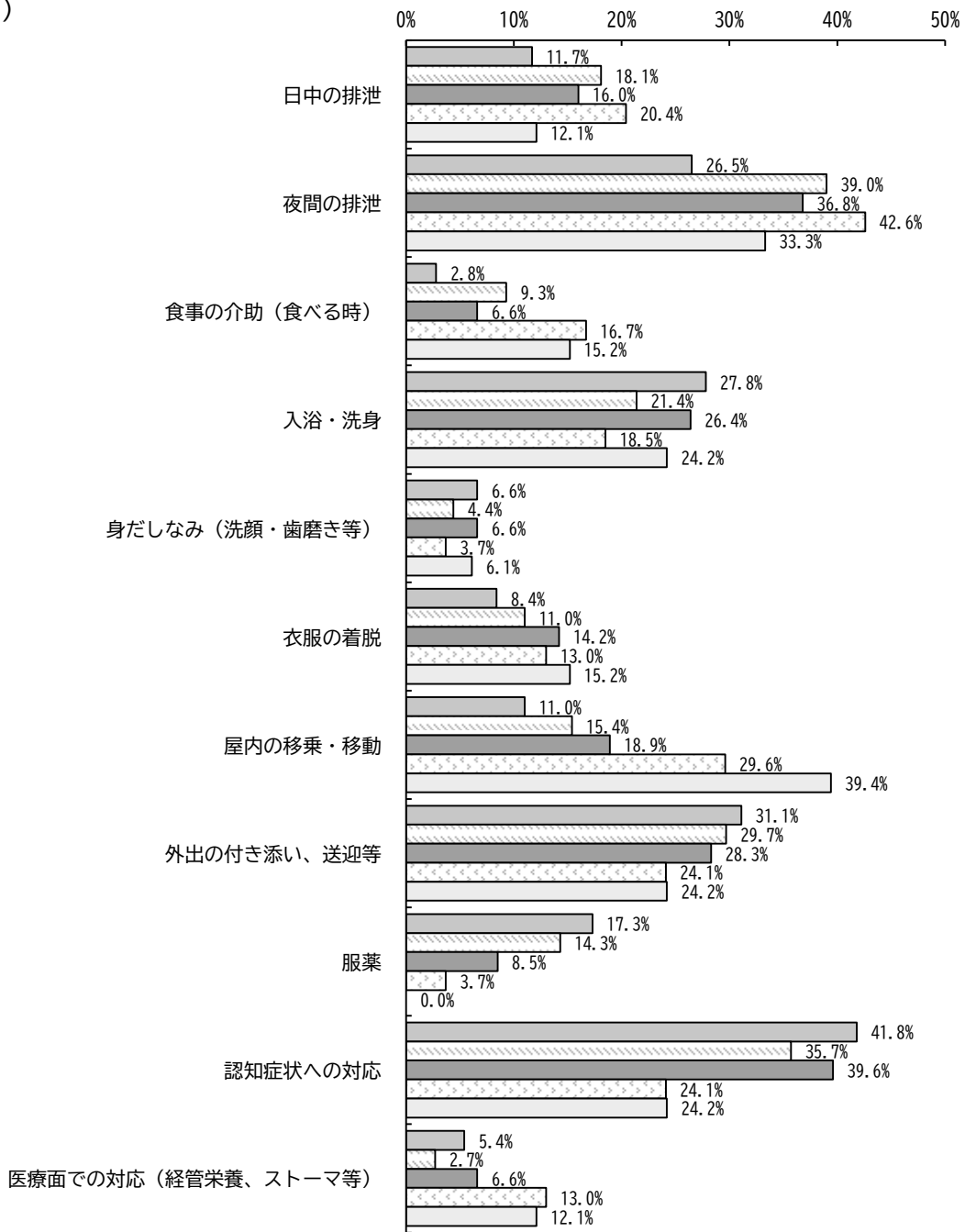


【要介護度別集計】

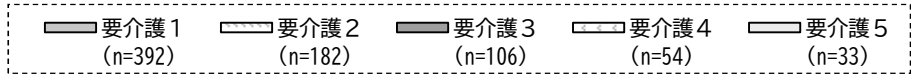


○在宅要介護

(2-1)

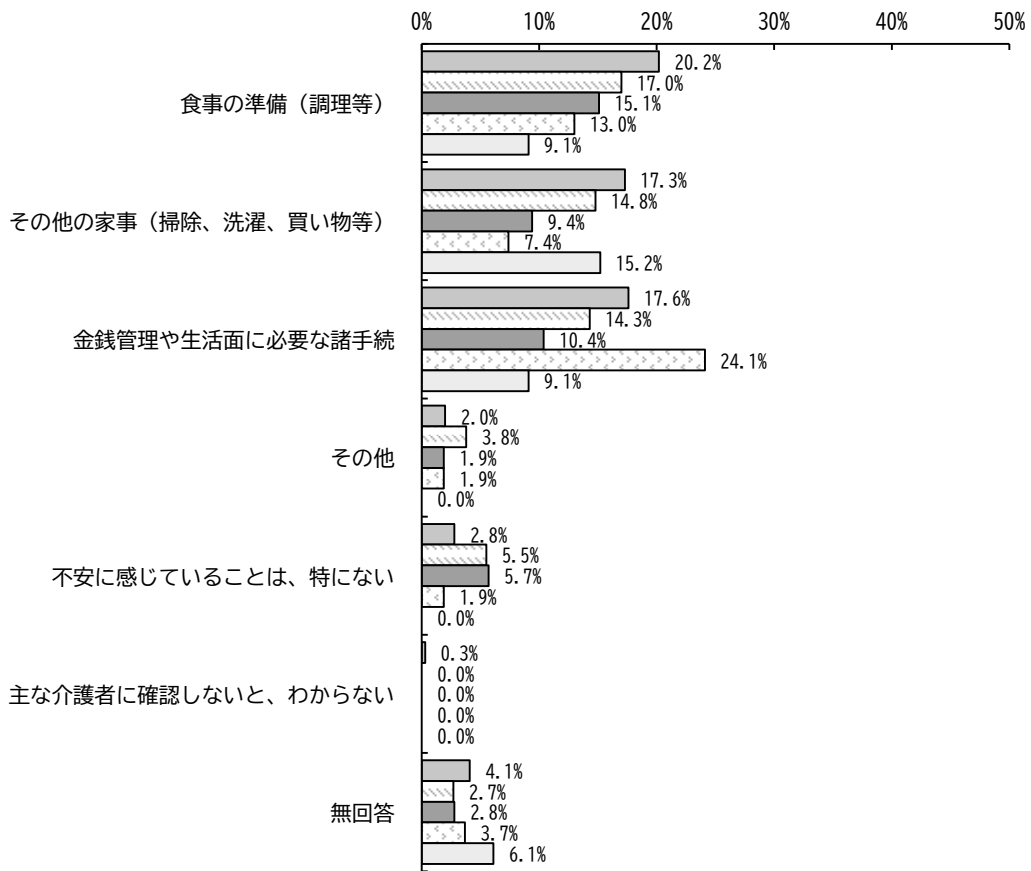


【要介護度別集計】



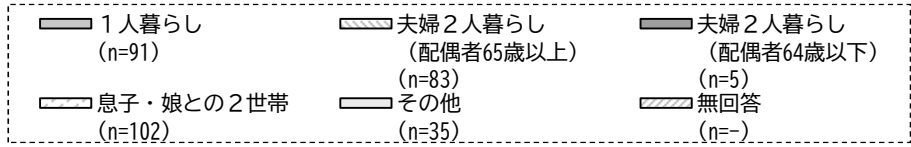
○在宅要介護

(2-2)

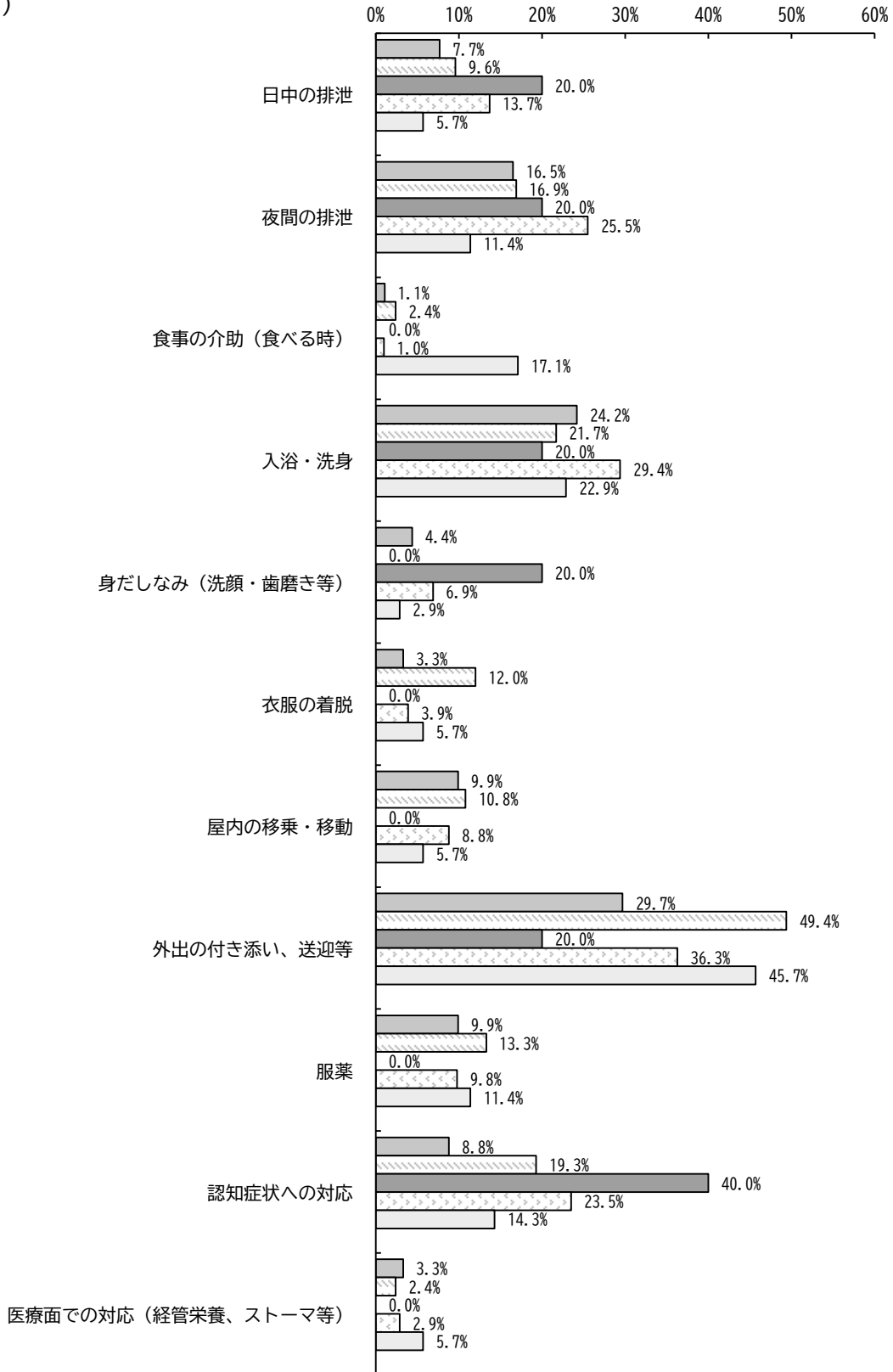


【家族構成別集計】

○在宅要支援

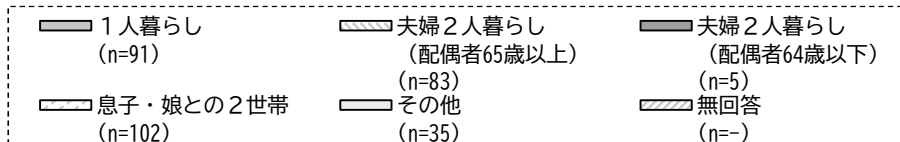


(2-1)

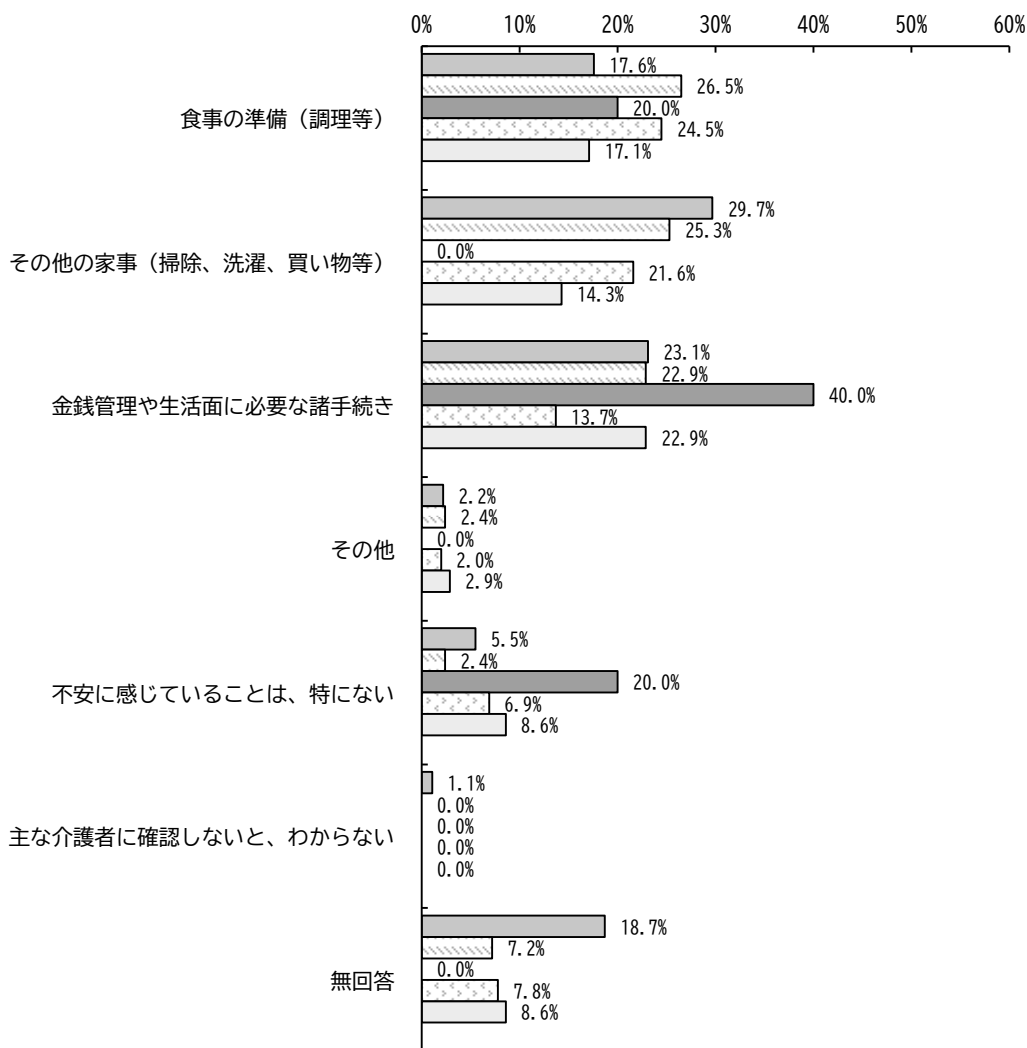


【家族構成別集計】

○在宅要支援



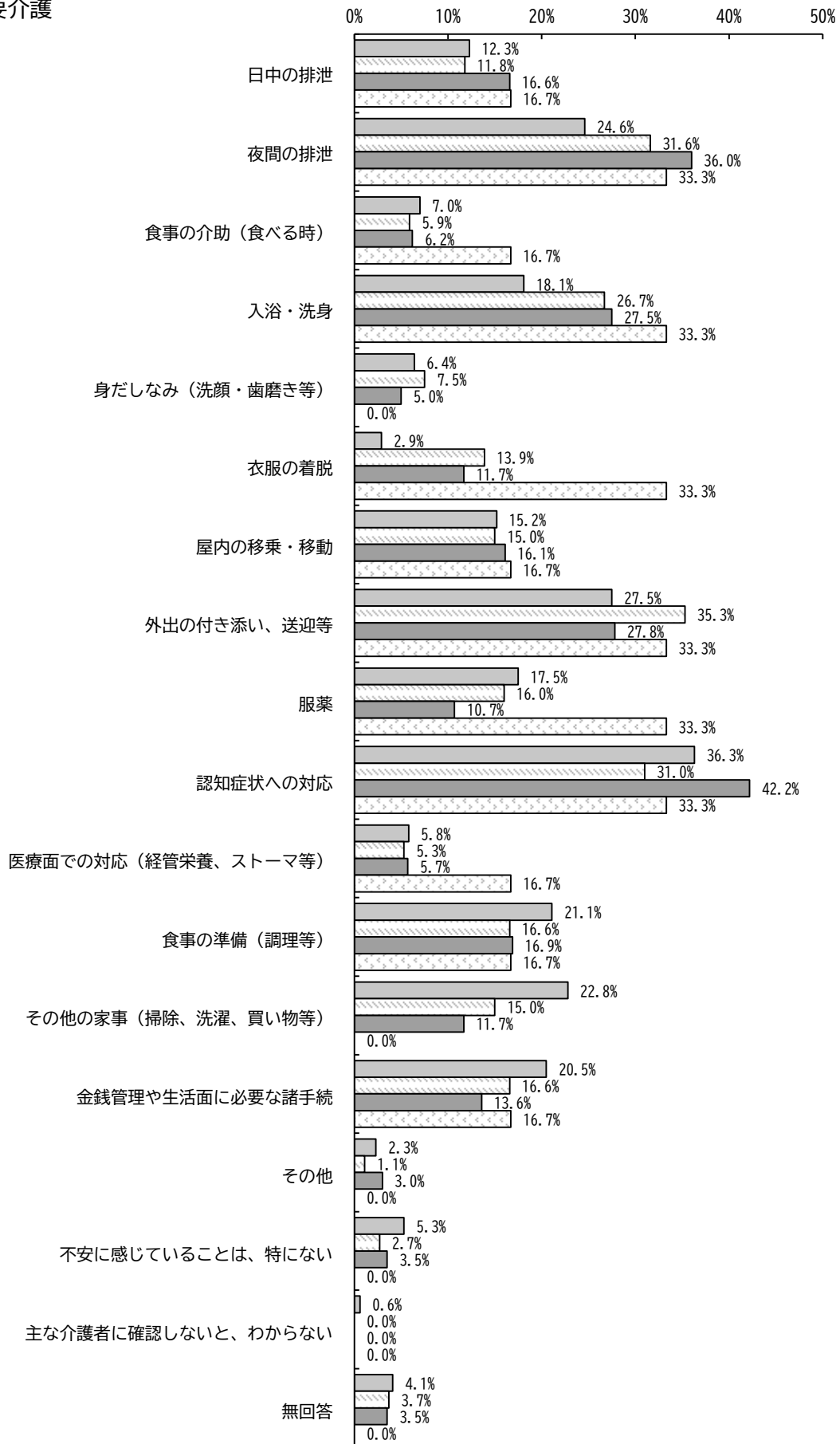
(2-2)



【家族構成別集計】

単身世帯 (n=171)
  夫婦のみ世帯 (n=187)
  その他 (n=403)
  無回答 (n=6)

○在宅要介護



自由意見

高齢者の保健福祉行政についてのご意見をお聞かせください。

<高齢者一般調査 自由意見欄>

内容（意見・要望など）		件数	割合
高齢者福祉に関すること	高齢者が安心して生活できる施策の充実など	5	0.4%
	支援が必要な方に対する福祉施策の充実など	6	0.4%
	ひとり暮らし高齢者等の見守り支援施策の充実、緊急時のサポート体制など	5	0.4%
	生きがいづくり・居場所づくり施策の充実など	9	0.6%
	要介護者を抱える家族への援助・支援	3	0.2%
	健康づくり・介護予防施策の充実、認知症予防施策の充実など	9	0.6%
	高齢者の就労、社会資源としての高齢者の活用、支え手としての活躍など	2	0.1%
	家族・地域での支え合い、自立・自助のあり方など	8	0.6%
	高齢者向けバス・タクシー等交付事業の制度化など	5	0.4%
	終活に関すること	4	0.3%
医療・介護に関すること	医療・介護の連携体制の構築、病院に関するご意見など	1	0.1%
	介護人材の充実、介護施設への適正な指導監督など	3	0.2%
	介護保険サービスの充実、介護保険料の抑制とサービス充実の両立など	6	0.4%
	介護保険料の軽減、利用状況に応じた負担とするべきなど	9	0.6%
	施設の整備、入所費用の軽減など	10	0.7%
年金・健康保険に関すること	年金受給額が少ない、生活費について	19	1.4%
行政全般に関すること	公共交通機関の充実、免許返納者への対策など	17	1.2%
	公共施設の改修・充実、道路の整備など	3	0.2%
	施策のPR、周知不足など情報発信に関すること	13	0.9%
	相談したい、窓口を知りたい、充実してほしいなど	7	0.5%
アンケートに関すること	アンケート結果の報告・説明・活用について	9	0.6%
	内容が難解、アンケートについてのご意見	3	0.2%
その他	感謝（今後の参考としたい、助かっているなど）	13	0.9%
	不満（ニーズの把握不足、施策が不公平、対応が不親切など）	3	0.2%
	自身の生活の様子、今後のこと（心配、不安、悩み）など	38	2.7%
	その他の意見	28	2.0%
合計		238	-

※割合（％）は、有効回収数1,405件に対する率

自由意見

介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

<在宅要支援認定者調査 自由意見欄>

内容（意見・要望など）		在宅要支援	
		件数	割合
介護保険制度に関するもの	介護保険制度は必要、現状のサービスに満足している	11	0.9%
	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化、今後の費用負担に対する不安	15	1.2%
	制度が複雑で難解、介護保険制度に関する情報発信が不足、不十分、要介護認定に関する意見など	19	1.5%
	保険料負担の軽減、保険料負担のあり方など	14	1.1%
施設入所に関するもの	入所費用が不安、待機者を無くして欲しい、入所条件が厳しいなど	6	0.5%
日ごろの介護に関するもの	家族介護者の負担軽減、仕事と介護の両立が困難、など	5	0.4%
	老々介護で今後が不安、今は自活できているが今後が不安、介護サービス利用に対する考え方など	4	0.3%
	介護職員やケアマネジャーに対する感謝、待遇の改善	19	1.5%
	事業所・職員について	11	0.9%
アンケート調査に関するもの	内容が難解、アンケートについてのご意見	10	0.8%
その他	生活の様子、日々の心がけ、健康状態の不安など	42	3.3%
	認知症関連	4	0.3%
	交通・免許返納・移動手手段等	14	1.1%
	1人暮らし、孤独	2	0.2%
	その他の意見	28	2.2%
合計		204	-

※割合（%）は、有効回収数1,257件に対する率

自由意見

介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

<在宅要介護認定者調査 自由意見欄>

内容（意見・要望など）		在宅要介護	
		件数	割合
介護保険制度に関するもの	介護保険制度は必要、現状のサービスに満足している	20	1.8%
	サービスの充実、サービス利用手続きの簡素化、今後の費用負担に対する不安	29	2.6%
	制度が複雑で難解、介護保険制度に関する情報発信が不足、不十分、要介護認定に関する意見など	31	2.8%
	保険料負担の軽減、保険料負担のあり方など	14	1.2%
施設入所に関するもの	入所費用が不安、待機者を無くして欲しい、入所条件が厳しいなど	8	0.7%
日ごろの介護に関するもの	家族介護者の負担軽減、仕事と介護の両立が困難、など	8	0.7%
	老々介護で今後が不安、今は自活できているが今後が不安、介護サービス利用に対する考え方など	8	0.7%
	介護職員やケアマネジャーに対する感謝、待遇の改善	17	1.5%
	事業所・職員について	8	0.7%
アンケート調査に関するもの	内容が難解、アンケートについてのご意見	7	0.6%
その他	生活の様子、日々の心がけ、健康状態の不安など	24	2.1%
	認知症関連	7	0.6%
	交通・免許返納・移動手手段等	7	0.6%
	その他の意見	19	1.7%
合計		207	-

※割合（％）は、有効回収数1,122件に対する率

# 調査結果

## V 認知症の人とその家族の思い調査



**認知症のタイプ**

あなた（認知症本人）についておたずねします

(5) 認知症のタイプ

<認知症の人とその家族の思い調査 問1 ⑤>

**【単純集計】**

	件数	割合
アルツハイマー型認知症	153	58.2%
脳血管性認知症	13	4.9%
レビー小体型認知症	26	9.9%
前頭側頭型認知症・ピック病	3	1.1%
混合型認知症	2	0.8%
その他の認知症	7	2.7%
認知症と言われたが確定診断は受けていない（原因疾患がわからないことも含む）	34	12.9%
わからない	25	9.5%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

認知症のタイプは「アルツハイマー型認知症」が58.2%と最も高く、次いで「認知症と言われたが確定診断は受けていない（原因疾患がわからないことも含む）」が12.9%、「レビー小体型認知症」が9.9%などとなっています。

**診断を受けてからの期間**

あなた（認知症本人）についておたずねします

（6）診断を受けてからの期間

<認知症の人とその家族の思い調査 問1 ⑥>

**【単純集計】**

	件数	割合
1年未満	33	12.5%
1～2年	66	25.1%
3～4年	66	25.1%
5～6年	24	9.1%
7～8年	14	5.3%
9～10年	5	1.9%
11年以上	13	4.9%
わからない	42	16.0%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

診断を受けてからの期間は「1～2年」と「3～4年」が25.1%と最も高く、次いで「わからない」が16.0%、「1年未満」が12.5%などとなっています。

**認知症と診断を受けた時の気持ち**

「認知症」と診断を受けた時のあなた（認知症本人）の気持ちを教えてください（1つ）  
 <認知症の人とその家族の思い調査 問2 >

**【単純集計】**

	件数	割合
他の病と変わらない受け止め方だった	24	9.1%
認知症ということで不安や抵抗、ショックを感じた	49	18.6%
診断がハッキリしたことで安心した	5	1.9%
よく覚えていない	84	31.9%
その他	101	38.4%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

認知症と診断を受けた時の気持ちは「よく覚えていない」が31.9%と最も高く、次いで「認知症ということで不安や抵抗、ショックを感じた」が18.6%、「他の病と変わらない受け止め方だった」が9.1%などとなっています。

**認知症と診断を受けた時の気持ちの理由や状況（抜粋）**

上記の理由、状況を教えてください（自由）  
 <認知症の人とその家族の思い調査 問2 - 1 >

他の病と変わらない受け止め方だった

- ・よく知っている医師から「物忘れがでてきている、認知症になっている」と言われたが、物忘れの自覚はあったので深刻に考える事はなかった。
- ・高齢になれば多少の物忘れは自然な事だと思っているから。

認知症ということで不安や抵抗、ショックを感じた

- ・忘れることが増えたが自分がまさかそんな病気になるとは思わなくてショックだった。
- ・この先どうになってしまうのか、病気が進行するのが心配になった。

診断がハッキリしたことで安心した

- ・ショックはなかった。忘れっぽくなったことに不安を感じていたため、診断を受けたことで原因が分かり少しほっとした。
- ・主治医から認知症と言われたことで、向き合っていこうという気持ちになった。

よく覚えていない

- ・詳細は全く覚えていない。認知症という言葉だけ覚えている。
- ・忘れてしまった。

その他

- ・重症になってからの受診であり理解できていない。

**認知症の理解の実感**

周りの人は、あなた（認知症本人）の気持ちや状態を理解していると思いますか（1つ）

<認知症の人とその家族の思い調査 問3 >

**【単純集計】**

	件数	割合
とてもよく理解していると思う	78	29.7%
まあまあ理解していると思う	101	38.4%
あまり理解していないと思う	38	14.4%
ほとんど理解していないと思う	10	3.8%
わからない	33	12.5%
その他	3	1.1%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

認知症の理解の実感は「まあまあ理解していると思う」が38.4%と最も高く、次いで「とてもよく理解していると思う」が29.7%、「あまり理解していないと思う」が14.4%などとなっています。

**認知症の理解の実感の理由やエピソード（抜粋）**

上記の理由やエピソードを教えてください（自由）

<認知症の人とその家族の思い調査 問3 - 1 >

とてもよく理解していると思う

- ・自分のできることを考えてくれてやれるようにしてくれたり、わからないことはやってくれたりしている。
- ・やりたいことなどわかってきている。

まあまあ理解していると思う

- ・夫と息子の協力があるので助かっている。
- ・毎日、施設の人が声を掛けてくれるので不安はない。

あまり理解していないと思う

- ・会話が成り立たず、抗論になる事が多い。
- ・忘れてしまうことが増え、夫や息子から注意をされ辛いと思うことがある。

ほとんど理解していないと思う

- ・話が合わない。わかってもらえない。
- ・物盗られ妄想の症状がある。

わからない

- ・普通に喋れないので、理解してもらえないかわからない。
- ・周りの方がどう思っているか自分はわからない。

**普段の生活の中で自分の意思を伝えているか**

普段の生活で、あなた（認知症本人）の意思（やりたいこと、できること、してほしいこと、してほしくないこと）を、周りの人に、伝えたいときに伝えていますか（1つ）

<認知症の人とその家族の思い調査 問4 >

**【単純集計】**

	件数	割合
よく伝えている	110	41.8%
ときどき伝えている	67	25.5%
あまり伝えていない	58	22.1%
伝えることができない	9	3.4%
わからない	16	6.1%
その他	3	1.1%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

普段の生活の中で自分の意思を伝えているかは「よく伝えている」が41.8%と最も高く、次いで「ときどき伝えている」が25.5%、「あまり伝えていない」が22.1%などとなっています。

**普段の生活の中で自分の意思を伝えているかの理由やエピソード（抜粋）**

上記の理由やエピソードを教えてください（自由）

<認知症の人とその家族の思い調査 問4 - 1 >

よく伝えている

- ・気は遣うが言いたいことは言っている。
- ・家族が本人に聞くようにしている。
- ・近くに施設の方がいるので、伝えやすい。

ときどき伝えている

- ・伝えているつもりだが、遠慮してしまう。
- ・おやつ「いらぬ」「食べる」など限定的ではあるが伝えられる。

あまり伝えていない

- ・世話になっている身のため。自分を看ていてくれるだけで満足。
- ・やりたいことの程度による。個人的なことまで言う必要はないと考える。

伝えることができない

- ・施設の人の指導に従って生活しているのみ。
- ・やりたいことも特になぬ。

わからない

- ・ここでの生活は決められた流れの中で生活してて、伝える必要はない。

**暮らしの中で大切にしていること**

暮らしの中で、あなた（認知症本人）が大切にしていることは何ですか（複数）

<認知症の人とその家族の思い調査 問5 >

**【単純集計】**

	件数	割合
家族や人とのつながり	114	43.3%
できることは自分でやる	133	50.6%
趣味や楽しみを持つ	69	26.2%
静かに穏やかに過ごす	74	28.1%
誰かの役に立ちたい	41	15.6%
自分の気持ちをわかってほしい	30	11.4%
わからない	11	4.2%
その他	32	12.2%
無回答	0	0.0%
回 答 数	263	-

暮らしの中で大切にしていることは「できることは自分でやる」が50.6%と最も高く、次いで「家族や人とのつながり」が43.3%、「静かに穏やかに過ごす」が28.1%などとなっています。

**暮らしの中で大切にしていることの原因やエピソード（抜粋）**

上記の原因やエピソードを教えてください（自由）

<認知症の人とその家族の思い調査 問5 - 1 >

家族や人とのつながり

- ・ 本人と同居家族・別居家族で支えあうようにしている。
- ・ 施設の人や一緒に暮らす入居者と、和気あいあいと暮らしている。
- ・ 町内シニアクラブなど馴染みの活動は続けるように努力されている。
- ・ 孫が時々食事に連れて行ってくれるのがとても嬉しくて、それが生きがいになっている。

できることは自分でやる

- ・ 洗濯や毎朝味噌汁とごはんをつくることをしている。
- ・ 食事や入浴などできることはなるべく自分で行っている。
- ・ 家族は大事。掃除や草取りなど、できることはやりたいと思っている。
- ・ 昔からやっていた家事全般をこれからもやっていきたい。

### 趣味や楽しみを持つ

- ・みんなと音楽をしたり、塗り絵やお手伝いをすることで、気持ちが安定して、別のことを考えられるようになる。みんなとやるという一体感。
- ・毎日化粧をすること、スキンケアを怠らない事が本人の中で楽しみになっている。
- ・本を読むことが楽しみ。
- ・楽しく過ごせるように、家族も気にかけてくれている。

### 静かに穏やかに過ごす

- ・自宅での日常生活で、本人の思いや意見だけではなく、家族のアドバイスも取り入れて怒る事なく過ごしている。
- ・人の悪口は言わない。
- ・施設の人と一緒に入居している人も皆がやさしい。周りがお互いに気を遣っている。
- ・体の事もあるし、大事に無理せず過ごせねばならない。

### 誰かの役に立ちたい

- ・食事の取り分けや洗濯物たたみなど積極的に行う。他にも何かやる事がないかと聞いてきたりもする。
- ・誰かの役に立っている実感が湧きにくいいため、自分のなすべきことは何か考えている。
- ・今までいろんな人にお世話になってきたので、その恩を返すために働きたい。でも、自分が今は面倒を見てもらわなければいけないということも分かっている。
- ・グループホームではどの入居者も役割を持って生活している。

### 自分の気持ちをわかってほしい

- ・若い方へ自分から言うことは少ない。
- ・意味不明ではあるが訴えは多い。

### わからない

- ・質問の意味が分らなかった様子だった。

**地域や暮らしの中でのコミュニティ**

あなた（認知症本人）には、地域や暮らしの中に、顔見知りの人や話せる人はいますか（1つ）  
 <認知症の人とその家族の思い調査 問6 >

**【単純集計】**

	件数	割合
よく会って話をする人がいる	110	41.8%
あいさつする程度のつきあいがある人がいる	92	35.0%
あまり関わりはない	50	19.0%
わからない	5	1.9%
その他	6	2.3%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

地域や暮らしの中でのコミュニティは「よく会って話をする人がいる」が41.8%と最も高く、次いで「あいさつする程度のつきあいがある人がいる」が35.0%、「あまり関わりはない」が19.0%などとなっています。

**困ったときの相談先**

あなた（認知症本人）には、困ったときに相談できる人はいますか（複数）  
 <認知症の人とその家族の思い調査 問7 >

**【単純集計】**

	件数	割合
家族	182	69.2%
友人・知人	33	12.5%
地域、隣近所の人	14	5.3%
地域包括支援センター	10	3.8%
ケアマネジャー、医療・介護の支援者	106	40.3%
いない	14	5.3%
その他	30	11.4%
無回答	0	0.0%
回 答 数	263	-

困ったときの相談先は「家族」が69.2%と最も高く、次いで「ケアマネジャー、医療・介護の支援者」が40.3%、「友人・知人」が12.5%などとなっています。

### 希望に沿った医療・介護サービス

いま受けている医療・介護サービス（デイサービス、ヘルパー、訪問診療・訪問看護・訪問薬局、かかりつけ医の診察、ケアマネジャーの支援、介護施設など）は、あなた（認知症本人）の思いや希望に合っていると思いますか（1つ）

<認知症の人とその家族の思い調査 問8 >

#### 【単純集計】

	件数	割合
とても合っている（思いや希望をわかっている）	108	41.1%
だいたい合っている	103	39.2%
あまり合っていない（ちがうと思うことがある）	15	5.7%
まったく合っていない	1	0.4%
わからない	24	9.1%
サービスは受けていない	5	1.9%
その他	7	2.7%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

希望に沿った医療・介護サービスは「とても合っている（思いや希望をわかっている）」が41.1%と最も高く、次いで「だいたい合っている」が39.2%、「わからない」が9.1%などとなっています。

### いま受けている支援について思っていること

いま受けている支援について、あなた（認知症本人）が思っていることがあれば教えてください（自由）

<認知症の人とその家族の思い調査 問8 - 1 >

#### とても合っている（思いや希望をわかっている）

- ・ケアマネジャーがとても親身になってくれて、いろいろ相談できる。
- ・好きなことが出来る環境。

#### だいたい合っている

- ・デイケアに通っているが、特に不満はない。「こうしてほしい」という希望もない。可もなく不可もなく。
- ・安心して生活できている。

#### あまり合っていない（ちがうと思うことがある）

- ・デイサービスには行かなくても良いと思っている。
- ・グループホームに入居して間もないが、自分の思っていたところではなかった。別の所に移りたい。

#### まったく合っていない

- ・この施設に入居する時、「これから、共同生活になる。自分の思いとおりになることばかりではない。わがままを言うてはいけない。」と娘に言われている。

#### わからない

- ・今受けているサービスについての理解が乏しい。

**安心して暮らすために必要だと感じること**

安心して暮らすために、あなた（認知症本人）が必要だと感じることは何ですか（複数）

<認知症の人とその家族の思い調査 問9>

**【単純集計】**

	件数	割合
家族や身近な人、地域の支え	150	57.0%
当事者同士が話せる場所	38	14.4%
必要なときに相談できること（認知症に備えること）	52	19.8%
無理せず暮らせる環境（心身のゆとり）	92	35.0%
自分の意思（やりたいこと、できること）を尊重してもらえること	88	33.5%
趣味や地域の活動に参加	48	18.3%
医療・介護の支援	69	26.2%
その他	37	14.1%
無回答	0	0.0%
回 答 数	263	-

安心して暮らすために必要だと感じることは「家族や身近な人、地域の支え」が57.0%と最も高く、次いで「無理せず暮らせる環境（心身のゆとり）」が35.0%、「自分の意思（やりたいこと、できること）を尊重してもらえること」が33.5%などとなっています。

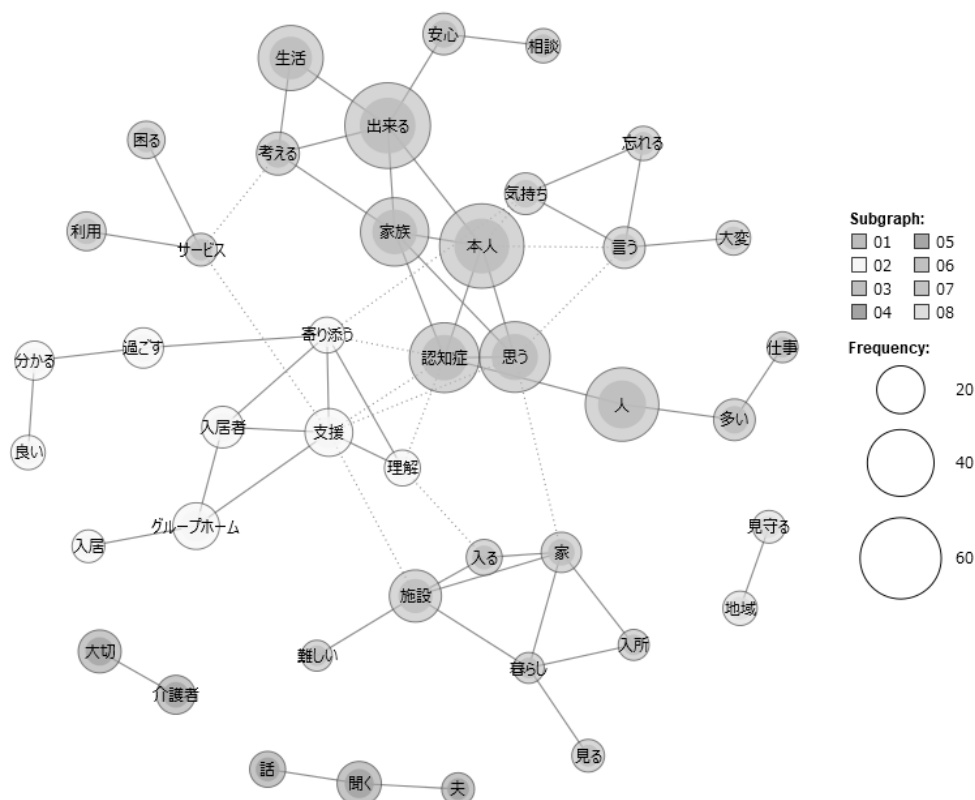
安心して暮らすために「ご家族等の介護者」として感じていること

安心して暮らすために、「ご家族等の介護者」として感じていることがあれば教えてください  
(自由)

<認知症の人とその家族の思い調査 問9 - 1>

KH-coder (ver3.02c) を使用してテキストマイニングを行いました。

共起ネットワークは以下のとおりです。強く結びついた単語が色ごとにグループ化されており、線の太さは単語の結びつきの強さを示しています。また、円が大きければ大きいほど、出現回数が多いことを示しています。



頻出語は以下のとおりです。

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
出来る	67	気持ち	15	続ける	10
本人	65	言う	15	対応	10
人	49	多い	15	大変	10
思う	45	入居者	15	地域	10
認知症	44	家	14	必要	10
家族	42	過ごす	14	忘れる	10
生活	38	介護者	13	良い	10
施設	24	分かる	13	サービス	9
自分	24	暮らす	13	気	9
介護	23	利用	13	見る	9
支援	20	困る	12	見守る	9
グループホーム	19	寄り添う	11	入居	9
今	17	入る	11	夫	9
聞く	17	理解	11	仕事	8
考える	16	話	11	自宅	8
大切	16	感じる	10	難しい	8
安心して	15	相談	10	入所	8
				暮らし	8

**所属事業所**

所属事業所について教えてください（1つ）

< 認知症の人とその家族の思い調査 ① >

**【単純集計】**

	件数	割合
地域包括支援センター	32	12.2%
居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	100	38.0%
認知症対応型通所介護事業所	4	1.5%
認知症対応型共同生活介護事業所	17	6.5%
上記以外の介護サービス提供事業所	7	2.7%
行政職員	102	38.8%
その他	1	0.4%
無回答	0	0.0%
合 計	263	100.0%

所属事業所は「行政職員」が38.8%と最も高く、次いで「居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）」が38.0%、「地域包括支援センター」が12.2%などとなっています。

# 調査結果

## VI 認知症に関する意識調査



**職業**

この調査に回答して下さるあなたご自身についておたずねします

(4) 職業

<認知症に関する意識調査 問1 ④>

【単純集計】

	件数	割合
個人事業主・会社経営者（役員）	33	6.1%
家族従業（家事手伝い）	4	0.7%
勤め（全日）	310	57.0%
勤め（パートタイム）	114	21.0%
専業主婦・主夫	40	7.4%
学生	26	4.8%
その他、無職	17	3.1%
無回答	0	0.0%
合 計	544	100.0%

単純集計でみると、「勤め（全日）」が57.0%と最も高く、次いで「勤め（パートタイム）」が21.0%、「専業主婦・主夫」が7.4%などとなっています。

認知症について知っていること

「認知症」について、どのようなことを知っていますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問2>

【単純集計】

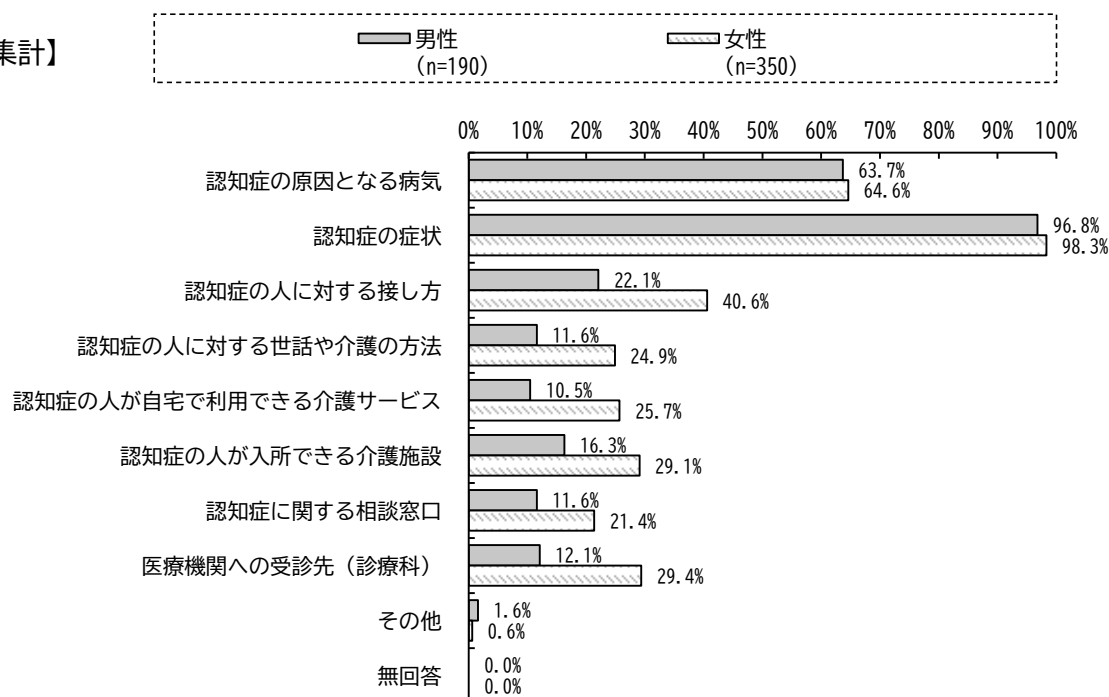
	件数	割合
認知症の原因となる病気 (アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など)	348	64.0%
認知症の症状(物忘れ、できていたことができなくなる、言葉や認識力の低下、不安やうつ、幻覚・妄想、イライラと興奮、ひとり歩き・道に迷うなど)	532	97.8%
認知症の人に対する接し方(話しかけの仕方、本人の意思・自尊心の尊重など)	186	34.2%
認知症の人に対する世話や介護の方法	111	20.4%
認知症の人が自宅で利用できる介護サービス	111	20.4%
認知症の人が入所できる介護施設	135	24.8%
認知症に関する相談窓口	98	18.0%
医療機関への受診先(診療科)	127	23.3%
その他	5	0.9%
無回答	0	0.0%
回答数	544	-

単純集計でみると、「認知症の症状(物忘れ、できていたことができなくなる、言葉や認識力の低下、不安やうつ、幻覚・妄想、イライラと興奮、ひとり歩き・道に迷うなど)」が97.8%と最も高く、次いで「認知症の原因となる病気(アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など)」が64.0%、「認知症の人に対する接し方(話しかけの仕方、本人の意思・自尊心の尊重など)」が34.2%などとなっています。

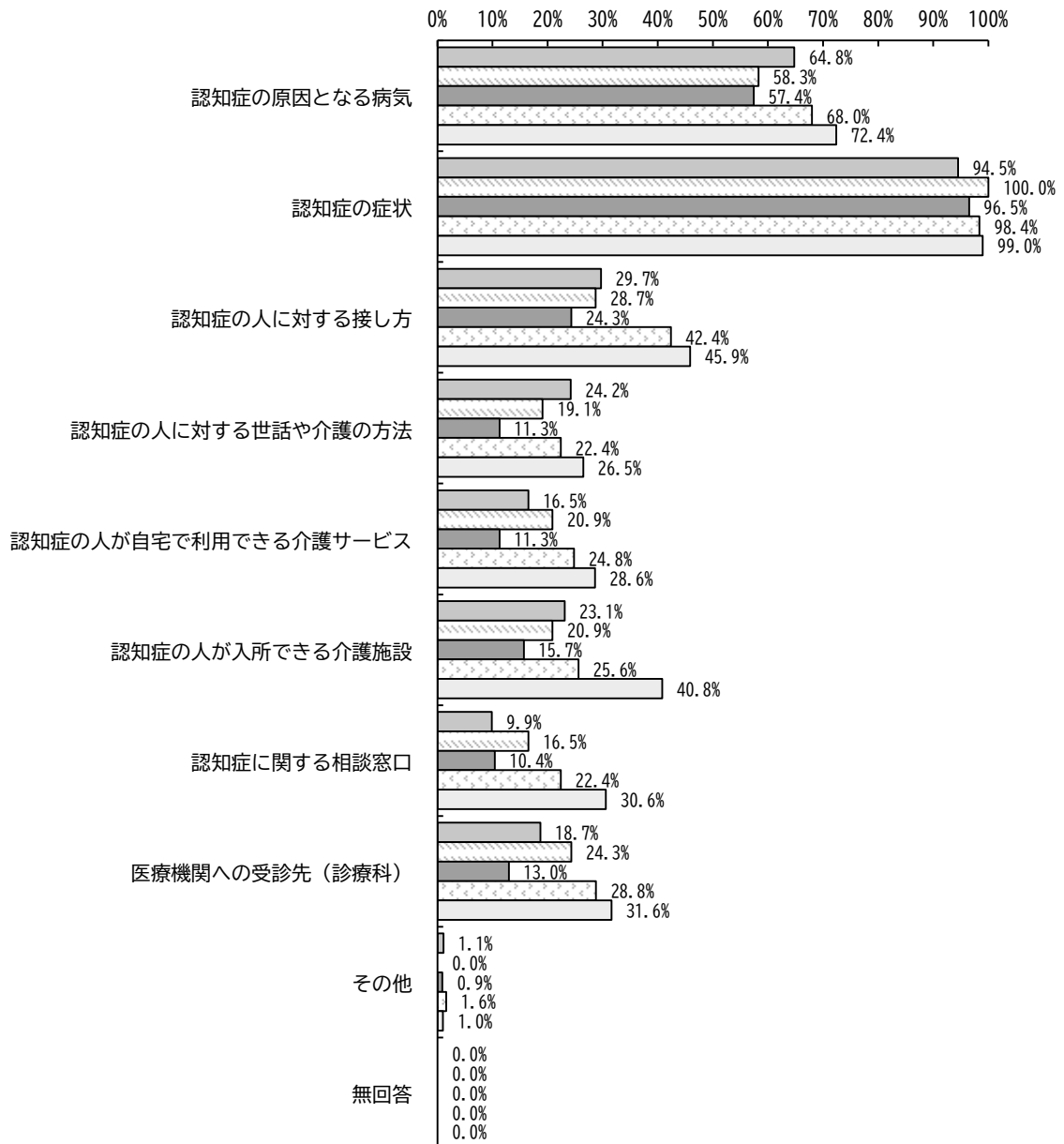
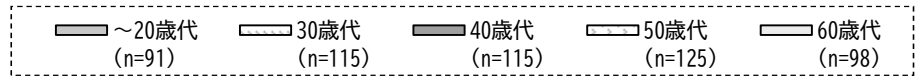
性別でみると、すべての項目で女性のほうが高くなっています。

年齢別でみると、「認知症の原因となる病気」と「認知症の症状」はすべての年齢で5割を超えています。

【性別集計】



【年齢別集計】



若年性認知症について知っていること

若年性認知症について、どのようなことを知っていますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問3>

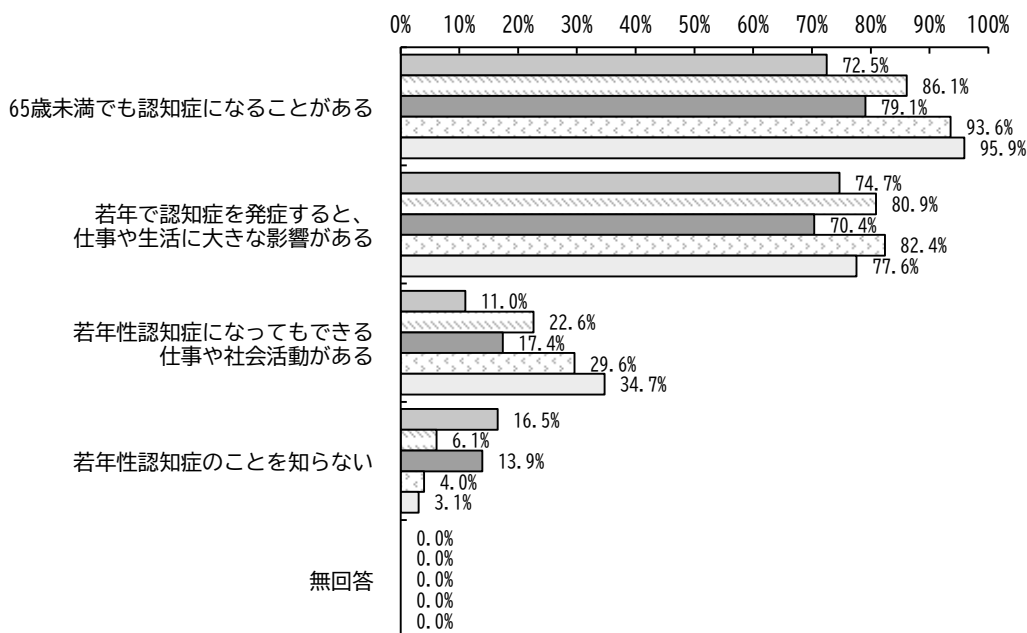
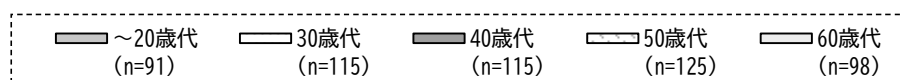
【単純集計】

	件数	割合
65歳未満でも認知症になることがある	467	85.8%
若年で認知症を発症すると、仕事や生活に大きな影響がある	421	77.4%
若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある	127	23.3%
若年性認知症のことを知らない	46	8.5%
無回答	0	0.0%
回 答 数	544	-

単純集計でみると、「65歳未満でも認知症になることがある」が85.8%と最も高く、次いで「若年で認知症を発症すると、仕事や生活に大きな影響がある」が77.4%、「若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある」が23.3%などとなっています。

年齢別でみると、「65歳未満でも認知症になることがある」は50歳代と60歳代で9割を超えています。

【年齢別集計】



認知症の人の日常生活のイメージ

認知症の人が日常生活を送るイメージについて、どのように想像しますか（1つ）

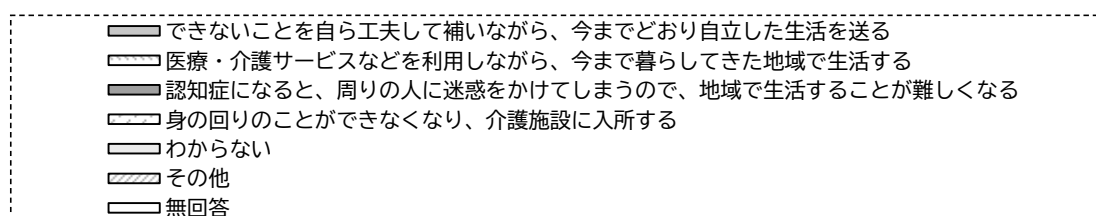
< 認知症に関する意識調査 問4 >

【単純集計】

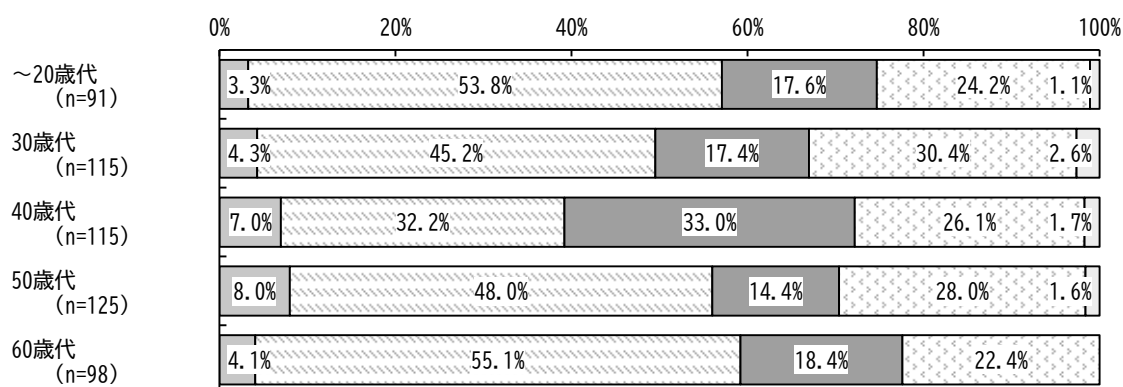
	件数	割合
できないことを自ら工夫して補いながら、今までどおり自立した生活を送る	30	5.5%
医療・介護サービスなどを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する	252	46.3%
認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる	110	20.2%
身の回りのことができなくなり、介護施設に入所する	144	26.5%
わからない	8	1.5%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計でみると、「医療・介護サービスなどを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する」が46.3%と最も高く、次いで「身の回りのことができなくなり、介護施設に入所する」が26.5%、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる」が20.2%などとなっています。

年齢別でみると、「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる」は40歳代で高くなっています。



【年齢別集計】



### 自分や家族が認知症になった時のこと

自分や家族が認知症になった時のことを考えたことがありますか（1つ）

<認知症に関する意識調査 問5>

#### 【単純集計】

	件数	割合
考えたことがある	415	100.0%
考えたことはない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	415	100.0%

自分や家族が認知症になった時のことは「考えたことがある」が100.0%となっています。

自分や家族が認知症になった場合、近所の人に知ってほしいか

「考えたことがある」と回答した方にお伺いします。

自分や家族が認知症になった場合、そのことを近所の人に知ってほしいですか（1つ）

<認知症に関する意識調査 問6 >

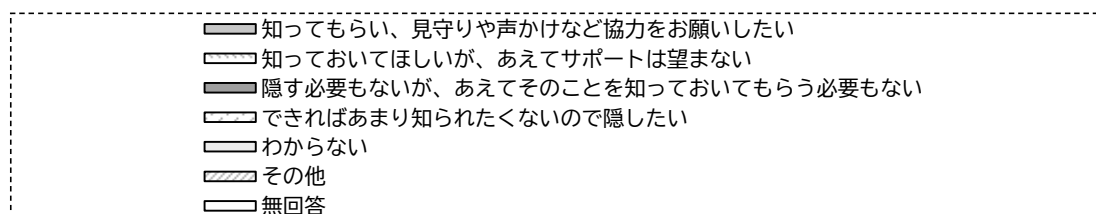
【単純集計】

	件数	割合
知ってもらい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい	198	47.7%
知っておいてほしいが、あえてサポートは望まない	54	13.0%
隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない	137	33.0%
できればあまり知られたくないので隠したい	10	2.4%
わからない	15	3.6%
その他	1	0.2%
無回答	0	0.0%
合計	415	100.0%

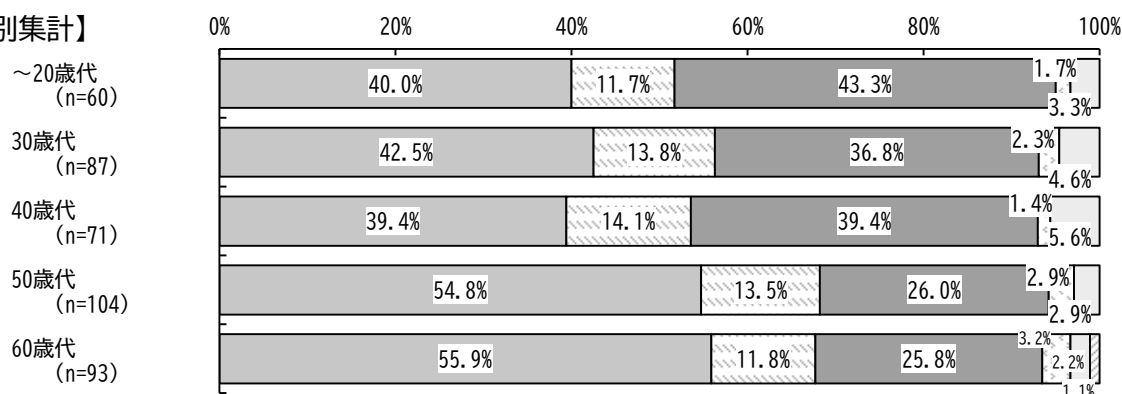
単純集計でみると、「知ってもらい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が47.7%と最も高く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が33.0%、「知っておいてほしいが、あえてサポートは望まない」が13.0%などとなっています。

年齢別でみると、「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」は～20歳代から40歳代で4割前後となっています。

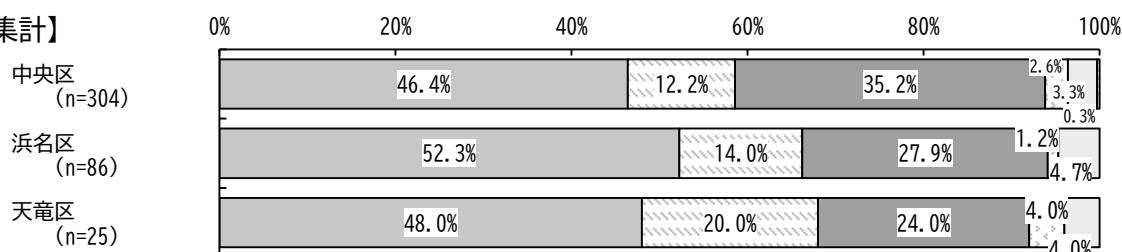
区別でみると、大きな違いはみられません。



【年齢別集計】



【区別集計】



自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいか

「考えたことがある」と回答した方にお伺いします

自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいと考えますか（1つ）

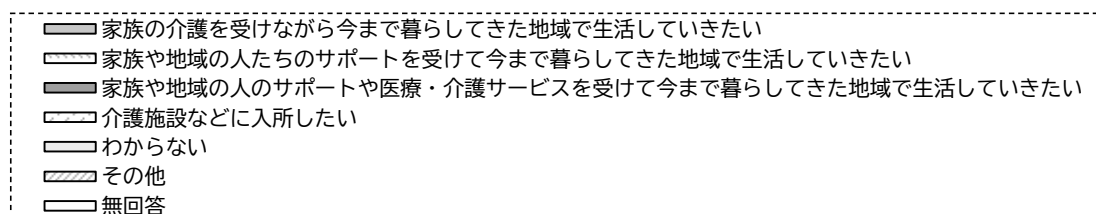
<認知症に関する意識調査 問7>

【単純集計】

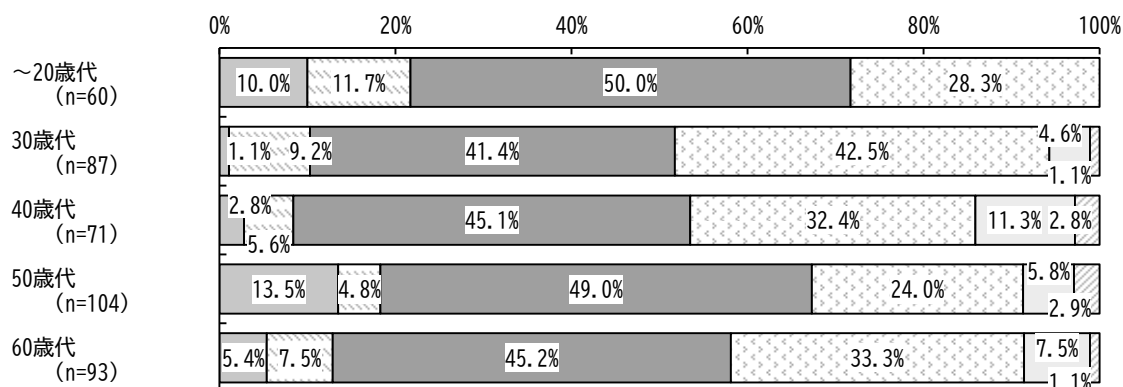
	件数	割合
家族の介護を受けながら今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	28	6.7%
家族や地域の人たちのサポートを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	31	7.5%
家族や地域の人たちのサポートや医療・介護サービスを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	191	46.0%
介護施設などに入所したい	133	32.0%
わからない	25	6.0%
その他	7	1.7%
無回答	0	0.0%
合計	415	100.0%

単純集計でみると、「家族や地域の人たちのサポートや医療・介護サービスを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が46.0%と最も高く、次いで「介護施設などに入所したい」が32.0%、「家族や地域の人たちのサポートを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が7.5%などとなっています。

年齢別でみると、30歳代では「介護施設などに入所したい」が最も高くなっています。



【年齢別集計】



自分や家族が認知症になった場合の相談先

「考えたことがある」と回答した方にお伺いします

自分や家族が認知症になった場合、どこに（誰に）相談しますか（複数）

< 認知症に関する意識調査 問8 >

【単純集計】

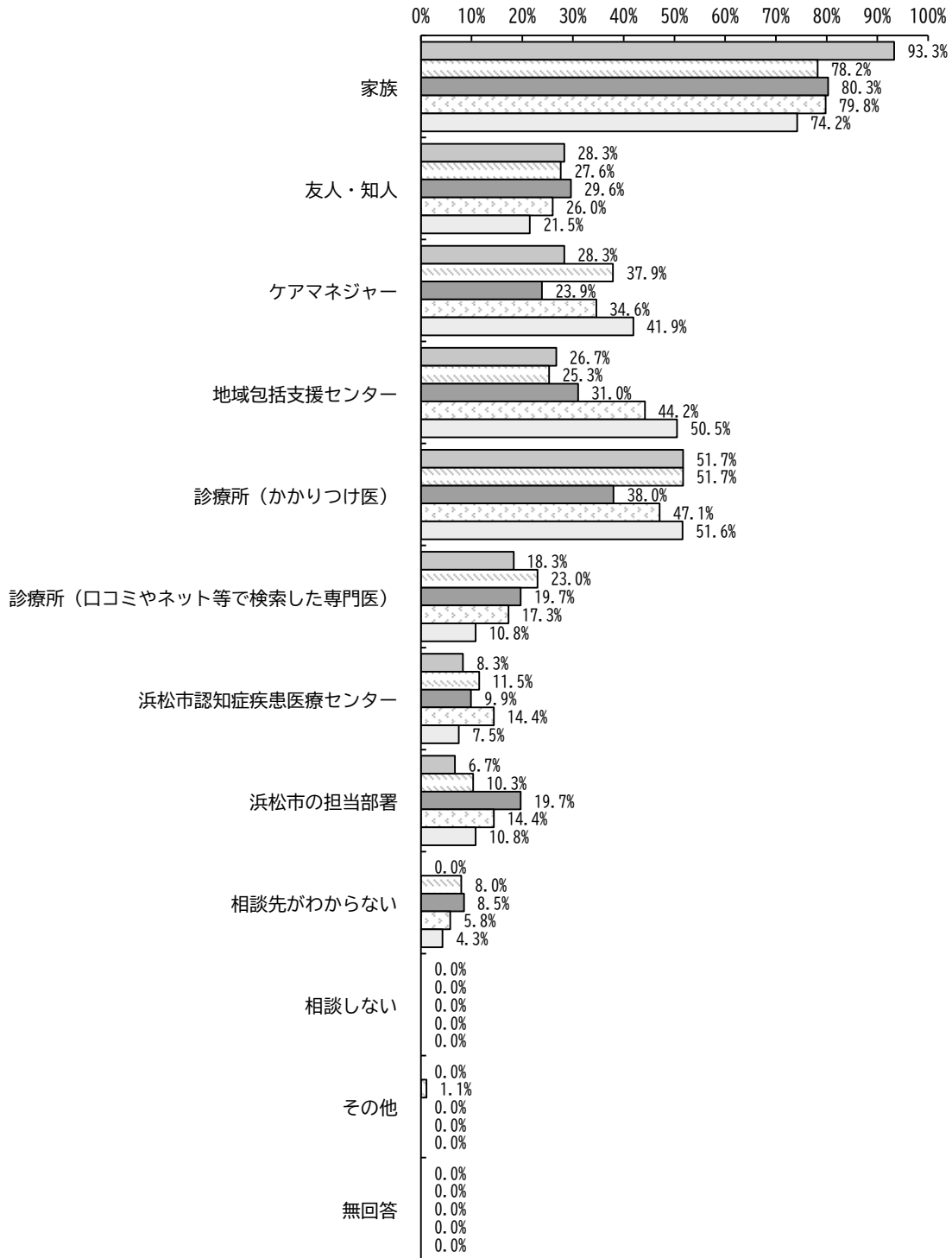
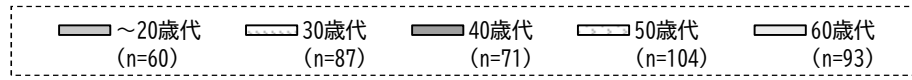
	件数	割合
家族	333	80.2%
友人・知人	109	26.3%
ケアマネジャー	142	34.2%
地域包括支援センター	153	36.9%
診療所（かかりつけ医）	200	48.2%
診療所（口コミやネット等で検索した専門医）	73	17.6%
浜松市認知症疾患医療センター	44	10.6%
浜松市の担当部署	52	12.5%
相談先がわからない	23	5.5%
相談しない	0	0.0%
その他	1	0.2%
無回答	0	0.0%
回 答 数	415	-

単純集計でみると、「家族」が80.2%と最も高く、次いで「診療所（かかりつけ医）」が48.2%、「地域包括支援センター」が36.9%などとなっています。

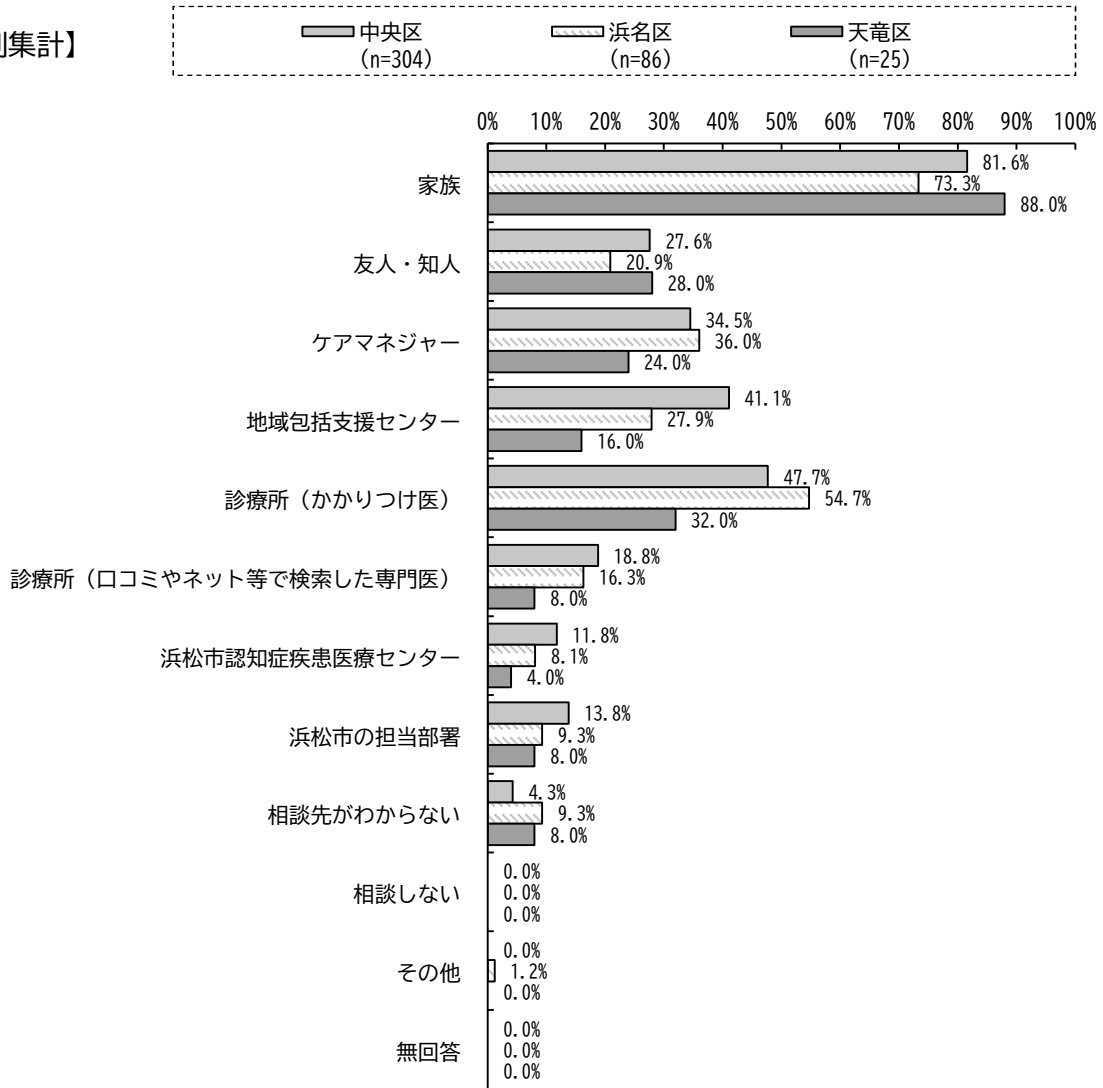
年齢別でみると、「家族」が～20歳代では9割を超えています。

区別でみると、「地域包括支援センター」は中央区で高くなっています。

【年齢別集計】



【区別集計】



「考えたことがない」理由

「考えたことはない」と回答した方にお伺いします

「考えたことがない」理由は何ですか（1つ）

<認知症に関する意識調査 問9>

【単純集計】

	件数	割合
自分や家族が認知症にならないと思うから	0	0.0%
認知症になった家族がいない	0	0.0%
認知症の人と接したことがない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合 計	0	0.0%

「考えたことがない」理由は回答対象者がいませんでした。

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の認知度

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について知っていますか（1つ）

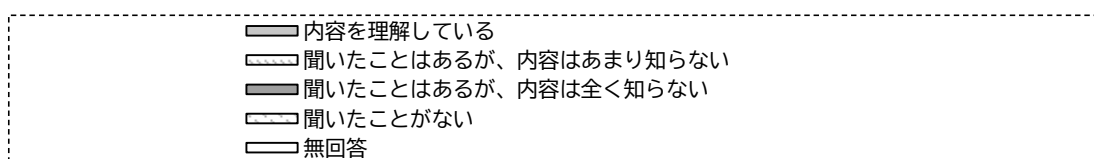
<認知症に関する意識調査 問10>

【単純集計】

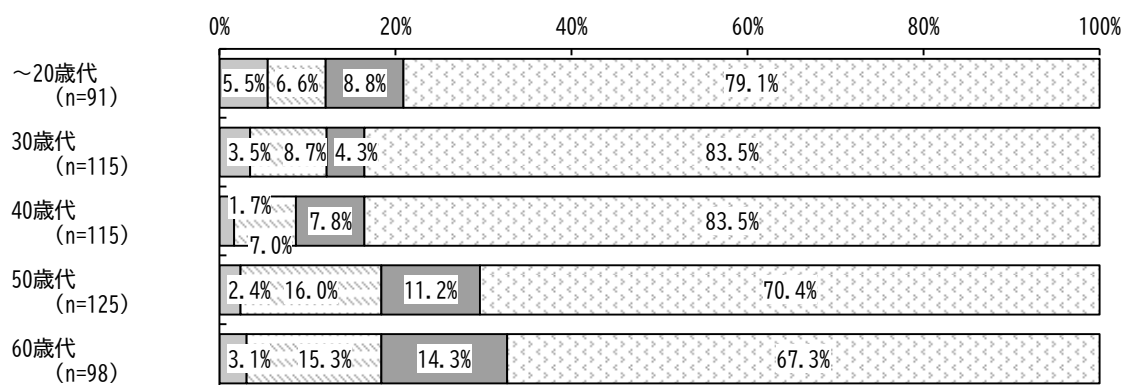
	件数	割合
内容を理解している	17	3.1%
聞いたことはあるが、内容はあまり知らない	59	10.8%
聞いたことはあるが、内容は全く知らない	50	9.2%
聞いたことがない	418	76.8%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計でみると、「聞いたことがない」が76.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」が10.8%、「聞いたことはあるが、内容は全く知らない」が9.2%などとなっています。

年齢別でみると、「内容を理解している」はすべての年齢で1割を下回っています。



【年齢別集計】



認知症の人の尊厳は守られているか

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことですが、認知症の人の尊厳は守られていると思いますか（1つ）

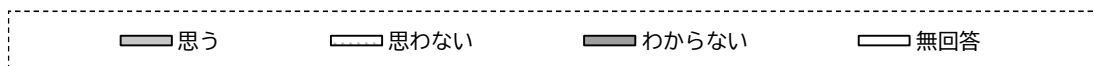
<認知症に関する意識調査 問11>

【単純集計】

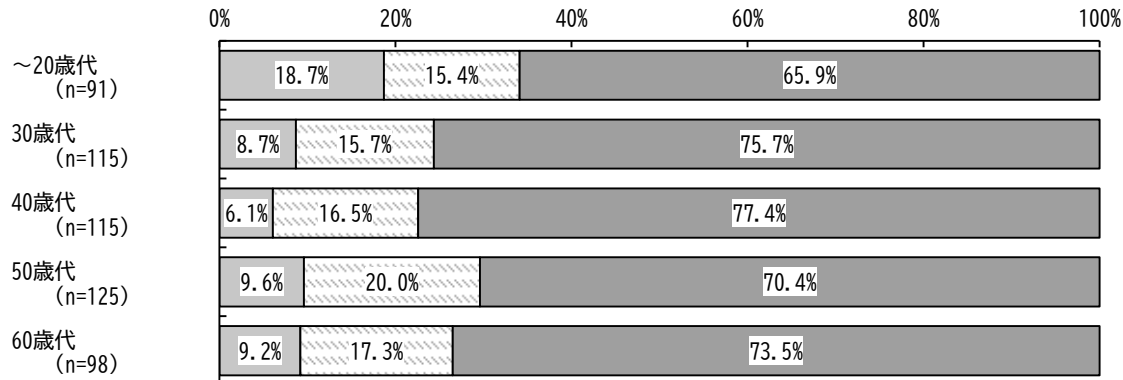
	件数	割合
思う	55	10.1%
思わない	93	17.1%
わからない	396	72.8%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計で見ると、「わからない」が72.8%と最も高く、次いで「思わない」が17.1%、「思う」が10.1%となっています。

年齢別で見ると、「思う」は～20歳代で高くなっています。



【年齢別集計】



**認知症になっても地域で暮らすために必要なこと**

自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問12>

**【単純集計】**

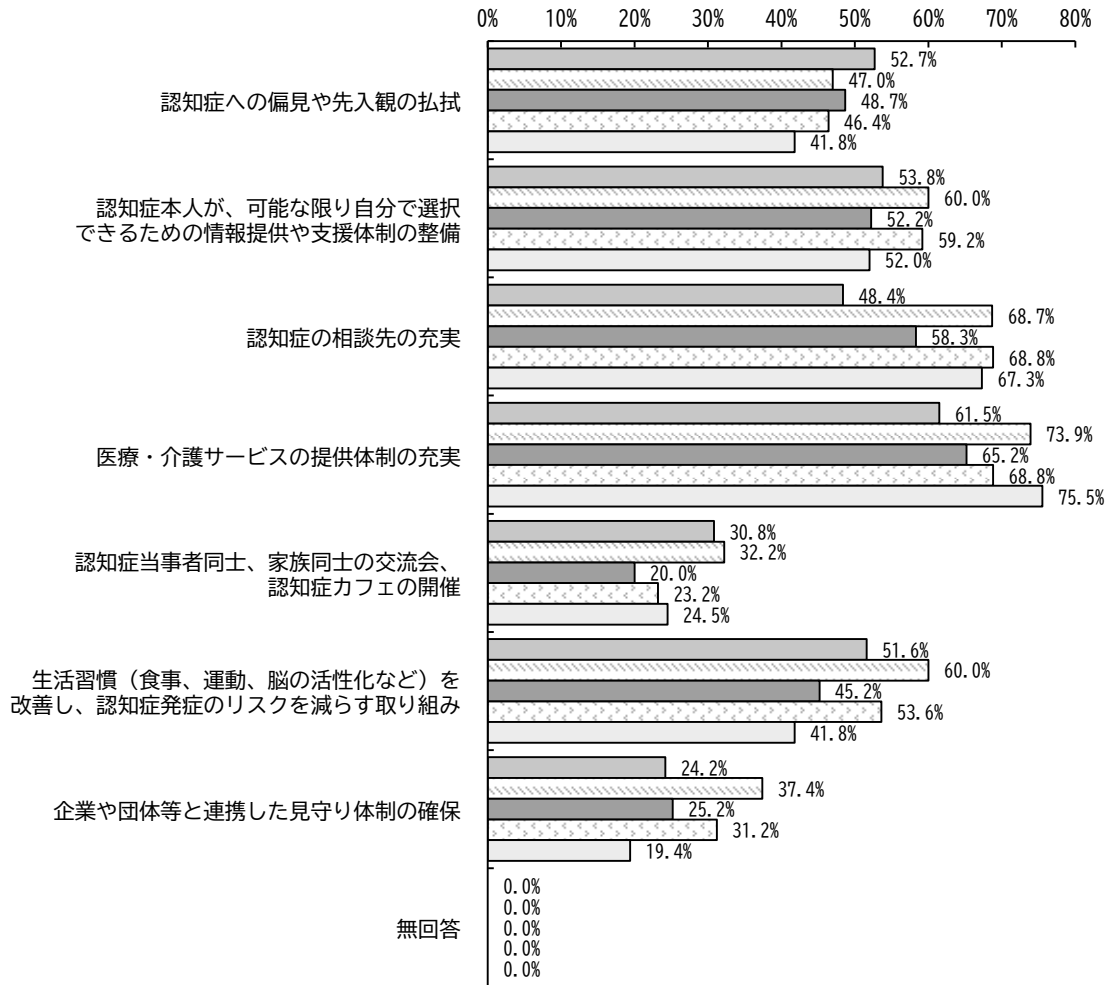
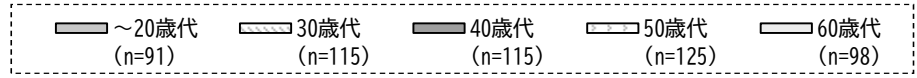
	件数	割合
認知症への偏見や先入観の払拭	257	47.2%
認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備	303	55.7%
認知症の相談先の充実	342	62.9%
医療・介護サービスの提供体制の充実	376	69.1%
認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの開催	141	25.9%
生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み	276	50.7%
企業や団体等と連携した見守り体制の確保	152	27.9%
無回答	0	0.0%
回 答 数	544	-

単純集計でみると、「医療・介護サービスの提供体制の充実」が69.1%と最も高く、次いで「認知症の相談先の充実」が62.9%、「認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備」が55.7%などとなっています。

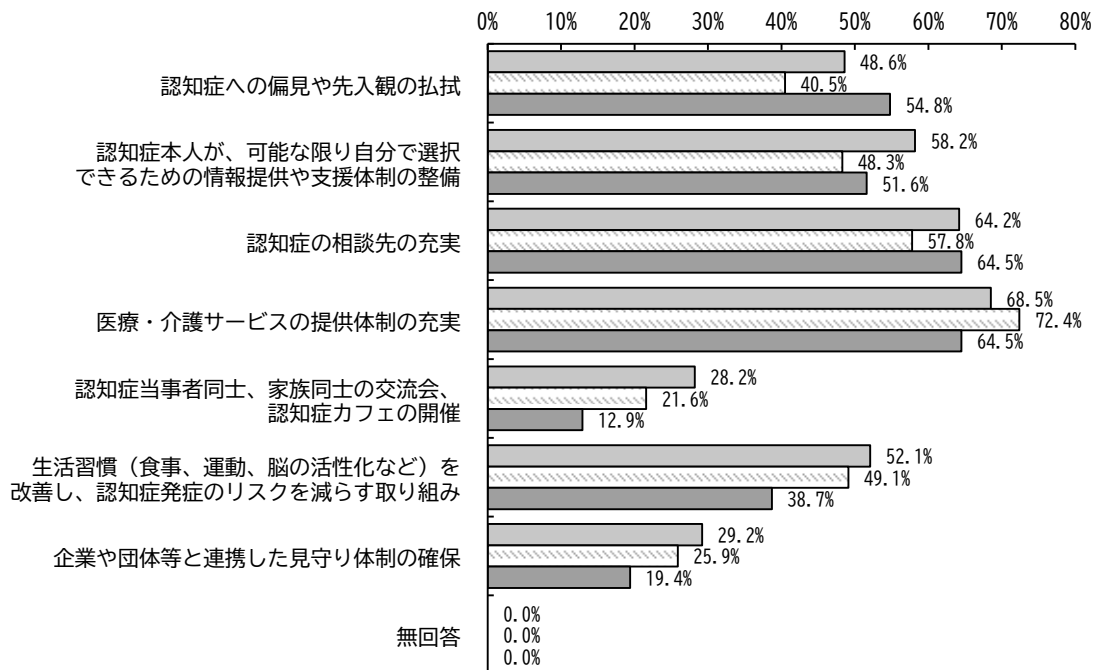
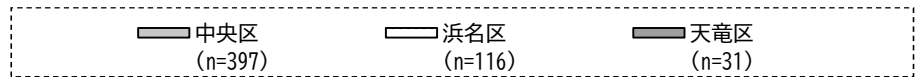
年齢別でみると、「認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備」と「医療・介護サービスの提供体制の充実」はすべての年齢で5割を超えています。

区別でみると、「認知症の相談先の充実」と「医療・介護サービスの提供体制の充実」はすべての区で5割を超えています。

【年齢別集計】



【区別集計】



**認知症の人が地域で生活するために、自分ができる行動**

認知症の人が地域で生活するために、自分はどのような行動ができると考えますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問13>

**【単純集計】**

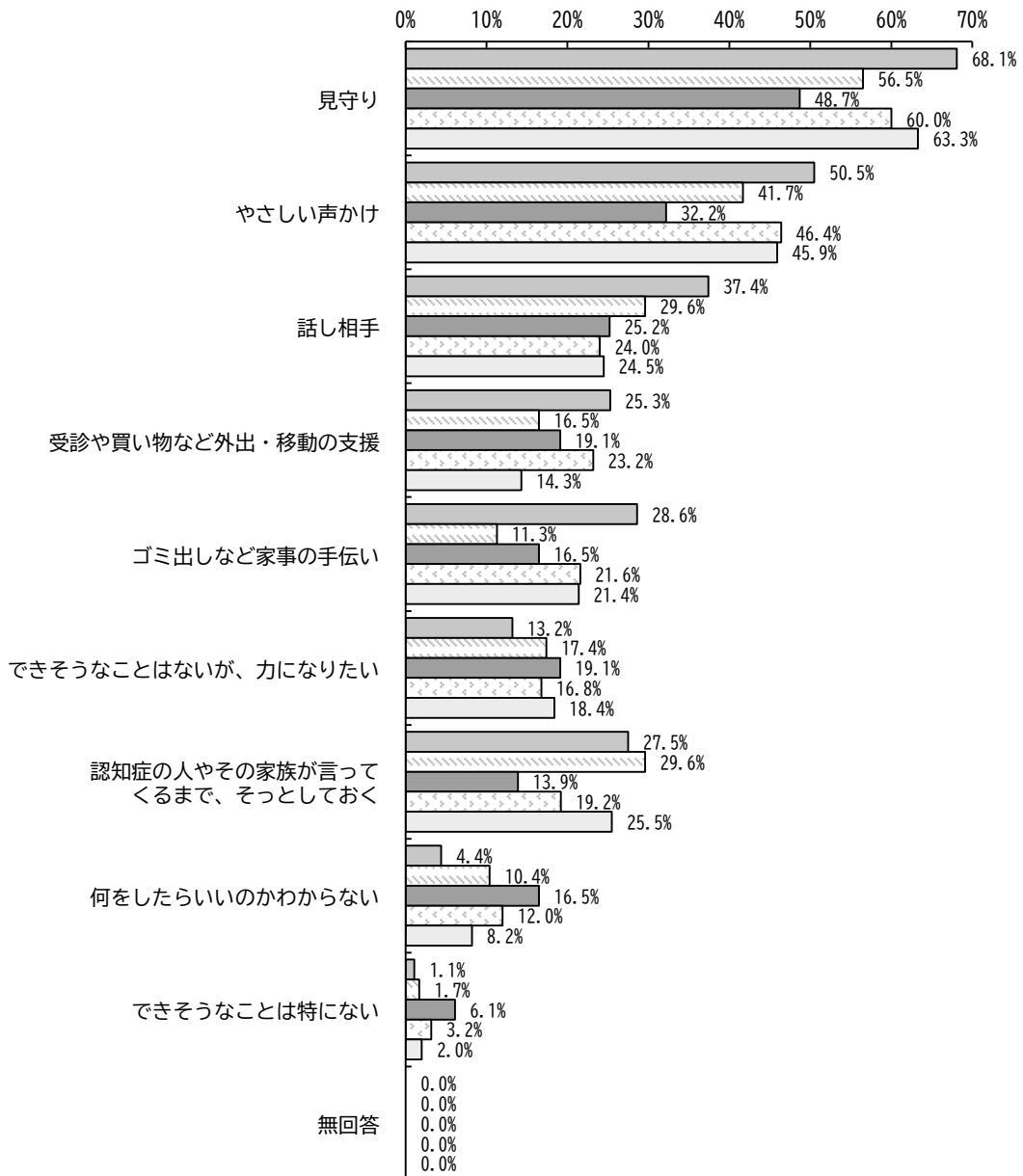
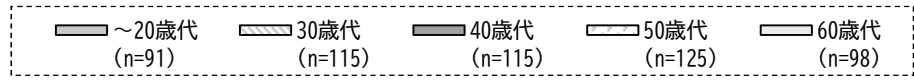
	件数	割合
見守り	320	58.8%
やさしい声かけ	234	43.0%
話し相手	151	27.8%
受診や買い物など外出・移動の支援	107	19.7%
ゴミ出しなど家事の手伝い	106	19.5%
できそうなことはないが、力になりたい	93	17.1%
認知症の人やその家族が言うまで、そっとしておく	124	22.8%
何をしたらいいのかわからない	58	10.7%
できそうなことは特にない	16	2.9%
無回答	0	0.0%
回 答 数	544	-

単純集計でみると、「見守り」が58.8%と最も高く、次いで「やさしい声かけ」が43.0%、「話し相手」が27.8%などとなっています。

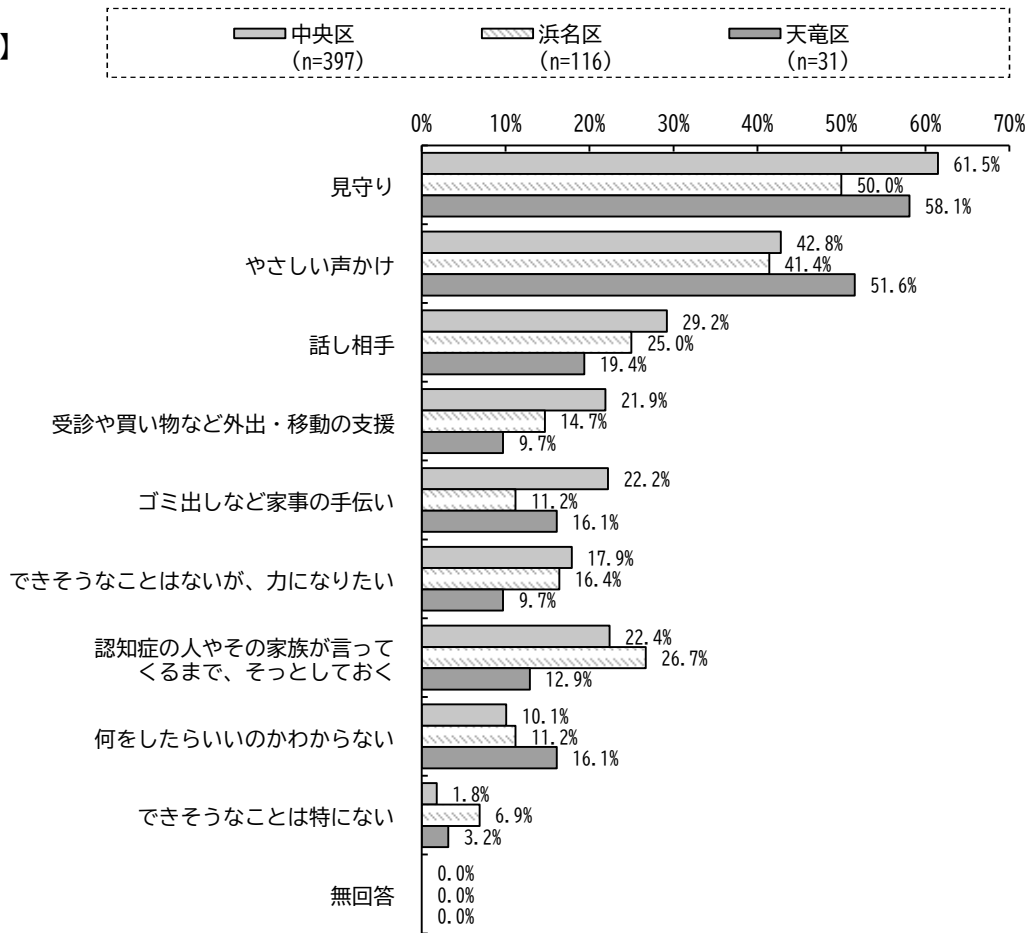
年齢別でみると、「ゴミ出しなど家事の手伝い」は～20歳代で高くなっています。

区別でみると、「やさしい声かけ」は天竜区で高くなっています。

【年齢別集計】



【区別集計】



認知症サポーターの認知度

認知症サポーター（認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者）を知っていますか（1つ）

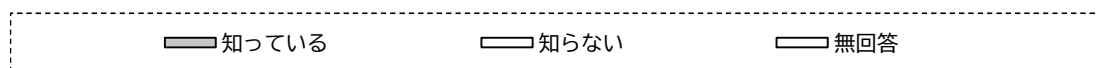
<認知症に関する意識調査 問14>

【単純集計】

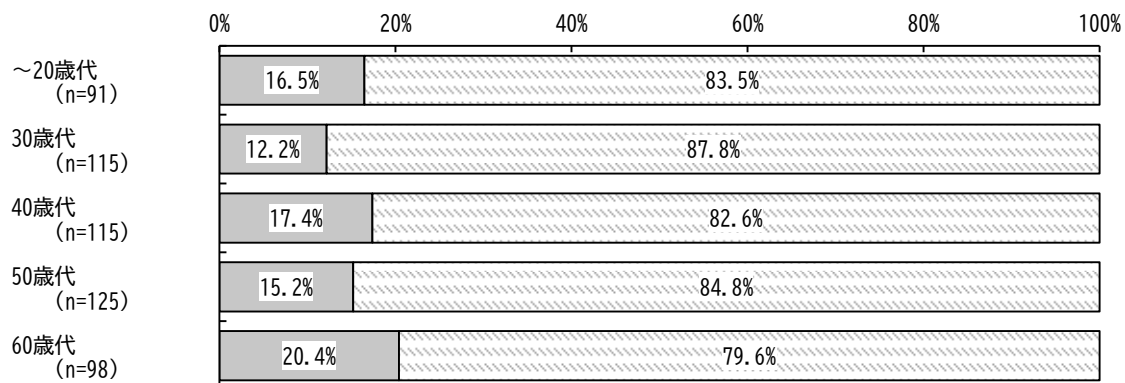
	件数	割合
知っている	88	16.2%
知らない	456	83.8%
無回答	0	0.0%
合計	544	100.0%

単純集計で見ると、「知っている」が16.2%、「知らない」が83.8%となっています。

年齢別で見ると、大きな差はみられません。



【年齢別集計】



「成年後見制度」について知っていること

「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか（複数）

<認知症に関する意識調査 問15>

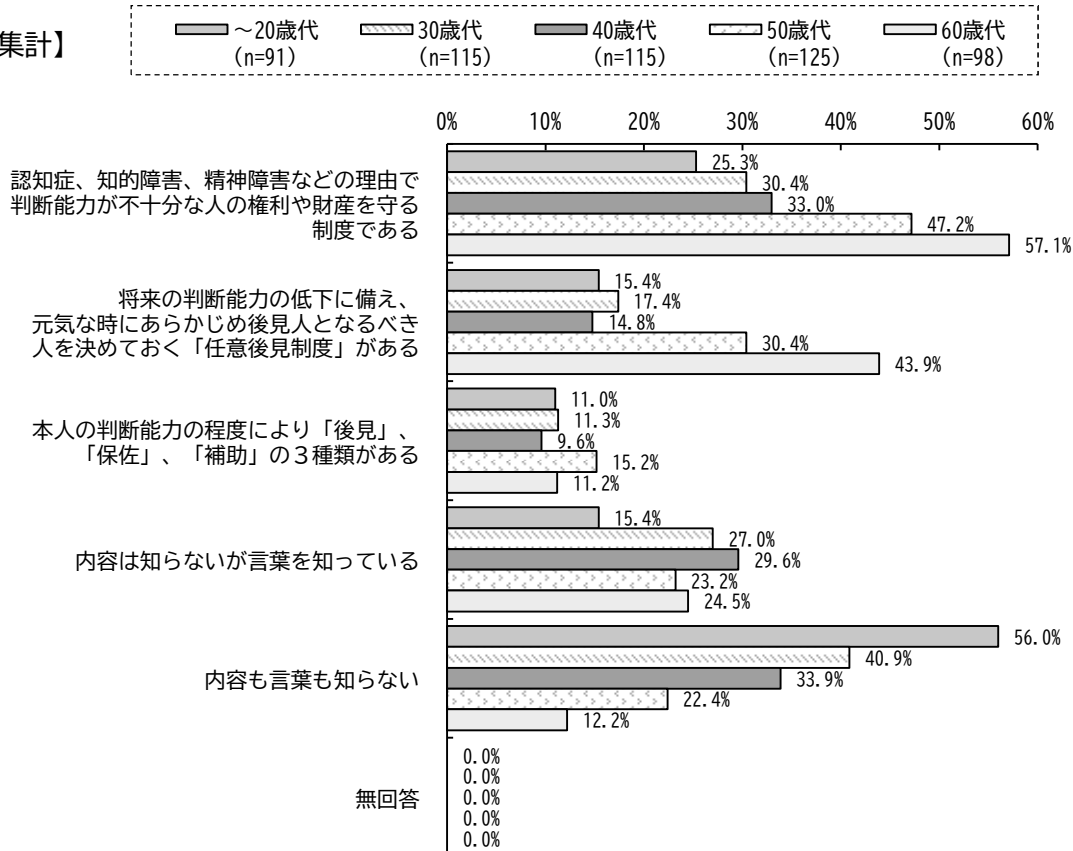
【単純集計】

	件数	割合
認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である	211	38.8%
将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある	132	24.3%
本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3種類がある	64	11.8%
内容は知らないが言葉を知っている	132	24.3%
内容も言葉も知らない	177	32.5%
無回答	0	0.0%
回答数	544	-

単純集計でみると、「認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である」が38.8%と最も高く、次いで「内容も言葉も知らない」が32.5%、「将来の判断能力の低下に備え、元気な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある」と「内容は知らないが言葉を知っている」が24.3%などとなっています。

年齢別でみると、「認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である」が年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。

【年齢別集計】





# Ⅷ 付録 調査票



令和7年度 高齢者一般調査 調査票

浜松市では、令和9年度から11年度（2027年度から2029年度）の高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）等を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年12月

■調査の対象者

浜松市内在住の65歳以上の方の中から2,000名を無作為抽出しております。

■個人情報と調査票の番号

調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
- 2 ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
- 3 ご病気などで、あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わって記入してください。
- 4 設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますのでご注意ください。
- 5 ご回答いただきまました調査票は、令和8年1月13日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投かんしてください。

【お問合せ先】

(担当) 浜松市 健康福祉部 高齢者福祉課 生きがい・長寿政策グループ  
(電話) 053-457-2789 (平日 8:30～17:15)

(通し番号)

調査票を記入されたのはどなたですか。

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみられた続柄）
3. その他

あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお教えください。(○はひとつ)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○はひとつ)

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。(○はひとつ)

1. 介護・介助を行っていない
2. 介護・介助をしている

問4で「2」と回答した方にお伺いします。

問4-1 どなたの介護・介助を行っていますか。(○はいくつでも)

1. 親
2. 配偶者
3. 兄弟、姉妹
4. 子
5. 孫
6. その他（ ）

**からだをうごかすことについて**

問5 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○はひとつ)  
 1. できるし、している 2. できるけどしていかない  
 3. できない

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。  
 (○はひとつ)  
 1. できるし、している 2. できるけどしていかない  
 3. できない

問7 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)  
 1. できるし、している 2. できるけどしていかない  
 3. できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)  
 1. 何度もある 2. 1度ある  
 3. ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)  
 1. とても不安である 2. やや不安である  
 3. あまり不安でない 4. 不安でない

問10 週に1回以上は外出(散歩なども含めます)していますか。(○はひとつ)  
 1. ほとんど外出しない 2. 週1回  
 3. 週2~4回 4. 週5回以上

問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)  
 1. とても減っている 2. 減っている  
 3. あまり減っていない 4. 減っていない

**食べることについて**

問12 身長・体重(数字を記入)  
 身長  cm 体重  kg

問13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)  
 1. はい 2. いいえ

問14 歯の数と入れ歯(部分入れ歯を含みます)の利用状況をお教えください。  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○はひとつ)  
 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問15 どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○はひとつ)  
 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

**毎日の生活について**

問16 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)  
 1. はい 2. いいえ

問17 外出する際の主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)  
 1. 自分で車を運転して移動している  
 2. 公共交通機関やタクシーを利用して移動している  
 3. 同居している親族に送迎してもらっている  
 4. 別居している親族に送迎してもらっている  
 5. 地域の方や知り合いに送迎してもらっている  
 6. その他 ( )  
 7. 移動手段が無く、頼る人もいないので困っている

問18 バスや電車をを使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)  
(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるだけしていかない
- 3. できない

問19 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるだけしていかない
- 3. できない

問20 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるだけしていかない
- 3. できない

問21 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるだけしていかない
- 3. できない

問22 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるだけしていかない
- 3. できない

問23 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのほどのような時ですか。  
(○はいくつでも)

- 1. 仕事をしているとき(農作業なども含む)
- 2. 教養を身につけること(学習)をしているとき
- 3. 健康づくりやスポーツをしているとき
- 4. 家族との団らんのとき
- 5. 友人や知人と過ごすとき
- 6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
- 7. 地域活動(町内会、自治会、ボランティア等)に参加しているとき
- 8. 旅行に行っているとき
- 9. 散歩や買い物をしているとき
- 10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
- 11. パソコン、インターネットをしているとき
- 12. 他人から感謝されたとき
- 13. 収入があったとき
- 14. おいしいものを食べているとき
- 15. 若い世代と交流しているとき
- 16. その他
- 17. 特にない

問24 パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。(Oはいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通話</li> <li>2. メール</li> <li>3. 情報検索</li> <li>4. SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)</li> <li>5. 地図・ナビゲーション</li> <li>6. 動画や音楽視聴</li> <li>7. インターネットショッピング (アマゾンなど)</li> <li>8. 電子書籍</li> <li>9. ゲーム</li> <li>10. 電子決済 (PayPay、auPAYなど)</li> <li>11. 安否確認、緊急時の連絡用</li> <li>12. 行政手続等の電子申請</li> <li>13. 使用していない、使用できない</li> <li>14. その他 ( )</li> </ol>
---

地域での活動について

問25 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。

※①-⑧それぞれに回答してください。(それぞれにOはひとつ)

① ボランティアのグループ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
② スポーツ関係のグループやクラブ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>

③ 趣味関係のグループ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
④ 学習・教養サークル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑤ 介護予防のための通いの場 ・ロコモレサロン (ロコモーショントレニング事業) ・地域の高齢者サロン など	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑦ 町内会・自治会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>
⑧ 収入のある仕事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週4回以上</li> <li>2. 週2～3回</li> <li>3. 週1回</li> <li>4. 月1～3回</li> <li>5. 年に数回</li> <li>6. 参加していない</li> </ol>

問26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加して参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 既に参加している

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 既に参加している

### 浜松市ささえあいポイント事業のご案内

受入登録のある施設や地域のサロン・配食団体等でボランティア活動や介護予防活動をする、換金できるポイントがもらえます！

※まず研修会を受講してボランティア登録をお願いします(インターネット受講可)。

申込は電話 TEL: 457-7011 浜松市社会福祉協議会) からインターネットで、

(1) ボランティアポイント



施設ボランティア

活動する人	65歳以上の市民の方
活動場所	受入登録のある市内の介護サービス事業所、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設、居宅福祉施設、保育施設、レクリエーションの補助や出張披露、話し相手、補助的作業等
活動内容	30分につき1ポイント(1ポイント100円相当) ※条件あり
ポイント	

地域ボランティア

活動する人	65歳以上の市民の方
活動場所	受入登録のある市内全域の高齢者サロンの配食団体
活動内容	サロン運営、高齢者への配食
ポイント	30分につき1ポイント(1ポイント100円相当) ※条件あり

(2) 介護予防ポイント (1)のボランティアを合計で5ポイント以上取得した方

※事業については詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問28 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場づくり)の担い手として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

- 1. 既に参加している
- 2. 是非参加したい
- 3. 関心はあるが参加できていない
- 4. 関心はないが参加してもよい
- 5. 参加したくない

問29 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事援助、交流や運動などの通いの場)のうち利用したいサービスはありますか。(〇は3つまで)

- 1. 掃除(ゴミ出し含む)
- 2. 洗濯
- 3. 電球の交換
- 4. 家具の移動
- 5. 草取り
- 6. 買物や菜の受取り
- 7. 病院やスーパーなどへの送迎
- 8. 交流や運動などの通いの場
- 9. その他( )
- 10. 利用したいものはない

### あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問30 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(〇はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問31 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問32 あなたが病気で数日間様込んだときに、看病や世話をしてくれる人。  
(○はいくつでも)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |

問33 反対に、看病や世話をしあける人。(○はいくつでも)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 配偶者     | 2. 同居の子ども      |
| 3. 別居の子ども  | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣      | 6. 友人          |
| 7. その他 ( ) | 8. そのような人はいない  |

健康について

問34 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. とてもよい   | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

問35 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(○は3つまで)

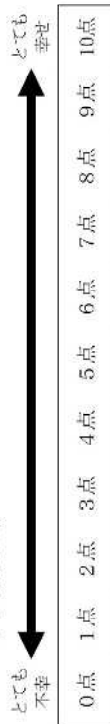
- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 栄養や睡眠を十分にとる                        |
| 2. 食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど) |
| 3. 歯や口の中を清潔に保つ                        |
| 4. 健康診断などを定期的に受ける                     |
| 5. 酒、タバコを控える                          |
| 6. 散歩やスポーツをする                         |
| 7. 地域の活動に参加する                         |
| 8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ                   |
| 9. 気持ちをななるべく明るく持つ                     |
| 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う                 |
| 11. 仕事をしする                            |
| 12. その他                               |
| 13. 特に心がけていない                         |

問36 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

1. がんや生活習慣病 (高血圧など) にならないための工夫について
2. 望ましい食生活について
3. 運動の方法について
4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
5. 寝たきりや介護の予防について
6. 歯の健康について
7. 認知症の予防について
8. うつ病の予防について
9. その他 ( )

問37 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をつけてください。)



問38 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問39 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

1. はい
2. いいえ

問40 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

1. ほぼ毎日吸っている
2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた
4. ともともと吸ってはいない

問41 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない
2. 高血圧
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病
5. 糖尿病
6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11. 外傷 (転倒・骨折等)
12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気
14. うつ病
15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病
17. 目の病気
18. 耳の病気
19. その他 ( )

問42 「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)

1. 初めて聞いた
2. 聞いたことがある
3. 意味も知っている

※「フレイル」とは、加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護の状態へと移行する中間の段階を指します。

問43 浜松市では、介護予防のためロコモーショントレーニング（通称：ロコトレ）の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。（〇はひとつ）

1. ロコトレを知らない
2. ロコトレを知っているが、取り組みの必要性を感じない
3. ロコトレに取り組んでみたいが、取り組みていない
4. 地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる
5. 個人的にロコトレに取り組んでいる

問44 補聴器を使用していますか。（〇はひとつ）

1. 使用している → 問45へ
2. 使用していない → 問46へ
3. 今は使用していないが過去に使ったことがある → 問46へ

問45 補聴器を使用して、どのような感想を持っていますか。（〇はいくつでも）

1. とても良い
2. まあまあ
3. あまり効果はない
4. お金がかかる
5. メンテナンスが大変
6. 使い方が難しい
7. その他（ ）

問46 補聴器を使用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 必要性を感じない
2. 使いづらい
3. わずらわしい
4. ノイズがうるさい
5. 付けても元の聞こえには戻らない
6. メンテナンスが大変そう
7. お金がかかる
8. 恥ずかしい
9. その他（ ）

今後のくらしについて

問47 今後やってみたいと思うものは何ですか。（〇はいくつでも）

1. 働くこと
2. 学習や教養を高めるための活動
3. 健康づくりやスポーツ
4. 趣味の活動
5. シニアクラブ・老人クラブ活動
6. 社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）
7. 町内会、自治会の活動
8. その他
9. 特にない

問48 あなたは介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。（〇はひとつ）

1. なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
2. 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい
3. 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他（ ）
5. わからない

問49 あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。（〇はひとつ）

1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい
2. 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
3. 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所させたい
4. その他（ ）
5. わからない

問50 介護保険料の額は、3年に1度見直すことになっており、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受けると、原則として保険対象サービス費用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。  
 2割または3割を利用者が負担しています。  
 超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
2. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
3. 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
4. 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス利用者の増加により、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
5. 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
6. わからない

問51 地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
4. 存在を知らない

問52 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)

1. はい
  2. いいえ
- 問53 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)
1. はい
  2. いいえ

問54 あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(○はひとつ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない
5. そう思わない

問55 自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(○はいくつでも)

1. 認知症への偏見や先入観の払拭
2. 認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備
3. 認知症の相談先の充実
4. 医療・介護サービスの提供体制の充実
5. 認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの開催
6. 生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み
7. 企業や団体等と連携した見守り体制の確保

※認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民の誰もが気軽に集える場です。

問56 病气やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネジャー等）と話したことがありますか。(○はひとつ)

1. 話したことがある
2. 話したいと思うので、これから話したい
3. 話したいと思うが、話すきっかけがない
4. 話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない
5. 話したいと思うが、話す相手がいない
6. 話したいと思わない
7. 考えたくない

※アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、将来の意思決定能力の低下に備え、本人と家族、医療・介護従事者が一緒にあって、本人の終末期を含めた今後の医療や介護の方針について話し合い、共有する機会を持つことを指します。

問57 浜松市が作成した「人生会議手帳」を知っていますか。(〇はひとつ)

1. 知っていて、活用したことがある
2. 知っているが、活用したことはない
3. 知らない

※「人生会議手帳」とは、人生の最終段階に自分が希望する医療やケアについて前もって考え、話し合いを行う（「人生会議」といいます。）際に使っていただく冊子です。

問58 老後を安心して過ごすために、今後、市に対して特に充実を求めることはどのようなことですか。(〇は3つまで)

1. 健康づくり（定期健診、栄養指導等）
2. 介護予防（生活習慣病の予防、心身機能低下の予防）
3. 生涯学習
4. 緊急通報システムの貸与
5. 配食サービス
6. 就労支援
7. 手統きや金銭管理の支援（成年後見制度等）
8. 高齢者虐待防止
9. 高齢者向けアパート
10. 介護サービス付の入居施設
11. 在宅医療
12. 訪問看護、訪問リハビリテーション
13. 外来診療
14. 認知症施策
15. 訪問介護、訪問入浴介護
16. 通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション
17. 短期入所（ショートステイ）
18. 地域での見守りや支えあい活動の支援

18

【自由記載欄】高齢者の保健福祉行政についてのご意見をお聞かせください。

---



---



---



---



---



---



---



---

■アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました■

19

**令和7年度 在宅要支援認定者等調査 調査票**

浜松市では、令和9年度から11年度（2027年度から2029年度）の介護保険事業計画（高齢者保健福祉計画）等を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ですが、本調査の趣意をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

■ 調査の対象者

浜松市内在住の事業対象者、要支援認定者の方の中から2,000名を無作為抽出しております。

■ 個人情報と調査票の番号

調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

令和7年12月

◆ ご記入にあたってのお願い ◆

- 1 この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
- 2 ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
- 3 アンケートは、問1から問67までではご本人様が、問68から問74までは介護をしている方がお答えください。  
あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わって記入してください。
- 4 設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。  
設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますのでご注意ください。
- 5 ご回答いただきました調査票は、令和8年1月13日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投かんしてください。  
【お問合せ先】

（担当）浜松市 健康福祉部 介護保険課 総務・給付グループ  
（電話）053-457-2862（平日8:30～17:15）

（通し番号）

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（○はいくつでも）

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄）
3. その他

ご本人のことについて

問2 家族構成をお教えてください。（○はひとつ）

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

あなたのご家族や生活状況について

問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○はひとつ）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（○はひとつ）

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。（○はひとつ）

1. 介護・介助を行っていない
2. 介護・介助をしている

問5で「2」と回答した方にお伺いします。

問5-1 どなたの介護・介助を行っていますか。（○はいくつでも）

1. 親
2. 配偶者
3. 兄弟、姉妹
4. 子
5. 孫
6. その他（ ）

からだをうごかすことについて

問6 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問8 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○はひとつ)

- 1. 何度もある
- 2. 1度ある
- 3. ない

問10 転倒に対する不安は大きいですか。(○はひとつ)

- 1. とても不安である
- 2. やや不安である
- 3. あまり不安でない
- 4. 不安でない

問11 週に1回以上は外出(散歩なども含めます)していますか。(○はひとつ)

- 1. ほとんど外出しない
- 2. 週1回
- 3. 週2~4回
- 4. 週5回以上

問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

- 1. とても減っている
- 2. 減っている
- 3. あまり減っていない
- 4. 減っていない

食べることについて

問13 身長・体重 (数字を記入)

身長  cm      体重  kg

問14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問15 歯の抜と入れ歯 (部分入れ歯を含みます)の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○はひとつ)

- 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問16 どなたかと食事をする機会がありますか。(○はひとつ)

- 1. 毎日ある
- 2. 週に何度かある
- 3. 月に何度かある
- 4. 年に何度かある
- 5. ほとんどない

毎日の生活について

問17 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問18 外出する際の主な移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 自分で車を運転して移動している
- 2. 公共交通機関やタクシーを利用して移動している
- 3. 同居している親族に送迎してもらっている
- 4. 別居している親族に送迎してもらっている
- 5. 地域の方や知り合いに送迎してもらっている
- 6. その他 ( )
- 7. 移動手段が無く、頼る人もいないので困っている

問19 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問20 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問21 自分で食事の用意をしていますか。(○はひとつ)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

問22 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるだけどしてしていない
3. できない

問23 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○はひとつ)

1. できるし、している
2. できるだけどしてしていない
3. できない

問24 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるほどのような時ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事をしているとき(農作業なども含む)
2. 教養を身につけること(学習)をしているとき
3. 健康づくりやスポーツをしているとき
4. 家族との団らんのとき
5. 友人や知人と過ごすとき
6. シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
7. 地域活動(町内会、自治会、ボランティア等)に参加しているとき
8. 旅行に行っているとき
9. 散歩や買い物をしているとき
10. テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
11. パソコン、インターネットをしているとき
12. 他人から感謝されたとき
13. 収入があったとき
14. おいしいものを食べているとき
15. 若い世代と交流しているとき
16. その他
17. 特にない

問25 今後やってみたいと思うものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 働くこと
2. 学習や教養を高めるための活動
3. 健康づくりやスポーツ
4. 趣味の活動
5. シニアクラブ・老人クラブ活動
6. 社会奉仕活動(ボランティア、高齢者の生活支援など)
7. 町内会、自治会の活動
8. その他
9. 特にない

問26 パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。(○はいくつでも)

1. 通話
2. メール
3. 情報検索
4. SNS(ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)
5. 地図・ナビゲーション
6. 動画や音楽視聴
7. インターネットショッピング(アマゾンなど)
8. 電子書籍
9. ゲーム
10. 電子決済(PayPay、auPAYなど)
11. 安全確認、緊急時の連絡用
12. 行政手続等の電子申請
13. パソコン・スマートフォン・タブレットが利用できないため使用していない、使用できない
14. その他( )

地域での活動について

問27 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①-⑧それぞれに回答してください。(それぞれに○はひとつ)

① ボランティアのグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
② スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない
③ 趣味関係のグループ	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

<p>④ 学習・教養サークル</p>	<p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
<p>⑤ 介護予防のための通いの場 ・ロコモーション ・ロコモーショントレーニング事業 ・地域の高齢者サロン など</p>	<p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
<p>⑥ シニアクラブ・老人クラブ</p>	<p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
<p>⑦ 町内会・自治会</p>	<p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
<p>⑧ 収入のある仕事</p>	<p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>

問28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 既に参加している

問29 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたははその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない
- 4. 既に参加している

問30 地域住民による支え合い活動(掃除や洗濯などの家事探訪、交流や運動などの通いの場)のうち利用したいサービスはありますか。(○は3つまで)

- 1. 掃除(ゴミ出し含む)
- 2. 洗濯
- 3. 電球の交換
- 4. 家具の移動
- 5. 車取り
- 6. 買物や車の受取り
- 7. 病院やスーパーなどへの送迎
- 8. 交流や運動などの通いの場
- 9. その他( )
- 10. 利用したいものはない

あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問31 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問32 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげてくれる人。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問33 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

問34 反対に、看病や世話をしてあげてくれる人。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
- 5. 近隣
- 6. 友人
- 7. その他( )
- 8. そのような人はいない

健康について

問35 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

- 1. とてもよい
- 2. まあよい
- 3. あまりよくない
- 4. よくない

問36 ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(○は3つまで)

- 1. 休養や睡眠を十分に取る
- 2. 食事に気をつける (栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)
- 3. 歯や口の中を清潔に保つ
- 4. 健康診断などを定期的に受ける
- 5. 酒、タバコを控える
- 6. 散歩やスポーツをする
- 7. 地域の活動に参加する
- 8. 教養や学習活動などの楽しみを持つ
- 9. 気持ちをなごるべく明るく持つ
- 10. 身の回りのことはなるべく自分で行う
- 11. 仕事をする
- 12. その他
- 13. 特に心がけていない

問37 健康についてどのようなことが知りたいですか。(○は3つまで)

- 1. がんや生活習慣病 (高血圧など) にならないための工夫について
- 2. 望ましい食生活について
- 3. 運動の方法について
- 4. 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
- 5. 寝たきりや介護の予防について
- 6. 歯の健康について
- 7. 認知症の予防について
- 8. うつ病の予防について
- 9. その他 ( )

問38 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をつけてください)

とても不幸 ← 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 幸せ

問39 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問40 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問41 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

- 1. は毎日吸っている
- 2. 時々吸っている
- 3. 吸っていたがやめた
- 4. もともと吸っていない

問42 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

- 1. ない
- 2. 高血圧
- 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
- 4. 心臓病
- 5. 糖尿病
- 6. 高脂血症 (脂質異常)
- 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
- 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9. 腎臓・前立腺の病気
- 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
- 11. 外傷 (転倒・骨折等)
- 12. がん (悪性新生物)
- 13. 血液・免疫の病気
- 14. うつ病
- 15. 認知症 (アルツハイマー病等)
- 16. パーキンソン病
- 17. 目の病気
- 18. 耳の病気
- 19. その他 ( )

<p>問43 「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(○はひとつ)</p> <p>1. 初めて聞いた      2. 聞いたことがある      3. 意味も知っていない</p> <p>※「フレイル」とは、加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護の状態へと移行する中間の段階を指します。</p> <p>問44 浜松市では、介護予防のためロコモーショントレーニング（通称：ロコトレ）の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。(○はひとつ)</p> <p>1. ロコトレを知らない</p> <p>2. ロコトレを知っているが、取り組みの必要性を感じない</p> <p>3. ロコトレに取り組んでみたが、取り組みめていない</p> <p>4. 地域のサロンのボランティア等事業所等で、ロコトレに取り組んでいる</p> <p>5. 個人的にロコトレに取り組んでいる</p> <p>問45 補聴器を使用していますか。(○はひとつ)</p> <p>1. 使用している → 問46へ</p> <p>2. 使用していない → 問47へ</p> <p>3. 今は使用していないが過去に使ったことがある → 問47へ</p> <p>問46 補聴器を使用して、どのような感想を持っていますか。(○はいくつでも)</p> <p>1. とても良い</p> <p>2. まあまあ</p> <p>3. あまり効果はない</p> <p>4. お金がかかる</p> <p>5. メンテナンスが大変</p> <p>6. 使い方が難しい</p> <p>7. その他 ( )</p> <p>問47 補聴器を使用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)</p> <p>1. 必要性を感じない</p> <p>2. 使いづらい</p> <p>3. わずらわしい</p> <p>4. ノイズがうるさい</p> <p>5. 付けても元の聞こえには戻らない</p> <p>6. メンテナンスが大変そう</p> <p>7. お金がかかる</p> <p>8. 恥ずかしい</p> <p>9. その他 ( )</p>	<p>認知症等について</p> <p>問48 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○はひとつ)</p> <p>1. はい      2. いいえ</p> <p>問49 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)</p> <p>1. はい      2. いいえ</p> <p>問50 あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(○はひとつ)</p> <p>1. そう思う      2. どちらかと言えそう思う</p> <p>3. どちらとも言えない      4. どちらかと言えそう思わない</p> <p>5. そう思わない</p> <p>問51 自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(○はいくつでも)</p> <p>1. 認知症への偏見や先入観の払拭</p> <p>2. 認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備</p> <p>3. 認知症の相談先の充実</p> <p>4. 医療・介護サービス提供体制の充実</p> <p>5. 認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの開催</p> <p>6. 生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み</p> <p>7. 企業や団体等と連携した見守り体制の確保</p> <p>※認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民の誰もが気軽に集える場です。</p> <p>問52 地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。(○はひとつ)</p> <p>1. 知っていて、利用したことがある</p> <p>2. 知っているが、利用したことはない</p> <p>3. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない</p> <p>4. 存在を知らない</p>
---	---

問53 病氣やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネジャー等）と話したことがありますか。（〇はひとつ）

1. 話したことがある
2. 話したいと思うので、これから話したい
3. 話したいと思うが、話すきっかけがない
4. 話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない
5. 話したいと思うが、話す相手がいらない
6. 話したいと思わない
7. 考えたことがない

※アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、将来の意思決定能力の低下に備え、本人と家族、医療・介護従事者が一緒にあって、本人の終末期を含めた今後の医療や介護の方針について話し合い、共有する機会を持つことを指します。

問54 浜松市が作成した「人生会議手帳」を知っていますか。（〇はひとつ）

1. 知っていて、活用したことがある
2. 知っているが、活用したことはない
3. 知らない

※「人生会議手帳」とは、人生の最終段階に自分が希望する医療やケアについて前もって考え、話し合いを行う（「人生会議」といいます。）際に使っていただく冊子です。

**災害・避難時の対応について**

問55 あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。（〇はひとつ）

1. 避難できる
2. 1人で判断できるが、避難できない
3. 1人で判断できず、避難できない
4. わからない

問55で「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問56 あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（〇はひとつ）

1. 常時いる
2. 常時ではないが、頼める人がいる
3. いない

問57 あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点はありますか。（〇はいくつでも）

1. 家が倒壊れや浸水の心配がある
2. 避難所での生活が心配
3. 避難所に行くことが難しい
4. 情報をうまく入手できない
5. その他（ ）

**介護保険制度や介護保険サービスについて**

問58 介護保険制度全般についてどのように思いますか。（〇はひとつ）

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えれば満足していない
4. 満足していない

問59 担当のケアマネジャーに満足していますか。（〇はひとつ）

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えれば満足していない
4. 満足していない

問60 あなたが介護サービスを受けられる場合、介護ロボット等を活用したサービスについてどのように感じますか。（〇はひとつ）

※介護ロボットとは、介護が必要な方の自立支援や介護する人の負担を軽くするための機械や装置のことです。介護ロボット等を活用したサービスには、歩行アシストカートを使った散歩など、移動支援、パワーアシストスーツを使ったベッドから車いすへの移乗支援、離床見守りセンサーやソールエッジ見守りセンサーを使った認知症の方の見守り、対話型コミュニケーションロボットを使った認知症予防などがあります。

1. 利用したい
2. サービスによっては利用しても良い
3. 利用したくない → 問61へ
4. わからない

問60で「3」と回答した方にお伺いします。

問61 介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由は何ですか。（〇はひとつ）

1. 操作が難しい
2. 費用が高そう
3. 故障や誤作動が心配
4. 人の手によるサービスを受けたい
5. その他（ ）

問62 介護保険料の額は、3年に1度見直すことになっており、お住まいの茨城県において、介護保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険料のサービスを受ける場合は、原則として保険対象サービス費用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(〇はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
2. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがいい
3. 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがいい
4. 保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービスの増加により、介護保険サービスの利用料が低下してもやむを得ない
5. 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実を望まない
6. わからない

問63 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(〇はひとつ)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問64 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(〇はひとつ)

1. 利用した → 問65へ
2. 利用していない → 問66へ

問64で「2」と回答した方にお伺いします。

問65 あなたが介護保険サービスを利用しなかった理由は何ですか。(〇は3つまで)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他(具体的に： )

問64で「1」と回答した方にお伺いします。  
問66 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。(それぞれに〇はひとつ)

1. 週間あたりの利用回数 (それぞれに〇はひとつ)	
1. 利用していない	1. 利用していない
2. 週1回程度	2. 週1回程度
3. 週2回程度	3. 週2回程度
4. 週3回程度	4. 週3回程度
5. 週4回程度	5. 週4回程度
6. 週5回以上	6. 週5回以上
<b>A. 訪問介護</b> (ホームヘルパーによるサービスです)	1. 利用していない
<b>B. 訪問入浴介護</b> (寝たきりの高齢者等の家庭に入浴車等で訪問し、介護仕様の浴槽で入浴サービスを受けられます)	2. 週1回程度
	3. 週2回程度
	4. 週3回程度
	5. 週4回程度
	6. 週5回以上
<b>C. 訪問看護</b> (看護師等が在宅の高齢者等を訪問し、療養上の世話や診療の補助等を行うサービスです)	1. 利用していない
	2. 週1回程度
	3. 週2回程度
	4. 週3回程度
	5. 週4回程度
	6. 週5回以上
<b>D. 訪問リハビリテーション</b> (理学療法士や作業療法士等が家庭を訪問し、医師の指示に基づいてリハビリテーションを行うサービスです)	1. 利用していない
	2. 週1回程度
	3. 週2回程度
	4. 週3回程度
	5. 週4回程度
	6. 週5回以上
<b>E. 通所介護 (デイサービス)</b> (介護施設において、日雇りで食事、入浴等の日常生活上の支援や、生活向上のための支援を行うサービスです)	1. 利用していない
	2. 週1回程度
	3. 週2回程度
	4. 週3回程度
	5. 週4回程度
	6. 週5回以上
<b>F. 通所リハビリテーション (デイケア)</b> (医療機関等で食事、入浴等の日常生活上の支援や生活向上のためのリハビリテーションを行うサービスです)	1. 利用していない
	2. 週1回程度
	3. 週2回程度
	4. 週3回程度
	5. 週4回程度
	6. 週5回以上

利用の有無 (○はひとつ)	
G. 小規模多機能型居宅介護 (利用者の状況等に応じて、「通所サービス」を中心として、「宿舎サービス」、「訪問サービス」を組み合わせたサービスです)	1. 利用していない 2. 利用した
1か月あたりの利用日数 (○はひとつ)	
H. ショートステイ (特別介護老人ホームや介護老人保健施設等に短期間入所をして、日常生活上の支援や、医学的管理のもとで看護、介護、リハビリテーション等が受けられます)	1. 利用していない 2. 月1～7日程度 3. 月8～14日程度 4. 月15～21日程度 5. 月22日以上
1か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
I. 居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師等が訪問して療養生活を送るために必要な指導を行うサービスです)	1. 利用していない 2. 月1回程度 3. 月2回程度 4. 月3回程度 5. 月4回程度

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問67 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む。)(○はひとつ)

1. ない → 質問は以上で終わりです。  
ご協力ありがとうございます。  
なお、アンケートの最後に自由記述欄がございます。  
介護保険制度に対するご意見などございましたら、こちらもご記入ください。
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

次の問68からは、同居・別居を問わず、主な介護者の方がお答えください。

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

問68 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問69 ご家族やご親族の中で、ご本人様(認定調査対象者様)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(○はい/くつ)

1. 主な介護者が仕事を辞めた。(非該当)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた。(非該当)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問70 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問70で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
 問71 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。  
 (〇はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問70で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
 問72 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(〇はひとつ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問73 あなたが介護する上で困っていることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 介護の方法や相談先がわからない
2. 本人が介護サービスを使いたがらない
3. 家族や近隣の方などの理解が足りない
4. 心身の負担が大きい
5. 経済的な負担が大きい
6. 別居のため、介護に出向くのが大変
7. 自分の時間が持てない、自分の仕事ができない
8. その他(具体的に： )
9. 特にない

問74 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません。)(〇は3つまで)

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
  2. 夜間の排泄
  3. 食事の介助（食べるとき）
  4. 入浴・洗身
  5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
  6. 衣服の着脱
  7. 屋内の移乗・移動
  8. 外出の付き添い、送迎等
  9. 服薬
  10. 認知症状への対応
  11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
- 【生活援助】
12. 食事の準備（調理等）
  13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
  14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他
  16. 不安に感じていることは、特にない
  17. 主な介護者に確認しないと、わからない

【自由記載欄】介護保険制度などについて自由なご意見をお聞かせください。

---



---



---



---



---



---



---



---

■アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました■

令和7年度 在宅要介護認定者調査 調査票

浜松市では、令和9年度から11年度（2027年度から2029年度）の介護保険事業計画（高齢者保健福祉計画）等を策定するための資料として、市民の皆様を対象としたアンケート調査を実施いたします。

この調査は厚生労働省から示された項目を基に、今後の施策を検討するための重要な調査です。ご多用のところ恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年12月

■調査の対象者

浜松市内在住の要介護認定者の方の中から2,000名を無作為抽出しております。

■個人情報と調査票の番号

調査票右下の番号は事業計画策定のために集計・分析するためのものです。個人のお名前が出ることは一切ありません。

◆回答に当たってのお願い◆

- この調査票に、お名前のご記入は必要ありません。
- ご回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。
- アンケートは、問1から問23まではご本人様が、問24から問30までは介護をしている方がお答えください。  
あて名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話なさっている方が記入をお手伝いするか、ご本人の立場に立って、代わって記入してください。
- 設問をお読みいただき、該当する数字に○をつけてください。  
設問によって「○はひとつ」「○は3つまで」「○はいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- ご回答いただきました調査票は、令和8年1月13日（火）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

【お問合せ先】

（担 当） 浜松市 健康福祉部 介護保険課 総務・給付グループ  
（電 話） 053-457-2862（平日8：30～17：15）

（通し番号）

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（○はいくつでも）

- 調査対象者本人
- 主な介護者となっている家族・親族
- 主な介護者以外の家族・親族
- その他

調査対象者様ご本人について

問2 世帯類型について、ご回答ください。（○はひとつ）

- 単身世帯
- 夫婦のみ世帯
- その他

問3 あなたは、最近1カ月の間に、何かお仕事をされましたか。（○はひとつ）  
※仕事とは、収入を伴う仕事をいい、自家営業（農業や店の仕事など）の手伝いや内職・パート・アルバイトも含めてお考えください。

- 仕事をしました
- 仕事をしていません

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助を行っていますか。（○はひとつ）

- 介護・介助を行っていない
- 介護・介助をしている

問4で「2」と回答した方にお伺いします。

問4-1 どなたの介護・介助を行っていますか。（○はいくつでも）

- 親
- 配偶者
- 兄弟、姉妹
- 子
- 孫
- その他（ ）

問5 パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか。  
(〇はいくつでも)

1. 通話
2. メール
3. 情報検索
4. SNS (ライン、フェイスブック、インスタグラムなど)
5. 地図・ナビゲーション
6. 動画や音楽視聴
7. インターネットショッピング (アマゾンなど)
8. 電子書籍
9. ゲーム
10. 電子決済 (PayPay、auPAYなど)
11. 安否確認、緊急時の連絡用
12. 行政手続等の電子申請
13. 使用していない、使用できない
14. その他 ( )

問6 権限器を使用していますか。(〇はいとつ)

1. 使用している
2. 使用していない
3. 今は使用していないが過去に使ったことがある

**認知症等について**

問7 自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(〇はいくつでも)

1. 認知症への偏見や先入観の払拭
2. 認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備
3. 認知症の相談先の充実
4. 医療・介護サービスの提供体制の充実
5. 認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの開催
6. 生活習慣(食事、運動、脳の活性化など)を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み
7. 企業や団体等と連携した見守り体制の確保

※認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民の誰もが気軽に集える場です。

問8 地域包括支援センター(高齢者相談センター)は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていただけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター(高齢者相談センター)の役割を知っていますか。(〇はいとつ)

1. 知っていて、利用したことがある
2. 知っているが、利用したことはない
3. 名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない
4. 存在を知らない

問9 病氣やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者(例: 医師や看護師、ケアマネジャー等)と話したことがありますか。(〇はいとつ)

1. 話したことがある
2. 話したいと思うので、これから話したい
3. 話したいと思うが、話すきっかけがない
4. 話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない
5. 話したいと思うが、話す相手がない
6. 話したいと思わない
7. 考えたことがない

※アドバンス・ケア・プランニング(ACP)とは、将来の意思決定能力の低下に備え、本人と家族、医療・介護従事者が一緒に、本人の終末期を含めた今後の医療や介護の方針について話し合い、共有する機会を持つことを指します。

問10 浜松市が作成した「人生会議手帳」を知っていますか。(〇はいとつ)

1. 知っていて、活用したことがある
2. 知っているが、活用したことはない
3. 知らない

※「人生会議手帳」とは、人生の最終段階に自分が希望する医療やケアについて前もって考え、話し合いを行う(「人生会議」といいます)際に使っていただく冊子です。

**災害・避難時の対応について**

問11 あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。(○はひとつ)

1. 避難できる
2. 避難するべきかどうか1人で判断できるが、避難できない
3. 避難するべきかどうか1人で判断できず、避難できない
4. わからない

問12 「2」「3」と回答した方にお伺いします。

問11 あなたは、災害時や緊急時に、手助けを頼める人(同居者を含む)はいますか。(○はひとつ)

1. 常時いる
2. 常時ではないが、頼める人がいる
3. いない

問13 あなたは、災害が起きた時の心配事や問題点がありますか。(○はいくつでも)

1. 家が揺れ崩れや浸水の心配がある
2. 避難所での生活が心配
3. 避難所に行くことが難しい
4. 情報をうまく入手できない
5. その他( )

**介護保険制度や介護保険サービスについて**

問14 介護保険制度全般についてどのように思いますか。(○はひとつ)

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

問15 担当のケアマネジャーに満足していますか。(○はひとつ)

1. 満足している
2. どちらかと言えば満足している
3. どちらかと言えば満足していない
4. 満足していない

問16 あなたが介護サービスを受けられる場合、介護ロボット等を活用したサービスについてどのように感じますか。(○はひとつ)

※介護ロボットとは、介護が必要な方の自立支援や介護する人の負担を軽減するための機械や装置のことです。介護ロボット等を活用したサービスには、歩行アシストカートを使った散歩などの移動支援、パワーアシストスーツを使ったベッドから車いすへの移乗支援、離床感知センサーやシレット具守りセンサーを使った認知症の方の見守り、対話型コミュニケーションロボットを使った認知症予防などがあります。

1. 利用したい
2. サービスによっては利用しても良い
3. 利用したくない → 問17へ
4. わからない

問16で「3」と回答した方にお伺いします。

問17 介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 操作が難しい
2. 費用が高そう
3. 故障や振動が心配
4. 人の手によるサービスを受けたい
5. その他( )

問18 介護保険料の額は、3年に1度見直すこととなっており、お住まいの浜松市において、介護保険のサービスを利用する人の数が増えたり、1人あたりのサービス額が増えたりすると、保険料の額は高くなります。また、実際に介護保険のサービスを受けると、原則として保険料の対象サービス算用の1割、2割または3割を利用者が負担しています。超高齢社会を迎え、介護保険サービスを充実させるために、費用負担が増えることについてどう思いますか。(○はひとつ)

1. 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料などの負担がその分増えてもやむを得ない
2. 介護保険サービスを充実させるために、保険料の負担がその分増えることはやむを得ないが、利用料の負担は現状程度とするのがよい
3. 介護保険サービスを充実させるために、利用料の負担が増えることはやむを得ないが、保険料の負担は現状程度とするのがよい
4. 介護保険サービスを充実させるために、保険料や利用料の負担は現状程度とし、介護保険サービス量が低下してもやむを得ない
5. 保険料や利用料の負担を減らし、介護保険サービスの充実を望まない
6. わからない

問19 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. 入所・入居を検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問20 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを  
利用しましたか。(○はひとつ)

1. 利用した	→	問22へ	2. 利用していない	→	問21へ
---------	---	------	------------	---	------

問20で「2」と回答した方にお伺いします。

問21 あなたが介護保険サービスを利用しなかった理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいたいが手続きや利用方法が分からなかった
9. その他(具体的に: )

問20で「1」と回答した方にお伺いします。

問22 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月の間の利用状況をご回答ください。  
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択して  
ください。(それぞれ○はひとつ)

1. 週間あたりの利用回数 (それぞれ○はひとつ)	
1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>A. 訪問介護</b> (ホームヘルパーによるサービス)	
<b>B. 訪問入浴介護</b> (寝たきりの高齢者等の家庭に入浴車等で訪問し、介護士様の浴槽で入浴サービスを受けます)	
<b>C. 訪問看護</b> (看護師等が在宅の高齢者等を訪問し、療養上の世話や診療の補助を行うサービスです)	

1. 週間あたりの利用回数 (それぞれ○はひとつ)	
<b>D. 訪問リハビリテーション</b> (理学療法士や作業療法士等が家庭を訪問し、医師の指示に基づいてリハビリテーションを行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>E. 通所介護 (デイサービス)</b> (介護施設において、日帰りで食事・入浴等の日常生活上の支援や、生活上ののための支援を行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>F. 通所リハビリテーション (デイケア)</b> (医療機関等で食事、入浴等の日常生活上の支援や生活上のためのリハビリテーションを行うサービスです)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
<b>G. 夜間対応型訪問介護</b> (※訪問のあった回数を回答)	1. 利用していない 2. 週1回程度 3. 週2回程度 4. 週3回程度 5. 週4回程度 6. 週5回以上
利用の有無 (それぞれ○はひとつ)	
<b>H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護</b> (日中・夜間を通じて、定期的な巡回と随時の通報によりホームヘルパー等に自宅を訪問してもらい、食事等の介護や緊急時の対応等が受けられます)	1. 利用していない 2. 利用した
<b>I. 小規模多機能型居宅介護</b> (利用者の状況等に応じて、「通所サービス」を中心として、「宿泊サービス」、「訪問サービス」を組み合わせたサービスです)	1. 利用していない 2. 利用した
<b>J. 看護小規模多機能型居宅介護</b> (「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせて、自宅や事業所への通所・短期間宿泊で、介護や医療・看護のケアが受けられます)	1. 利用していない 2. 利用した

1. 週間あたりの利用回数 (それぞれに○はひとつ)	
K. ショートステイ (特別介護老人ホームや介護老人保健施設等に短期 間入所をして、日常生活上の支援や、医学的護理の もとで看護、介護、リハビリテーション等が受けら れます)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 月1～7日程度</li> <li>3. 月8～14日程度</li> <li>4. 月15～21日程度</li> <li>5. 月22日以上</li> </ol>
1か月あたりの利用回数 (○はひとつ)	
L. 居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師等が訪問して療養生活を送 るために必要な指導を行うサービスです)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用していない</li> <li>2. 月1回程度</li> <li>3. 月2回程度</li> <li>4. 月3回程度</li> <li>5. 月4回程度</li> </ol>

※ここから再び、全員の方にお伺いします。  
 問23 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親  
 族等からの介護を含む。) (○はひとつ)

1. ない → 質問は以上で終わりです。  
 ご協力ありがとうございました。  
 なお、アンケートの最後に自由記述欄がございます。  
 介護保険制度に対するご意見などございましたら、こちらにもご記入ください。

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない

3. 週に1～2日ある

4. 週に3～4日ある

5. ほぼ毎日ある

問21へ  
 進んでください

問24からは、同居・別居を問わず、主な介護者の方がお答えください

※「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご  
 記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

問24 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
6. 60代	7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない	

問25 ご家族やご親族の中で、ご本人様(認定調査対象者様)の介護を主な理由として、過去1年  
 の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いませ  
 ん) (○はい/○いい/○いい/○いい)

1. 主な介護者が仕事を辞めた。(非労働除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた。(非労働除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問26 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

1. フルタイムで働いている	問27、問28へ進んでください
2. パートタイムで働いている	問29へ進んでください
3. 働いていない	
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比  
 べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。  
 自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のい  
 ずれかを選択してください。



**認知症の人とその家族の思い調査**

～調査の趣旨とご協力をお願い～

認知症とともに暮らす皆さまへ

皆さまには、日ごろより市域に対するご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。  
この調査は、認知症の人等が日頃の生活で抱く思いや希望を聞き、認知症の人が地域で安心して暮らすために必要なニーズを把握することを目的に実施するものです。

調査の方法は、調査員（行政職員、地域包括支援センターの職員、ケアマネジャー、介護保険サービス提供事業所の職員）による個別聴き取り調査を実施します。調査員が、皆さまに直接問いかけ、思いを確認し、回答します。個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございませんので、安心して調査員の問いかけにお答えください。

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症であっても意思（やりたいこと、できること）をもって生活できるという考え方や、認知症本人への寄り添いのもとに支援することが大切だとされています。

また、この法律では、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持つて暮らすことができよう、地域の実情に添った認知症施策の推進、計画策定が求められており、浜松市では、認知症施策推進計画を次期はまっ友愛の高齢者プラン（R9-R11）と一体的に策定します。

認知症とともに暮らす皆さまの戸が、今後の浜松市の認知症施策や支援に結びつきますので、ご多用のことと存じ上げますが、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年11月

浜松市役所 健康福祉部 高齢者福祉課  
認知症施策推進グループ  
電話：053-457-2105  
メール：kouic@city.hamamatsu.shizuoka.jp

【問1】あなた（認知症本人）についておたずねします

(1) 性別

男性 女性 その他（ ）

(2) お住まいの区

中央区 浜名区 大高区  
その他（ ）

(3) 年齢

～40歳代 50歳代 60歳代  
70歳代 80歳代 90歳代  
100歳代～

(4) 現在の暮らしの状態

自宅で一人暮らし 自宅で家族と同居 介護施設などに入所  
その他（ ）

(5) 認知症のタイプ

アルツハイマー型認知症 脳血管性認知症 レビー小体型認知症  
前頭側頭型認知症・ピック病 混合型認知症 その他の認知症  
認知症と言われたが確診診断は受けていない（原因疾患がわからないことも含む）  
わからない

(6) 診断を受けてからの期間

1年未満 1～2年 3～4年  
5～6年 7～8年 9～10年  
11年以上 わからない

【問2】「認知症」と診断を受けた時のあなた（認知症本人）の気持ちを教えてください（1つ）

※「診断時の認知症の受容」について確認するものです

他の病と変わらない受け止め方だった  
認知症ということでも不安や抵抗、ショックを感じた  
診断がハッキリしたことで安心した  
よく覚えていない  
その他（ ）

【問2-1】上記の理由、状況を教えてください（自由）

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

【問3】周りの人は、あなた（認知症本人）の気持ちや状態を理解していると思いますか（1つ）  
 ※「安心感」「認知症の理解の裏面」について確認するものです

とてもよく理解していると思う  まあまあ理解していると思う

あまり理解していないと思う ほとんど理解していないと思う

わからない  その他（ ）

【問3-1】上記の理由やエピソードを教えてください（自由）

---

【問4】普段の生活で、あなた（認知症本人）の意思（やりたいこと、できること、してほしいこと、してほしくないこと）を、周りの人に、伝えたいときに伝えていきますか（1つ）  
 ※「自分の意向を示すことができるか」「意思の尊重」について確認するものです

よく伝えている  ときどき伝えている  あまり伝えていない

伝えることができない  わからない  その他（ ）

【問4-1】上記の理由やエピソードを教えてください（自由）

---

【問5】暮らしの中で、あなた（認知症本人）が大切にしていることは何ですか（複数）  
 ※「価値観」について確認するものです

家族や人とのつながり  できることは自分でやる  趣味や楽しみを持つ

静かに穏やかに過ごす  誰かの役に立ちたい  自分の気持ちをおわかってほしい

わからない  その他（ ）

【問5-1】上記の理由やエピソードを教えてください（自由）

---

【問6】あなた（認知症本人）には、地域や暮らしの中に、顔見知りの人や話せる人はいませんか（1つ）※「地域とのつながり」について確認するものです

よく会って話をする人がいる  あいさつする程度につきあいがいる人がいる

あまり関わらない  わからない

その他（ ）

---

【問7】あなた（認知症本人）には、困ったときに相談できる人はいませんか（複数）  
 ※「頼りにできる人の有無」について確認するものです

家族  友人・知人

地域、通所施設  地域福祉支援センター

ケアマネジャー、医師、介護の支援者  いない

その他（ ）

【問8】いま受けている医療・介護サービス（デイサービス、ヘルパー、訪問診療・訪問看護・訪問薬局、かかりつけ医の診察、ケアマネジャーの支援、介護施設など）は、あなた（認知症本人）の思いや希望に合っていると思いますか（1つ）  
 ※「希望に添った医療・介護サービス」について確認するものです

とても合っている（思いや希望をわかってくれている）  だいたい合っている

まあまあ合っていない（ちがうと思うことがある）  まったく合っていない

わからない  リービスは受けていない

その他（ ）

【問8-1】いま受けている支援について、あなた（認知症本人）が思っていることがあれば教えてください（自由）

---

【問9】安心して暮らすために、あなた（認知症本人）が必要だと感じることは何ですか（複数）  
 ※「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の基本理念について確認するものです

家族や身近な人、地域の支援

当事者同士が結ぶ場所

必要に応じて相談できること（認知症に備えること）

無理せず暮らせる環境（心身のゆとり）

自分の意思（やりたいこと、できること）を尊重してもらえること

趣味や地域の活動に参加

医療・介護の支援

その他（ ）

【問9-1】安心して暮らすために、「ご家族等の介護者」として感じていることがあれば教えてください  
 ださい（自由）

--

\*\*\*\*\*

以上で認知症本人等への質問は終わりです。

ご協力ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

※以下は調査員の皆さまへの質問です

①所属事業所について教えてください（1つ）

<input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護事業所 <input type="checkbox"/> 上記以外の介護サービス提供事業所 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所（ケアマネジャー） <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護事業所 <input type="checkbox"/> 行政職員
---	--

②調査時の補足事項等がありましたら教えてください（自由）

--

③調査の感想等を教えてください（自由）

--

\*\*\*\*\*

調査員の皆さま、ご協力ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

### 認知症に関する意識調査

～調査の趣旨とご協力をお願い～

皆さまには、日ごろより市域に対するご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。  
この調査は、皆さまの認知症や認知症の人への認識（イメージ）と認知症施策のニーズを把握することを目的に実施するものです。

調査にあたり、市内にお住まいの18歳から64歳までの1,500人を住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございませんので、安心してご回答ください。

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、認知症は誰もがなり得るものであり、自分自身や家族、身近な人が認知症になることも含め、認知症を自分ごととして理解することが求められています。

また、この法律では、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持つて暮らすことができるよう、地域の実情に応じた認知症施策の推進、計画策定が求められており、浜松市では、認知症施策推進計画を次期はままつ友愛の高齢者プラン（R9-R11）と一体的に策定します。

皆さまのご意見が、今後の浜松市の認知症施策に結びつきますので、ご多用のことと存じ上げますが、ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年12月

#### 【調査の方法】

スマートフォンやパソコンより、Webフォームからお答えください。  
（調査項目は15問で、所要時間はおよそ5分程度です。）

#### 【Webフォームアクセス方法】

WebサイトURL <https://logoform.jp/form/Savd/1276317>



ご回答締め切り日 令和8年1月13日（火）

浜松市役所 健康福祉部 高齢者福祉課  
認知症施策推進グループ  
電話：053-457-2105

メール：kourei@city.hamamatsu.shizuoka.jp

【問1】この調査に回答していただくあなたご自身についてお答えください

(1) 性別

男性  女性  その他（ ）

(2) お住まいの区

中央区  浜名区  大高区

その他（ ）

(3) 年齢

~20歳代  30歳代  40歳代

50歳代  60歳代

(4) 職業

雇人専業主・会社経営者（役員）  家庭従業（家事手伝い）  勤め（全日）

勤め（パートタイム）  専業主婦・主夫

その他、無職

【問2】「認知症」について、どのようなことを知っていますか（複数）

認知症の原因となる病気（アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症など）

認知症の症状（物忘れ、できていたことができなくなる、言葉や認識力の低下、不安やうつ、幻覚、妄想、イライラと興奮、ひとり歩き・道に迷うなど）

認知症の人に對する接し方（話しかけの仕方、本人の意思・自尊心の尊重など）

認知症の人に対する世話や介護の方法

認知症の人が自毛でも利用できる介護サービス

認知症の人が入所できる介護施設

認知症に関する相談窓口

医療機関への受診先（診療科）

その他（ ）

【問3】若年性認知症について、どのようなことを知っていますか（複数）

65歳未満でも認知症になることがある

若年で認知症を発症すると、仕事や生活に大きな影響がある

若年性認知症になってでもできる仕事や社会活動がある

若年性認知症のことを知らない

以下【問9】は、【問5】で「考えたことはない」と回答した人におたずねします

【問9】「考えたことがない」理由は何か（1つ）

自分や家族が認知症にならないと思うから 認知症になった家族がいない

認知症の人と接したことがない わからない

その他（ ）

【問10】「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」について知っていますか（1つ）

内容を理解している 聞いたことはあるが、内容はあまり知らない

聞いたことはあるが、内容は全く知らない 聞いたことがない

【問11】「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的は、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことですが、認知症の人の尊厳は守られていると思いますか（1つ）

思う 思わない わからない

【問12】自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか（複数）

認知症への情報や介入の提供

認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための情報提供や支援体制の整備

認知症の相談先の充実

医療・介護サービス提供体制の充実

認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの開催

生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み

企業や団体等と連携した見守り体制の確保

※認知症カフェとは、認知症の人やその家族、地域住民の誰もが気軽に集える場です

【問13】認知症の人が地域で生活するために、自分は何のような行動ができると考えますか（複数）

見守り

やさしい声かけ

話し相手

受診や買い物など外出・移動の支援

ゴミ出しなど家事の手伝い

できそうなことはないが、力になりたい

認知症の人やその家族が言ってくるまで、そっとしておく

何をしたらいいのかわからない

できそうなことはない

【問4】認知症の人が日常生活を送るイメージについて、どのように想像しますか（1つ）

できないことを自ら工夫して補いながら、今までどおり自立した生活を送る

医療・介護サービスなどを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活する

認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、地域で生活することが難しくなる

身の回りのことができなくなり、介護施設に入所する

わからない

その他（ ）

【問5】自分や家族が認知症になった時のことを考えたことがありますか（1つ）

考えたことがある → 【問6】へ 考えたことはない → 【問9】へ

以下【問6、7、8】は、【問5】で「考えたことがある」と回答した人におたずねします

【問6】自分や家族が認知症になった場合、そのことを近所の人を知ってほしいですか（1つ）

知ってもらいたい、見守りや声かけなど協力をお願いしたい

知っておいてほしいが、あえてサポートは望まない

隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない

できればあまり知られたくないので隠したい

わからない

その他（ ）

【問7】自分や家族が認知症になった場合、どのように暮らしたいと考えますか（1つ）

家族の介護を受けながら今まで暮らしてきた地域で生活していきたい

家族や地域の人たちのサポートを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい

家族や地域の人のサポートや医療・介護サービスを受けて今まで暮らしてきた地域で生活していきたい

介護施設などに入所したい

わからない

その他（ ）

【問8】自分や家族が認知症になった場合、どこに（誰に）相談しますか（複数）

家族

友人・知人

ケアマネジャー

地域包括支援センター

診療所（かかりつけ医）

診療所（□コミュニティ等で検索した専門医）

浜松市認知症疾患医療センター

浜松市の担当部署

相談先がわからない

相談しない

その他（ ）

【問14】認知症サポーター（認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者）を知っていますか（1つ）

- 知っている  知らない
- 【問15】「成年後見制度」について、どのようなことを知っていますか（複数）
  - 認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な人の権利や財産を守る制度である
  - 将来の判断能力の低下に備え、元氣な時にあらかじめ後見人となるべき人を決めておく「任意後見制度」がある
  - 日本人の判断能力の程度により「後見」、「保佐」、「補助」の3種類がある
  - 内容は知らないが言葉を知っている
  - 内容も言葉も知らない

\*\*\*\*\*

以上で質問は終わりです。

ご協力ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

発行年月 令和8年3月

発行 浜松市

編集 浜松市 健康福祉部

高齢者福祉課 電話 053-457-2790

介護保険課 電話 053-457-2862

〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2